

帝京科学大学履修規則

(趣 旨)

第1条 帝京科学大学学則に定めるもののほか、授業科目（以下「科目」という。）の履修に係る事項は、この規則に定めるところによる。

(科目の種類・単位数及び学期別週授業時間数)

第2条 科目の種類・単位数及び学期別週授業時間数は、別表のとおりとする。

(授業時間割)

第3条 授業時間割は、学年又は学期の始めに掲示する。

(履修申告)

第4条 学生は、学年又は学期の始めに、所定の様式によって履修しようとする科目を申告し、当該科目担当教員の承認を得なければならない。

2 履修申告の手続きがなされないときは、科目の履修及び単位の修得はできない。

3 履修単位数の上限は学期ごとに24単位とする。

(履修方法)

第5条 履修方法の細部については、学年の始めに指導を行うものとする。学生は、この指導に従って科目を履修しなければならない。

2 履修区分によるコースを以下のとおり置くこととする。

(1) 生命環境学部 生命科学科

生命コース

生命・健康コース

臨床工学コース

(2) 生命環境学部 アニマルサイエンス学科

アニマルサイエンスコース

野生動物コース

アニマルセラピーコース

動物看護科学コース

動物看護福祉コース

(3) 教育人間科学部 こども学科

小学校・幼稚園教諭コース

幼稚園教諭・保育士コース

3 必修科目及び履修指導によって指示された科目は、当該年度において優先的に履修するものとする。

4 選択科目は、公示された時間割に示された学年又は学期において選択履修することを原則とする。

5 学生は、原則として指示された組で履修するものとする。

(受講制限)

第6条 科目のうち、教室の都合によっては受講人数の制限を行うことがある。

2 科目によっては、あらかじめ修得を必要とする科目を指定することがある。

(他学部・他学科又は他学年次履修)

第7条 学生は、所属する学科の科目にない他学部・他学科の科目も履修することができる。

ただし、この場合卒業に必要な単位として認定されるものは15単位までとする。

2 他学科における科目の履修に当たっては、当該科目担当教員の承認を得なければならない。

3 他学年次における科目の履修に当たっては、当該科目担当教員の承認を得なければならない。

(大学院授業科目の履修)

第8条 生命環境学部では学部3、4年次の学生は、通算5科目10単位を限度として、本学大学院修士課程の授業科目（輪講、特別実験以外）を履修することができる。

2 前項の履修に当たっては、当該科目担当教員及び助言教員（指導教員）の承認を得なければならない。

3 学部在学期間中に大学院授業科目の履修を許可され、試験等に合格した者が当該授業科目の単位の修得を希望する場合には、願い出により単位の認定を行い、学部の卒業に必要な単位に含めることができる。

(海外語学研修に参加した学生の単位)

第9条 本学で認めた海外語学研修に参加した学生は、語学のうち関連する2科目にそれぞれ1単位を付加して認定することができる。

(履修禁止)

第10条 次の場合は、履修申告をすることができない。

(1) 同一時限に2科目以上履修すること。

(2) すでに、単位を修得した科目と同一の科目を、再び履修すること。

(3) 他学科の科目履修に当たって、当該科目担当教員の承認が得られないとき。

(試験)

第11条 試験は、第4条第1項の規定によって承認を得た科目について、学年末又は学期末に行う。ただし、科目によっては、当該科目担当教員が必要と認める適宜の時期に行うことがある。

2 試験は、筆記試験、実技試験、面接試験、論文、報告書又はこれらの併用によって行う。

ただし、科目によっては、平常の成績考査をもって試験に代えることがある。

3 試験の日程、時間及び場所等はその都度掲示する。

(受験制限)

第12条 次の者には、受験を認めない。

(1) 授業料等の未納者。

(2) 履修申告をしていない科目を受験しようとする者。

(3) 特別の理由なしに、科目の出席時間数が、その総授業時間数の3分の2に達しない者。

(試験の規律)

第13条 試験については、学生の遵守すべき事項については、その都度掲示する。

2 不正行為をしたと認められた者は、学則によって処分される。

(追試験・再試験)

第14条 病気その他のやむを得ない事情で試験欠席届を提出した者については、追試験を行う。

2 試験の結果、不合格となった科目の単位修得には、再履修を行わなければならない。

3 医療科学部では専門基礎科目・専門科目のうち、不合格となった科目について当該科目担当教員が再試験を行うことがある。

4 生命環境学部生命科学科臨床工学コースでは、帝京科学大学履修規則〔別記11〕に記載する臨床工学技士課程指定科目のうち、不合格となった科目について、当該科目担当教員が再試験を行うことがある。

(試験再履修)

第14条の2 医療科学部において、必修の専門基礎科目・専門科目の不合格による再履修の場合、当該再履修科目が翌年度以降の必修の専門基礎科目・専門科目と授業時間割が重複するときは、履修を要しないで学期末の試験により単位認定することができる。

2 第1項を適用する場合の具体的な取扱いとは別に定める。

(卒業研究着手条件)

第15条 生命環境学部では、生命科学科臨床工学コースを除いて卒業研究を必修とする。この場合、卒業研究に着手するためには、3年次修了時に、92単位以上を修得していなければならない。

2 ただし、生命科学科臨床工学コースにおいて、4年次に臨床実習を履修しない場合は、卒業研究を必修とする。この場合、卒業研究着手については、第1項を準用する。

(卒業研究着手申告)

第16条 卒業研究に着手しようとする者は、題目、計画等を申告し、所属学科長及び指導教員の承認を得なければならない。

(進級)

第17条 削除

(卒業単位数)

第18条 卒業に必要な最低修得単位数（卒業単位数）は、次表のとおりとする。

生命環境学部

生命科学科

() 内は必修科目の単位数

授業科目の区分		卒業単位数			備考
		生命コース	生命・健康コース	臨床工学コース	
共通科目	教養	14(2)単位以上(人間、社会、文化で合計6単位以上、自然で6(2)単位以上)			
	語学	英語科目を4単位以上		英語科目を含み4単位以上	
	保健体育	—		—	
	データサイエンス	2(2)単位以上			
	キャリア	—			
	ゼミ	2(2)単位			
専門科目		76(24)単位以上		76(62)単位以上	
合計		124(30)単位以上		124(68)単位以上	

自然環境学科

() 内は必修科目の単位数

授業科目の区分		卒業単位数		備考
共通科目	教養	自然から4単位以上を含め18単位以上		
	語学	4単位以上		
	保健体育	—		
	データサイエンス	2(2)単位以上		
	キャリア	—		
	ゼミ	2(2)単位		
専門科目		76(36)単位以上		
合計		124(40)単位以上		

アニマルサイエンス学科

() 内は必修科目の単位数

授業科目の区分		卒業単位数					備考
		アニマルサイエンスコース	野生動物コース	アニマルセラピーコース	動物看護科学コース	動物看護福祉コース	
共通科目	教養	自然から4単位以上を含め12単位以上					
	語学	4単位以上					
	保健体育	—					
	データサイエンス	2(2)単位以上					
	キャリア	—					
	ゼミ	2(2)単位					
専門科目		76(25)単位以上			76(27)単位以上	76(24)単位以上	
合計		124(29)単位以上			124(31)単位以上	124(28)単位以上	

医療科学部

理学療法学科

() 内は必修科目の単位数

授業科目の区分		卒業単位数		備考
共通科目	教養	2(2)単位以上	必修単位数を含 め、16単位以上	
	語学	1単位以上		
	保健体育	—		
	データサイエンス	2(2)単位以上		
	ゼミ	4(4)単位		
専門科目		108(104)単位以上		
合計		124(112)単位以上		

作業療法学科

() 内は必修科目の単位数

授業科目の区分		卒業単位数		備考
共通科目	教養	2(2)単位以上	必修単位数を含 め、16単位以上	
	語学	1単位以上		
	保健体育	—		
	データサイエンス	2(2)単位以上		
	ゼミ	2(2)単位		
専門科目		105(100)単位以上		
合計		124(106)単位以上		

柔道整復学科

() 内は必修科目の単位数

授業科目の区分		卒業単位数		備考
共通科目	教養	2(2)単位以上	必修単位数を含 め、14単位以上	
	語学	1単位以上		
	保健体育	—		
	データサイエンス	2(2)単位以上		
	キャリア	—		
	ゼミ	8(8)単位		
専門科目		106(106)単位以上		
合計		124(118)単位以上		

東京理学療法学科

() 内は必修科目の単位数

授業科目の区分		卒業単位数		備考
共通科目	教養	2(2)単位以上	必修単位数を含め、18単位以上	
	語学	—		
	保健体育	—		
	デビューインス	2(2)単位以上		
	キャリア	—		
	ゼミ	6(6)単位		
専門科目		106(106)単位以上		
合計		124(116)単位以上		

東京柔道整復学科

() 内は必修科目の単位数

授業科目の区分		卒業単位数		備考
共通科目	教養	2(2)単位以上	必修単位数を含め、14単位以上	
	語学	2(2)単位以上		
	保健体育	—		
	デビューインス	2(2)単位以上		
	キャリア	—		
	ゼミ	8(8)単位		
専門科目		102(102)単位以上		
合計		124(116)単位以上		

看護学科

() 内は必修科目の単位数

授業科目の区分		卒業単位数		備考
共通科目	教養	必修単位数13単位を含め、20単位以上		
	語学			
	保健体育			
	デビューインス			
	キャリア			
	ゼミ			
専門基礎科目		27(25)単位以上		
専門科目		78(71)単位以上		
合計		125(109)以上		

医療福祉学科

() 内は必修科目の単位数

授業科目の区分		卒業単位数		備考
共通科目	教養	2(2)単位以上	必修単位数を含め、 10単位以上	
	語学	2(2)単位以上		
	保健体育	—		
	キャリア	2(2)単位以上		
	ゼミ	—		
	ゼミ	4(4)単位		
専門科目		24(24)単位以上		
合計		124(34)単位以上		

教育人間科学部

こども学科

() 内は必修科目の単位数

授業科目の区分		卒業単位数		備考
		小学校・幼稚園教諭 コース	幼稚園教諭・保育士 コース	
共通科目	教養	8単位以上		
	語学	2単位以上		
	保健体育	—		
	キャリア	2(2)単位以上		
	ゼミ	—		
	ゼミ	2(2)単位		
専門科目		90(30)単位以上		
合計		124(34)単位以上		

幼児保育学科

() 内は必修科目の単位数

授業科目の区分		卒業単位数		備考
共通科目	教養	8(2)単位以上		
	語学	3(1)単位以上		
	保健体育	—		
	キャリア	2(2)単位		
	ゼミ	—		
	ゼミ	4(4)単位		
専門科目		90(24)単位以上		
合計		124(33)単位以上		

学校教育学科小学校コース

() 内は必修科目の単位数

授業科目の区分		卒業単位数	備考
共通科目	教養	8(2)単位以上	
	語学	3単位以上	
	保健体育	—	
	デザイン	2(2)単位以上	
	キャリア	—	
	ゼミ	10(10)単位	
専門科目		70(42)単位以上	
合計		124(56)単位以上	

学校教育学科中高理科コース

() 内は必修科目の単位数

授業科目の区分		卒業単位数	備考
共通科目	教養	8(2)単位以上	
	語学	3単位以上	
	保健体育	—	
	デザイン	2(2)単位以上	
	キャリア	—	
	ゼミ	10(10)単位	
専門科目		70(33)単位以上	
合計		124(47)単位以上	

学校教育学科中高保健体育コース

() 内は必修科目の単位数

授業科目の区分		卒業単位数	備考
共通科目	教養	8(2)単位以上	
	語学	3単位以上	
	保健体育	—	
	デザイン	2(2)単位以上	
	キャリア	—	
	ゼミ	10(10)単位	
専門科目		70(42)単位以上	
合計		124(56)単位以上	

学校教育学科中高英語コース

() 内は必修科目の単位数

授業科目の区分		卒業単位数	備考
共通科目	教養	8(2)単位以上	
	語学	3(2)単位以上	
	保健体育	—	
	デザイン	2(2)単位以上	
	キャリア	—	
	ゼミ	10(10)単位	
専門科目		70(32)単位以上	
合計		124(48)単位以上	

(臨床実習)

第19条 医療科学部では臨床実習（看護学科は臨地実習）の細則を別に定める。

(教員養成のための課程)

第20条 学則第25条の3第2項に基づく授業科目並びに履修については、別記1による。

(博物館学芸員養成のための課程)

第21条 博物館学芸員養成のため、博物館法第5条第1項第1号及び同法施行規則第1条に定める授業科目を置く。

2 この課程の履修については、別記2による。

(食品衛生管理者・食品衛生監視員養成のための課程)

第22条 食品衛生管理者・食品衛生監視員養成のため、食品衛生法及び食品衛生法施行規則に定める授業科目を置く。

2 この課程の履修については、別記3による。

(保育士養成のための課程)

第23条 保育士養成のための履修については、別記4による。

2 編入学生については、この課程の履修対象外とする。

3 教育人間科学部の保育士養成の入学定員は、こども学科50人、幼児保育学科100人とする。

(アスレティックトレーナー課程)

第24条 アスレティックトレーナー養成のための履修については、別記5による。

(トレーニング指導者課程)

第25条 トレーニング指導者養成のための履修については、別記6による。

(社会福祉士課程)

第26条 社会福祉士課程の履修については、別記7による。

2 医療科学部医療福祉学科の社会福祉士課程の入学定員は、50人とする。

3 医療科学部医療福祉学科の社会福祉士課程の3年次編入学定員は、5人とする。

(介護福祉士課程)

第27条 介護福祉士課程の履修については、別記8による。

2 医療科学部医療福祉学科の介護福祉士課程の入学定員は、35人とする。

3 医療科学部医療福祉学科の介護福祉士課程の3年次編入学定員は、5人とする。

4 医療科学部医療福祉学科の介護福祉士課程の各学年の学級数は1学級とする。

第27条の2 医療科学部医療福祉学科の介護福祉士課程は、東京都足立区千住桜木二丁目2番1号に置く。

(精神保健福祉士課程)

第28条 精神保健福祉士課程の履修については、別記9による。

2 医療科学部医療福祉学科の精神保健福祉士課程の入学定員は、20人とする。

(保健師教育課程)

第29条 保健師教育課程の履修については、別記10による。

2 保健師教育課程の入学定員は、1学年20人の選抜とする。

(臨床工学技士課程)

第30条 臨床工学技士課程の履修については、別記11による。

2 臨床工学技士課程の入学定員は、20人とする。

(愛玩動物看護師課程)

第31条 愛玩動物看護師課程の履修については、別記12による。

(公認心理師課程)

第32条 公認心理師課程の履修については、別記13による。

(規則の改正)

第33条 この規則の改正は教授会の意見を聴いて学長が行う。

附 則 (帝京科総第294号 平成16年3月2日)

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則 (帝京科総第169号 平成17年3月2日)

この規則は、平成17年4月1日から施行する。

附 則 (帝京科総第315号 平成18年3月28日)

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則 (帝京科総第286号 平成19年3月30日)

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則 (帝京科総第146号 平成20年3月26日)

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則 (帝京科総第227号 平成21年3月25日)

この規則は、平成21年4月1日から施行する。

附 則 (帝京科総第123号 平成22年3月28日)

この規則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則 (帝京科総第147号 平成23年3月19日)

この規則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則 (帝京科総第78号 平成24年3月29日)

この規則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則 (帝京科総第298号 平成25年5月8日)

この規則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則 (帝京科総第808号 平成26年10月11日)

この規則は、平成26年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則（帝京科総第355号 平成28年5月6日）

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

附 則（帝京科総第355号 平成29年4月26日）

この規則は、平成29年4月1日から施行する。

附 則（帝京科総第247号 平成30年3月28日）

この規則は、平成30年4月1日から施行する。

附 則（帝京科総第283号 平成31年4月10日）

この規則は、平成31年4月1日から施行する。

附 則（帝京科総第349号 令和2年6月10日）

この規則は、令和2年4月1日から施行する。

附 則（帝京科教第145号 令和3年3月24日）

この規則は、令和3年4月1日から施行する。

附 則（帝京科教第138号 令和4年3月30日）

この規則は、令和4年4月1日から施行する。

附 則（帝京科教第259号 令和4年6月29日）

この規則は、令和4年4月1日から施行する。

附 則（帝京科教第104号 令和5年3月29日）

この規則は、令和5年4月1日から施行する。

附 則（帝京科教第81号 令和6年3月27日）

この規則は、令和6年4月1日から施行する。

附 則（帝京科教第126号 令和6年5月29日）

この規則は、令和6年5月29日から施行、改正後の帝京科学大学履修規則の規定は、令和6年4月1日から適用する。

附 則（帝京科教第88号 令和7年3月27日）

この規則は、令和7年4月1日から施行する。

附 則（帝京科教第255号 令和7年5月26日）

この規則は、令和7年5月26日から施行、改正後の帝京科学大学履修規則の規定は、令和7年4月1日から適用する。

附 則（帝京科教第257号 令和7年9月19日、帝京科教第97号 令和8年3月27日）

1 この規則は、令和8年4月1日から施行する。

2 第18条卒業単位数に係る生命科学科臨床工学コースの表中「保健体育 1単位以上」の削除、別記11の規定中「共通科目 22単位以上修得していること」への改正及び「保健体育については、1単位以上修得すること」に係る規定は削除し、令和8年3月25日（理事会議決後の決裁日）から施行し、令和6年4月1日から適用する。

[別記1]

(教職課程の履修)

- 1 教育職員免許状を取得するためには、学士の学位を有するとともに、必修科目を含め、次の区分毎の科目の単位数を修得しなければならない。

生命環境学部

免許状の種類	教科及び教科の指導法に関する科目	大学が独自に設定する科目	教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	教育の基礎的理解に関する科目等	合計
中学校教諭一種免許状(理科)	生命32 自然環境38 アニマル30	4	8	28	生命72単位 自然環境78単位 アニマル70単位
高等学校教諭一種免許状(理科)	生命26 自然環境32 アニマル24	12	8	24	生命70単位 自然環境76単位 アニマル68単位

教育人間科学部 こども学科

免許状の種類	教科及び教科の指導法に関する科目	大学が独自に設定する科目	教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	教育の基礎的理解に関する科目等	合計
小学校教諭一種免許状	37	2	8	29	76単位

教育人間科学部 こども学科

免許状の種類	領域及び保育内容の指導法に関する科目	大学が独自に設定する科目	教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	教育の基礎的理解に関する科目等	合計
幼稚園教諭一種免許状	18	14	8	25	65単位

教育人間科学部 幼児保育学科

免許状の種類	領域及び保育内容の指導法に関する科目	大学が独自に設定する科目	教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	教育の基礎的理解に関する科目等	合計
幼稚園教諭一種免許状	20	14	8	26	68単位

教育人間科学部 学校教育学科小学校コース

免許状の種類	教科及び教科の指導法に関する科目	大学が独自に設定する科目	教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	教育の基礎的理解に関する科目等	特別支援教育に関する科目	合計
小学校教諭一種免許状	37	2	8	29	—	76単位
特別支援学校教諭一種免許状(知・肢・病)	—	—	—	—	29	29単位

教育人間科学部 学校教育学科中高理科コース

免許状の種類	教科及び教科の指導法に関する科目	大学が独自に設定する科目	教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	教育の基礎的理解に関する科目等	合計
中学校教諭一種免許状(理科)	28	4	8	29	69単位
高等学校教諭一種免許状(理科)	24	12	8	25	69単位

教育人間科学部 学校教育学科中高保健体育コース

免許状の種類	教科及び教科の指導法に関する科目	大学が独自に設定する科目	教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	教育の基礎的理解に関する科目等	合計
中学校教諭一種免許状(保健体育)	28	4	8	29	69単位
高等学校教諭一種免許状(保健体育)	24	12	8	25	69単位

教育人間科学部 学校教育学科中高英語コース

免許状の種類	教科及び教科の指導法に関する科目	大学が独自に設定する科目	教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	教育の基礎的理解に関する科目等	合計
中学校教諭 一種免許状 (英語)	28	4	8	29	69単位
高等学校教諭 一種免許状 (英語)	24	12	8	25	69単位

2 区分毎の科目において、履修しなければならない授業科目及び単位数は、以下のとおりとする。

〔I〕生命科学科(理科)

(1) 教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学開設授業科目			履修年次	備考		
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目名	単位数					
			必修	選				
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	物理学	物理学Ⅰ 物理学Ⅱ	2 2		1 1		
		化学	食品分析学 食品化学 身近な化学 有機化学Ⅰ 有機化学Ⅱ	2 2		3 3 1 1 2		
		生物学	生物化学Ⅰ 生物化学Ⅱ 生物分析基礎 分子生物学Ⅰ 分子生物学Ⅱ 植物生理学 細胞生物学 微生物学 生化学とバイオテクノロジー	2 2		2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	
		地学	地球科学 環境科学概論 自然環境と地球科学	2		1 1 2		
		物理学実験・化学実験・生物学実験・地学実験	基礎科学実験(物理学)	1		1		中一種免のみ
		生命科学基礎実験Ⅱ	4		2			
		生命科学基礎実験Ⅰ	4		2			
		地学実験	1		2~3		中一種免のみ	
		教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目						
		各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	理科教育法Ⅰ 理科教育法Ⅱ 理科教育法Ⅲ 理科教育法Ⅳ	2 2		2 2	2~3 2~3 2~3 2~3	中一種免必修 中一種免必修

中学校一種免許は、必修科目を含め32単位以上修得すること。
高等学校一種免許は、必修科目を含め26単位以上修得すること。

(2) 大学が独自に設定する科目

科目区分	本学開設授業科目			履修年次	備考
	授業科目名	単位数			
		必修	選択		
大学が独自に設定する科目	道徳教育の理論と実践		2	1～3	高一種免のみ

「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて中学校一種免許は4単位以上、高等学校一種免許は12単位以上修得すること。

(3) 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

区分	免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学開設授業科目			履修年次	備考
	授業科目名	単位数	授業科目名	必修	選択		
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	日本国憲法	2	日本国憲法	2		1	
	体育	2	健康体育A 健康体育B 健康と生活		1 1 2	1 1 1	左記から2単位以上修得すること。
	外国語コミュニケーション	2	英語Ⅰ 英語Ⅱ 教養英語A 教養英語B		1 1 1 1	1 1 1 1	左記から2単位以上修得すること。
	数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報Ⅰ 情報Ⅱ	1 1		1 1	

必修科目4単位を含め、8単位以上修得すること。

(4) 教育の基礎的理解に関する科目等

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学開設授業科目			履修年次	備考
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目名	単位数			
				必修	選択		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理	2		1～3	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職論	2		1～3	
	教育に関する社会的・制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育制度論	2		1～3	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		発達心理学	2		1～3	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育	1		2	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論	2		1～3	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	中10 高8	道徳教育の理論と実践	2		1～3	中一種免のみ
	総合的な学習（探究）の時間の指導法 特別活動の指導法		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2		2	
	教育の方法及び技術		教育方法論（情報通信技術の活用を含む）	2		2～3	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法						
	生徒指導の理論及び方法		生徒指導・進路指導論	2		2～3	
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談	2		2～3	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法						
教育実践に関する科目	教育実習	中5 高3	教育実習指導	1		3～4	中一種免必修
	学校体験活動		教育実習Ⅰ	2		3～4	
			教育実習Ⅱ		2	3～4	
教職実践演習	2	教職実践演習（中・高）	2		4		

中学校一種免許は、必修科目を含め28単位以上修得すること。
高等学校一種免許は、必修科目を含め24単位以上修得すること。

〔Ⅱ〕 自然環境学科(理科)

(1) 教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学開設授業科目			履修年次	備考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目名	単位数			
			必修	選択		
教科及び教科の指導法に関する科目	物理学	物理学Ⅰ	2		1	
		物理学Ⅱ	2		1	
	化学	基礎有機化学	2		2	
		無機化学	2		2	
		有機化学	2		2	
		基礎物理化学	2		1	
		環境分析化学		2	2	
		物理化学		2	2	
	生物学	植物自然史	2		1	
		基礎植物学	2		2	
		基礎動物学	2		1	
		水圏生態学		2	2	
		基礎環境生態学		2	1	
		菌類自然史		2	2	
保全遺伝学			2	3		
地学	地球科学	2		1		
	環境科学概論		2	1		
	自然環境と地球科学		2	2		
物理学実験・化学実験・生物学実験・地学実験	基礎物理学実験	1		1	中一種免のみ	
	環境化学実験	4		2		
	環境生物学実験	4		3		
	地学実験	1		2~3	中一種免のみ	
教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目						
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）		理科教育法Ⅰ	2		2~3	中一種免必修 中一種免必修
		理科教育法Ⅱ	2		2~3	
		理科教育法Ⅲ		2	2~3	
		理科教育法Ⅳ		2	2~3	

中学校一種免許は、必修科目を含め38単位以上修得すること。

高等学校一種免許は、必修科目を含め32単位以上修得すること。

(2) 大学が独自に設定する科目

科目区分	本学開設授業科目			履修年次	備考
	授業科目名	単位数			
		必修	選択		
大学が独自に設定する科目	道徳教育の理論と実践		2	1~3	高一種免のみ

「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて中学校一種免許は4単位以上、高等学校一種免許は12単位以上修得すること。

(3) 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

区分	免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学開設授業科目			履修年次	備考
	授業科目名	単位数	授業科目名	必修	選択		
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	日本国憲法	2	日本国憲法	2		1	
	体育	2	健康体育A 健康体育B 健康と生活		1 1 2	1 1 1	左記から2単位以上修得すること。
	外国語コミュニケーション	2	英語Ⅰ 英語Ⅱ 教養英語A 教養英語B		1 1 1 1	1 1 1 1	左記から2単位以上修得すること。
	数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報Ⅰ 情報Ⅱ	1 1		1 1	

必修科目4単位を含め、8単位以上修得すること。

(4) 教育の基礎的理解に関する科目等

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学開設授業科目			履修年次	備考
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目名	単位数			
				必修	選択		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理	2		1～3	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職論	2		1～3	
	教育に関する社会的・制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育制度論	2		1～3	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		発達心理学	2		1～3	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育	1		2	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論	2		1～3	
道徳、総合的な学習の時間等の指導方法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	中10高8	道徳教育の理論と実践	2		1～3	中一種免のみ
	総合的な学習（探究）の時間の指導法 特別活動の指導法		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2		2	
	教育の方法及び技術		教育方法論(情報通信技術の活用を含む)	2		2～3	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法						
	生徒指導の理論及び方法		生徒指導・進路指導論	2		2～3	
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談	2		2～3	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法						
教育実践に関する科目	教育実習	中5高3	教育実習指導	1		3～4	中一種免必修
			教育実習 I	2		3～4	
	学校体験活動		教育実習 II		2	3～4	
	教職実践演習	2	教職実践演習（中・高）	2		4	

中学校一種免許は、必修科目を含め28単位以上修得すること。

高等学校一種免許は、必修科目を含め24単位以上修得すること。

〔Ⅲ〕 アニマルサイエンス学科(理科)

(1) 教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学開設授業科目			履修年次	備考		
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目名	単位数					
			必修	選択				
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	物理学	物理学Ⅰ 物理学Ⅱ	2 2		1 1		
		化学	生化学 基礎化学Ⅰ 基礎化学Ⅱ	2 2 2		1 3 3		
		生物学	生物の科学 遺伝繁殖学 集団と進化の生物学 動物行動学Ⅰ 動物生理学Ⅰ 動物病原微生物学 生態学 身近な植物の科学	2 2 2		1 3 3	1～2	
		地学	地球科学 環境科学概論 自然環境と地球科学	2		1 1 2		
		物理学実験・化学実験・生物学実験・地学実験	基礎科学実験（物理学）	1		3		中一種免のみ
		化学実験	1		3			
		生物学実験	1		2～3			
		地学実験	1		2～3		中一種免のみ	
		教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目						
		各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	理科教育法Ⅰ 理科教育法Ⅱ 理科教育法Ⅲ 理科教育法Ⅳ	2 2		2 2	2～3 2～3 2～3 2～3	中一種免必修 中一種免必修

中学校一種免許は、必修科目を含め30単位以上修得すること。
高等学校一種免許は、必修科目を含め24単位以上修得すること。

(2) 大学が独自に設定する科目

科目区分	本学開設授業科目			履修年次	備考
	授業科目名	単位数			
		必修	選択		
大学が独自に設定する科目	道徳教育の理論と実践		2	1～3	高一種免のみ

「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて中学校一種免許は4単位以上、高等学校一種免許は12単位以上修得すること。

(3) 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

区分	免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学開設授業科目			履修年次	備考
	授業科目名	単位数	授業科目名	必修	選択		
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	日本国憲法	2	日本国憲法	2		1	
	体 育	2	健康体育A 健康体育B 健康と生活			1 1 1	左記から2単位以上修得すること。
	外国語コミュニケーション	2	英語Ⅰ 英語Ⅱ 教養英語A 教養英語B			1 1 1 1	左記から2単位以上修得すること。
	数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報Ⅰ 情報Ⅱ	1 1		1 1	

必修科目4単位を含め、8単位以上修得すること。

(4) 教育の基礎的理解に関する科目等

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学開設授業科目			履修年次	備考
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目名	単位数			
				必修	選択		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理	2		1~3	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職論	2		1~3	
	教育に関する社会的・制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育制度論	2		1~3	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		発達心理学	2		1~3	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育	1		2	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論	2		1~3	
道徳、総合的な学習の時間等に関する科目 及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	中 10 高 8	道徳教育の理論と実践	2		1~3	中一種免のみ
	総合的な学習（探究）の時間の指導法 特別活動の指導法		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2		2	
	教育の方法及び技術		教育方法論（情報通信技術の活用を含む）	2		2~3	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法						
	生徒指導の理論及び方法		生徒指導・進路指導論	2		2~3	
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談	2		2~3	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法						
教育実践に関する科目	教育実習	中 5 高 3	教育実習指導	1		3~4	中一種免必修
	学校体験活動		教育実習Ⅰ	2		3~4	
			教育実習Ⅱ		2	3~4	
教職実践演習	2	教職実践演習（中・高）	2		4		

中学校一種免許は、必修科目を含め28単位以上修得すること。
 高等学校一種免許は、必修科目を含め24単位以上修得すること。

〔IV〕 こども学科（小学校教諭一種）

（1） 教科及び教科の指導法に関する科目

① 教科に関する専門的事項

施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学開設授業科目			履修年次	備考	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目名	単位数				
			必修	選択			
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	国語（書写を含む。）	国語	2		2	
		社会	社会科	2		2	
		算数	算数	2		2	
		理科	理科	2		3	
		生活	生活科	2		3	
		音楽	音楽Ⅰ 音楽Ⅱ	1	1	1 2	
		図画工作	図画工作Ⅰ 図画工作Ⅱ	1	1	1 2	
		家庭	家庭科	2		3	
		体育	体育Ⅰ 体育Ⅱ	1	1	1 3	
		外国語	英語	2		3	
教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目							

必修科目を含め17単位以上修得すること。

② 各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）

施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学開設授業科目			履修年次	備考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目名	単位数			
			必修	選択		
教科及び教科の指導法に関する科目	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	国語（書写を含む。）	初等教科教育法（国語）	2		2
		社会	初等教科教育法（社会科）	2		2
		算数	初等教科教育法（算数）	2		2
		理科	初等教科教育法（理科）	2		3
		生活	初等教科教育法（生活科）	2		3
		音楽	初等教科教育法（音楽）	2		2
		図画工作	初等教科教育法（図画工作）	2		2
		家庭	初等教科教育法（家庭科）	2		3
		体育	初等教科教育法（体育）	2		2
		外国語	初等教科教育法（英語）	2		3
必修科目20単位を修得すること。						

(2) 大学が独自に設定する科目

科目区分	本学開設授業科目			履修年次	備考
	授業科目名	単位数			
		必修	選択		
大学が独自に設定する科目					
最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて2単位以上修得すること。					

(3) 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

区分	免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学開設授業科目			履修年次	備考
	授業科目名	単位数	授業科目名	必修	選択		
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	日本国憲法	2	日本国憲法	2		1	
	体 育	2	健康体育A 健康体育B 健康と生活		1 1 2	1 1 1	左記から2単位以上修得すること。
	外国語コミュニケーション	2	英語 I 英語 II 教養英語 A 教養英語 B		1 1 1 1	1 1 1 1	左記から2単位以上修得すること。
	数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報 I 情報 II	1 1		1 1	
必修科目 4 単位を含め、8 単位以上を修得すること。							

(4) 教育の基礎的理解に関する科目等

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学開設授業科目			履修年次	備考
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目名	単位数			
				必修	選択		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理 教育史	2	2	1 4	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)		教職概論	2		1	
	教育に関する社会的・制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育社会学 教育制度論	2	2	1 3	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学 発達心理学	2	2	1 3	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論	2		2	
	教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程論	2		2	
道徳、総合的な学習の時間等の指導、及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	道徳教育の理論と実践	2		3	
	総合的な学習の時間の指導法 特別活動の指導法		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2		3	
	教育の方法及び技術		教育方法論(情報通信技術の活用を含む)	2		2	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法						
	生徒指導の理論及び方法		生徒・進路指導論	2		3	
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		教育相談論	2		3	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法						
教育実践	教育実習	5	教育実習事前事後指導	1		3	
	学校体験活動		教育実習(幼・小)	4		3	
	教職実践演習	2	保育・教職実践演習(幼・小)	2		4	

必修科目を含め29単位以上修得すること。

〔V〕 こども学科（幼稚園教諭一種）

(1) 領域及び保育内容の指導法に関する科目

① 領域に関する専門的事項

施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学開設授業科目			履修年次	備考	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目名	単位数				
			必修	選択			
領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項	健康	子どもと健康Ⅰ 子どもと健康Ⅱ	1 1	2 2		
		人間関係	子どもと人間関係Ⅰ 子どもと人間関係Ⅱ	1 1	1 1		
		環境	子どもと環境Ⅰ 子どもと環境Ⅱ	1 1	2 2		
		言葉	子どもと言葉Ⅰ 子どもと言葉Ⅱ	1 1	2 2		
		表現	子どもと音楽表現ⅠA	1		1	
			子どもと音楽表現ⅠB	1		2	
			子どもと音楽表現ⅡA		1	2	
子どもと音楽表現ⅡB			1	3			
	子どもと造形表現Ⅰ	1		1			
	子どもと造形表現Ⅱ		1	2			
	子どもと身体表現	1		2			
領域及び保育内容の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目							

必修科目を含め8単位以上修得すること。

② 保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）

施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学開設授業科目			履修年次	備考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目名	単位数			
			必修	選択		
領域及び保育内容の指導法に関する科目	保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	保育内容総論		2	1	
		保育の指導法（健康）	2		3	
		保育の指導法（人間関係）	2		1	
		保育の指導法（環境）	2		2	
		保育の指導法（言葉）	2		3	
		保育の指導法（表現）	2		3	

必修科目を含め10単位以上を修得すること。

(2) 大学が独自に設定する科目

科目区分	本学開設授業科目			履修年次	備考
	授業科目名	単位数			
		必修	選択		
大学が独自に設定する科目	動物・ペット介在教育演習 子ども文化教育演習 児童文学		1 1 2	1 1 1	

「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「領域及び保育内容の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて14単位以上修得すること。

(3) 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

区分	免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学開設授業科目			履修年次	備考
	授業科目名	単位数	授業科目名	必修	選択		
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	日本国憲法	2	日本国憲法	2		1	
	体育	2	健康体育A 健康体育B 健康と生活		1 1 2	1 1 1	左記から2単位以上修得すること。
	外国語コミュニケーション	2	英語Ⅰ 英語Ⅱ 教養英語A 教養英語B		1 1 1 1	1 1 1 1	左記から2単位以上修得すること。
	数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報Ⅰ 情報Ⅱ	1 1		1 1	

必修科目4単位を含め、8単位以上を修得すること。

(4) 教育の基礎的理解に関する科目等

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学開設 授業科目			履修 年次	備 考
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目名	単位数			
				必修	選択		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理 教育史	2	2	1 4	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）		教職概論	2		1	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）		教育社会学 教育制度論	2	2	1 3	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学 発達心理学	2	2	1 3	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育論	2		2	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）		教育課程論	2		2	
道徳、総合的な学習の時間等に関する科目 及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術（情報機器及び教材の活用を含む。）	4	教育方法論（情報通信技術の活用を含む）	2		2	
	幼児理解の理論及び方法		幼児理解の理論と方法	2		1	
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法		教育相談論	2		3	
教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習事前事後指導 教育実習（幼・小）	1 4		3 3	
	学校体験活動						
	教職実践演習	2	保育・教職実践演習（幼・小）	2		4	
必修科目を含め25単位以上修得すること。							

〔VI〕 幼児保育学科（幼稚園教諭一種）

（１） 領域及び保育内容の指導法に関する科目

① 領域に関する専門的事項

施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学開設授業科目			履修年次	備考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目名	単位数			
			必修	選択		
領域及び保育内容の指導法に関する科目	領域に関する専門的事項	健康	幼児と健康	2		2
		人間関係	幼児と人間関係	2		2
		環境	幼児と環境	2		2
		言葉	幼児と言葉	2		2
		表現	幼児と表現Ⅰ 幼児と表現Ⅱ	2	2	1 2
	領域及び保育内容の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目					
必修科目を含め10単位以上修得すること。						

② 保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）

施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学開設授業科目			履修年次	備考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目名	単位数			
			必修	選択		
領域及び保育内容の指導法に関する科目	保育内容の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	保育内容総論Ⅱ		2	2	
		保育内容総論Ⅲ		2	3	
		保育内容（健康）	2		2	
		保育内容（人間関係）	2		2	
		保育内容（環境）	2		2	
		保育内容（言葉）	2		2	
		保育内容（表現）	2		2	
必修科目を含め10単位以上修得すること。						

(2) 大学が独自に設定する科目

科目区分	本学開設授業科目			履修年次	備考
	授業科目名	単位数			
		必修	選択		
大学が独自に設定する科目	学校動物飼育技術		2	3	
	動物介在教育学		2	3	
	こどもと文化		2	3	
	動物とこどもの生活		2	3	
	動物介在教育学演習		1	3	
	こどもと食育		2	3	
	総合表現演習		1	4	
	多文化保育論		2	4	
	学習・言語心理学		2	3	
	知覚・認知心理学		2	3	
	障害者・障害児心理学		2	4	
	社会・集団・家族心理学		2	2	
	感情・人格心理学		2	2	
	<p>「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「領域及び保育内容の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて14単位以上修得すること。</p>				

(3) 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

区分	免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学開設授業科目			履修年次	備考
	授業科目名	単位数	授業科目名	必修	選択		
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	日本国憲法	2	日本国憲法	2		1	
	体育	2	健康体育A 健康体育B 健康と生活		1 1 2	1 1 1	左記から2単位以上修得すること。
	外国語コミュニケーション	2	英語Ⅰ 英語Ⅱ 教養英語A 教養英語B		1 1 1 1	1 1 1 1	左記から2単位以上修得すること。
	数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報Ⅰ 情報Ⅱ	1 1		1 1	
必修科目4単位を含め、8単位以上を修得すること。							

(4) 教育の基礎的理解に関する科目等

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学開設 授業科目			履修 年次	備 考
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目名	単位数			
				必修	選択		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理 (幼) 教育史 (幼)	2	2	1 3	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)		教職概論 (幼)	2		2	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育制度論 (幼) 教育経営学 (幼)	2	2	3 3	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育・学校心理学 発達心理学 (幼)	2 2		1 1	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育概論Ⅰ (障害児保育を含む)	1		2	
			特別支援教育概論Ⅱ (障害児保育を含む)		1	2	
	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程論 (幼)	2		3	
道徳、総合的な学習の時間等に関する科目 及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育の方法及び技術 (情報機器及び教材の活用を含む。)	4	教育方法論 (幼)	2		2	
	幼児理解の理論及び方法		幼児理解の理論と方法	2		1	
	教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。) の理論及び方法		教育相談の理論と方法	2		3	
教育実践に関する科目	教育実習	5	幼稚園教育実習指導 教育実習Ⅰ (幼) 教育実習Ⅱ (幼)	1 2 2		3 3 4	
	学校体験活動						
	教職実践演習	2	保育・教職実践演習 (幼稚園)	2		4	

必修科目を含め26単位以上修得すること。

〔Ⅶ〕 学校教育学科小学校コース（小学校教諭一種）

（１） 教科及び教科の指導法に関する科目

① 教科に関する専門的事項

施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学開設授業科目			履修年次	備考	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目名	単位数				
			必修	選択			
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	国語（書写を含む。）	国語（小）	2		2	
		社会	社会	2		2	
		算数	算数（小）	2		2	
		理科	理科	2		2	
		生活	生活（小）	2		1	
		音楽	音楽基礎 器楽 声楽	1		1 1 2	
		図画工作	造形Ⅰ	1		1	
		家庭	家庭	2		2	
		体育	体育Ⅰ（小） 体育Ⅱ（小）	1		1 2	
		外国語	英語	2		1	
教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目							

必修科目を含め17単位以上修得すること。

② 各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）

施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学開設授業科目			履修年次	備考	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目名	単位数				
			必修	選択			
教科及び教科の指導法に関する科目	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	国語（書写を含む。）	初等教科教育法（国語）	2		2	
		社会	初等教科教育法（社会）	2		2	
		算数	初等教科教育法（算数）	2		2	
		理科	初等教科教育法（理科）	2		3	
		生活	初等教科教育法（生活）	2		2	
		音楽	初等教科教育法（音楽）	2		3	
		図画工作	初等教科教育法（図画工作）	2		3	
		家庭	初等教科教育法（家庭）	2		3	
		体育	初等教科教育法（体育）	2		3	
		外国語	初等教科教育法（英語）	2		2	
必修科目20単位を修得すること。							

(2) 大学が独自に設定する科目

科目区分	本学開設授業科目			履修年次	備考
	授業科目名	単位数			
		必修	選択		
大学が独自に設定する科目					
最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて2単位以上修得すること。					

(3) 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

区分	免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学開設授業科目			履修年次	備考
	授業科目名	単位数	授業科目名	必修	選択		
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	日本国憲法	2	日本国憲法	2		1	
	体 育	2	健康体育A 健康体育B 健康と生活		1 1 2	1 1 1	左記から2単位以上修得すること。
	外国語コミュニケーション	2	英語Ⅰ 英語Ⅱ 教養英語A 教養英語B		1 1 1 1	1 1 1 1	左記から2単位以上修得すること。
	数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報Ⅰ 情報Ⅱ	1 1		1 1	
必修科目4単位を含め、8単位以上を修得すること。							

(4) 教育の基礎的理解に関する科目等

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学開設授業科目			履修年次	備考
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目名	単位数			
				必修	選択		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理 (小・中・高) 教育史 (小・中・高)	2	2	1 3	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)		教職概論 (小・中・高)	2		1	
	教育に関する社会的・制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育社会学 (小・中・高) 教育制度論 (小・中・高)	2	2	2 3	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学 (小・中・高) 発達心理学 (小・中・高)	2	2	1 2	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		特別支援教育 (小・中・高)	2		2	
	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)		教育課程論 (小・中・高)	2		2	
道徳、総合的な学習の時間等に関する科目 及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	10	道徳教育の理論と実践 (小・中)	2		3	
	総合的な学習の時間の指導法 特別活動の指導法		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 (小・中・高)	2		2	
	教育の方法及び技術		教育方法論 (情報通信技術の活用を含む) (小・中・高)	2		2	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法						
	生徒指導の理論及び方法		生徒・進路指導論 (小・中・高)	2		3	
	教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。) の理論及び方法		教育相談 (小・中・高)	2		3	
教育実践に関する科目	教育実習	5	教育実習事前事後指導 (小)	1		3	
	教育実習 (小)		4		4		
	学校体験活動						
	教職実践演習	2	教職実践演習 (小・中・高)	2		4	

必修科目を含め29単位以上修得すること。

〔Ⅷ〕 学校教育学科小学校コース（特別支援学校教諭一種（知・肢・病））

（１）特別支援教育に関する科目

施行規則に定める科目区分等	単位数	左記に対応する開設授業科目			履修年次	備考	
		授業科目	単位数				
			必修	選択			
特別支援教育の基礎理論に関する科目	2	障害者教育総論	2		2		
特別支援教育領域に関する科目	16	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	知的障害者の心理	2		3	
			知的障害者の生理・病理	2		3	
			肢体不自由者の心理・生理・病理	2		3	
		病弱者の心理・生理・病理	2		3		
		心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	知的障害者教育	2		3	
			肢体不自由者教育	2		3	
			病弱者教育	2		3	
			障害者教育課程論	2		2	
免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目	5	心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目					
		心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目					
		・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の心理、生理及び病理に関する科目	重複障害教育総論	2		3	
		・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	発達障害者教育総論	2		3	
		・心身に障害のある幼児、児童又は生徒の教育課程及び指導法に関する科目	視覚障害者教育総論	2		3	
			聴覚障害者教育総論	2		3	
心身に障害のある幼児、児童又は生徒についての教育実習	3	教育実習事前事後指導(特支)	1		3		
		教育実習(特支)	2		4		
必修科目29単位を修得すること。							

〔IX〕 学校教育学科中高理科コース（理科）
 （１） 教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学開設授業科目			履修年次	備考		
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目名	単位数					
			必修	選択				
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	物理学	物理学総論Ⅰ 物理学総論Ⅱ 物理学特論Ⅰ 物理学特論Ⅱ	2 2	2 2	2 2 3 3		
		化学	化学総論Ⅰ 化学総論Ⅱ 化学特論Ⅰ 化学特論Ⅱ	2 2	2 2	2 2 3 3		
		生物学	生物学総論Ⅰ 生物学総論Ⅱ 生物学特論Ⅰ 生物学特論Ⅱ	2 2	2 2	2 2 3 3		
		地学	地学総論Ⅰ 地学総論Ⅱ 地学特論Ⅰ 地学特論Ⅱ	2 2	2 2	2 2 3 3		
		物理学実験・化学実験・生物学実験・地学実験	物理学実験	1		3		
			化学実験	1		2		
			生物学実験	1		3		
			地学実験	1		3		
		教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目						
		各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）		理科教育法Ⅰ 理科教育法Ⅱ 理科教育法Ⅲ 理科教育法Ⅳ	2 2	2 2	2 2 3 3	中一種免必修 中一種免必修

中学校一種免許は、必修科目を含め28単位以上修得すること。
 高等学校一種免許は、必修科目を含め24単位以上修得すること。

(2) 大学が独自に設定する科目

科目区分	本学開設授業科目			履修年次	備考
	授業科目名	単位数			
		必修	選択		
大学が独自に設定する科目	道徳教育の理論と実践（小・中）		2	3	高一種免のみ

「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて中学校一種免許は4単位以上、高等学校一種免許は12単位以上修得すること。

(3) 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

区分	免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学開設授業科目			履修年次	備考
	授業科目名	単位数	授業科目名	必修	選択		
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	日本国憲法	2	日本国憲法	2		1	
	体育	2	健康体育A 健康体育B 健康と生活		1 1 2	1 1 1	左記から2単位以上修得すること。
	外国語コミュニケーション	2	英語Ⅰ 英語Ⅱ 教養英語A 教養英語B		1 1 1 1	1 1 1 1	左記から2単位以上修得すること。
	数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報Ⅰ 情報Ⅱ	1 1		1 1	

必修科目4単位を含め、8単位以上を修得すること。

(4) 教育の基礎的理解に関する科目等

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学開設授業科目			履修年次	備考
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目名	単位数			
				必修	選択		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理 (小・中・高) 教育史 (小・中・高)	2	2	1 3	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)		2		2		
	教育に関する社会的・制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		2	2	2 3		
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		2	2	1 1		
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		2		2		
	教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)		2		2		
道徳、総合的な学習の時間、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	中10 高8	道徳教育の理論と実践 (小・中)	2		3	中一種免のみ
	総合的な学習 (探究) の時間の指導法 特別活動の指導法		2		4		
	教育の方法及び技術		2		2		
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法						
	生徒指導の理論及び方法		2		4		
	教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。) の理論及び方法		2		3		
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法						
教育実践に関する科目	教育実習	中5 高3	教育実習事前事後指導 (中・高) 教育実習Ⅰ (中・高) 教育実習Ⅱ (中・高)	1 2		3 4 4	中一種免必修
	学校体験活動						
	教職実践演習		2		2	4	

中学校一種免許は、必修科目を含め29単位以上修得すること。
高等学校一種免許は、必修科目を含め25単位以上修得すること。

〔X〕学校教育学科中高保健体育コース（保健体育）

（１）教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学開設授業科目			履修年次	備考	
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目名	単位数				
			必修	選択			
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	体育実技	体づくり 屋内球技 水泳 屋外球技 体操 陸上競技 武道 ダンス 武道教育演習 運動指導演習 1 運動指導演習 2 運動指導演習 3	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	2 1 2 2 2 2 2 2 3 3 3 3	
		「体育原理、体育心理学、体育経営管理学、体育社会学、体育史」・運動学（運動方法学を含む。）	体育心理学 運動学 武道教育論 運動指導論 地域健康づくり指導者論 運動心理学 トレーニング論	2 2 2 2 2 2 2	2 2 2 2 2 2	1 3 1 2 3 2 2	
		生理学（運動生理学を含む。）	生理学	2		1	
		衛生学・公衆衛生学	衛生学・公衆衛生学	2		3	
		学校保健（小児保健、精神保健、学校安全及び救急処置を含む。）	学校保健 スポーツ医学	2	2	2 3	
		教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目					
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	保健体育科教育法Ⅰ 保健体育科教育法Ⅱ 保健体育科教育法Ⅲ 保健体育科教育法Ⅳ	2 2 2 2	2 2 3 3	2 2 3 3	中一種免必修 中一種免必修	
<p>中学校一種免許は、必修科目を含め28単位以上修得すること。 高等学校一種免許は、必修科目を含め24単位以上修得すること。</p>							

(2) 大学が独自に設定する科目

科目区分	本学開設授業科目			履修年次	備考
	授業科目名	単位数			
		必修	選択		
大学が独自に設定する科目	道徳教育の理論と実践（小・中）		2	3	高一種免のみ

「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて中学校一種免許は4単位以上、高等学校一種免許は12単位以上修得すること。

(3) 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

区分	免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学開設授業科目			履修年次	備考
	授業科目名	単位数	授業科目名	必修	選択		
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	日本国憲法	2	日本国憲法	2		1	
	体育	2	健康体育A 健康体育B 健康と生活		1 1 2	1 1 1	左記から2単位以上修得すること。
	外国語コミュニケーション	2	英語Ⅰ 英語Ⅱ 教養英語A 教養英語B		1 1 1 1	1 1 1 1	左記から2単位以上修得すること。
	数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報Ⅰ 情報Ⅱ	1 1		1 1	

必修科目4単位を含め、8単位以上を修得すること。

(4) 教育の基礎的理解に関する科目等

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学開設授業科目			履修年次	備考
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目名	単位数			
				必修	選択		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理 (小・中・高)	2		1	
	教育史 (小・中・高)			2	3		
	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)		教職概論 (小・中・高)	2		2	
	教育に関する社会的・制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		教育社会学 (小・中・高)	2		2	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育制度論 (小・中・高)		2	3	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		教育心理学 (小・中・高)	2		1	
特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	発達心理学 (小・中・高)		2	1			
教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)	特別支援教育 (小・中・高)	2		2			
	教育課程論 (小・中・高)	2		2			
道徳、総合的な学習の時間、生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	中10高8	道徳教育の理論と実践 (小・中)	2		3	中一種免のみ
	総合的な学習 (探究) の時間の指導法		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法 (小・中・高)	2		4	
	特別活動の指導法		教育方法論 (情報通信技術の活用を含む) (小・中・高)	2		2	
	教育の方法及び技術						
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法		生徒・進路指導論 (小・中・高)	2		4	
	生徒指導の理論及び方法		教育相談 (小・中・高)	2		3	
教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。) の理論及び方法							
進路指導及びキャリア教育の理論及び方法							
教育実践に関する科目	教育実習	中5高3	教育実習事前事後指導 (中・高)	1		3	
			教育実習 I (中・高)	2		4	
			教育実習 II (中・高)		2	4	中一種免必修
	学校体験活動						
	教職実践演習	2			4		
中学校一種免許は、必修科目を含め29単位以上修得すること。 高等学校一種免許は、必修科目を含め25単位以上修得すること。							

〔XI〕 学校教育学科中高英語コース（英語）
（１）教科及び教科の指導法に関する科目

施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学開設授業科目			履修年次	備考
科目区分	各科目に含めることが必要な事項	授業科目名	単位数			
			必修	選択		
教科に関する専門的事項	英語学	英語教育の中の英語学総論	2		2	
		英語音声学 英語教育の中の英語学特論		2 2	2 3	
	英語文学	英語教育とアメリカ文学総論	2		2	
		英語教育とイギリス文学総論	2		2	
		英語教育の中の英米文学・文化		2	3	
	英語コミュニケーション	Listening Comprehension I	1		1	
		Listening Comprehension II		1	1	
		Speaking Workshop I	1		1	
		Speaking Workshop II		1	1	
		Reading Comprehension I	1		1	
Reading Comprehension II			1	1		
Writing Workshop I		1		1		
Writing Workshop II			1	1		
English Pronunciation Workshop		1		2		
English Grammar I		1		1		
English Grammar II			1	1		
Integrated English Communication I		1		2		
Integrated English Communication II		1		2		
Integrated English Communication III			1	3		
Integrated English Communication IV		1	3			
異文化理解	Intercultural Communication I	2		2		
	Intercultural Communication II		2	2		
	英語圏文化論		2	2		
教科及び教科の指導法に関する科目における複数の事項を合わせた内容に係る科目	Classroom English	2		1		
	第二言語習得論	2		3		
	言語・文化・教育学研究法		2	3		
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	英語科教育法Ⅰ	2		2	中一種免必修 中一種免必修	
	英語科教育法Ⅱ	2		2		
	英語科教育法Ⅲ		2	3		
	英語科教育法Ⅳ		2	3		

中学校一種免許は、必修科目を含め28単位以上修得すること。
高等学校一種免許は、必修科目を含め24単位以上修得すること。

(2) 大学が独自に設定する科目

科目区分	本学開設授業科目			履修年次	備考
	授業科目名	単位数			
		必修	選択		
大学が独自に設定する科目	道徳教育の理論と実践（小・中）		2	3	高一種免のみ

「大学が独自に設定する科目」の選択科目又は最低修得単位を超えて履修した「教科及び教科の指導法に関する科目」又は「教育の基礎的理解に関する科目」「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目」「教育実践に関する科目」について、併せて中学校一種免許は4単位以上、高等学校一種免許は12単位以上修得すること。

(3) 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目

区分	免許法施行規則に定める科目区分等		左記に対応する本学開設授業科目			履修年次	備考
	授業科目名	単位数	授業科目名	必修	選択		
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	日本国憲法	2	日本国憲法	2		1	
	体育	2	健康体育A 健康体育B 健康と生活		1 1 2	1 1 1	左記から2単位以上修得すること。
	外国語コミュニケーション	2	英語Ⅰ 英語Ⅱ 教養英語A 教養英語B		1 1 1 1	1 1 1 1	左記から2単位以上修得すること。
	数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2	情報Ⅰ 情報Ⅱ	1 1		1 1	

必修科目4単位を含め、8単位以上修得すること。

(4) 教育の基礎的理解に関する科目等

施行規則に定める科目区分等			左記に対応する本学開設授業科目			履修年次	備考
科目	各科目に含めることが必要な事項	単位数	授業科目名	単位数			
				必修	選択		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	10	教育原理 (小・中・高)	2		1	
	教育史 (小・中・高)			2	3		
	教職の意義及び教員の役割・職務内容 (チーム学校運営への対応を含む。)		2		2		
	教育に関する社会的・制度的又は経営的事項 (学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)		2	2	2	3	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		2		1		
	発達心理学 (小・中・高)			2	1		
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解		2		2		
教育課程の意義及び編成の方法 (カリキュラム・マネジメントを含む。)	2		2				
道徳、生徒指導、総合的な学習の時間等に関する科目	道徳の理論及び指導法	中10高8	道徳教育の理論と実践 (小・中)	2		3	中一種免のみ
	総合的な学習(探究)の時間の指導法 特別活動の指導法		2		4		
	教育の方法及び技術		2		2		
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法						
	生徒指導の理論及び方法		2		4		
	教育相談 (カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法		2		3		
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法						
教育実践に関する科目	教育実習	中5高3	教育実習事前事後指導 (中・高)	1		3	
			教育実習 I (中・高)	2		4	
			教育実習 II (中・高)		2	4	中一種免必修
	学校体験活動						
	教職実践演習	2		2	4		

中学校一種免許は、必修科目を含め29単位以上修得すること。

高等学校一種免許は、必修科目を含め25単位以上修得すること。

〔別記2〕

(博物館学芸員養成のための課程の履修)

履修規則第21条第2項に基づく課程の履修は、次表のとおりとする。

この課程の以下の科目は、すべて修得すること。

法令上の科目名	単位	本学開講科目名	単位	履修年次	備考
生涯学習概論	2	生涯学習概論	2	1年前期	
博物館概論	2	博物館概論	2	1年前期	
博物館経営論	2	博物館経営論	2	3年前期	
博物館資料論	2	博物館資料論	2	2年前期	
博物館資料保存論	2	博物館資料保存論	2	2年後期	
博物館展示論	2	博物館展示論	2	2年前期	
博物館教育論	2	博物館教育論	2	2年前期	
博物館情報・メディア論	2	博物館情報・メディア論	2	2年後期	
博物館実習	3	博物館実習（学内）	2	3年集中	
		博物館実習（館園）	1	3年後期	

(注1) 本課程開講科目のうち、一部の科目を本学の他大学（放送大学を含む。）との間の単位互換協定に基づき、学生が相応する単位の修得をした場合、その単位の修得を認めることができる。

〔別記3〕

(食品衛生管理者、食品衛生監視員課程の履修：生命科学科の生命・健康コース及び生命コースの入学者のうち、希望学生から選定する)

履修規則第22条第2項に基づく課程の履修は、次表のとおりとする。

群	法令上の科目名	本学開講科目名	単位数		履修年次	備考
			必修	選択		
A群 化学関係	分析化学	生物分析基礎		2	2	
	有機化学	有機化学Ⅰ		2	1	
		有機化学Ⅱ		2	2	
	無機化学	化学Ⅰ		2	1	
		化学Ⅱ		2	1	
実験	基礎科学実験(化学)	1		1		
B群 生物化学関係	生物化学	生物化学Ⅰ		2	2	
		生物化学Ⅱ		2	2	
	食品化学	食品化学		2	3	
	生理学	代謝栄養学		2	2	
	食品分析学	食品分析学		2	3	
	実験	生命科学基礎実験Ⅰ	4		2	
生命科学実験Ⅰ		4		3		
C群 微生物学関係	微生物学	微生物学		2	2	
	食品保存学	食品保存・加工学		2	2~3	隔年開講
	食品製造学	バイオプロセス		2	3	
	実験	生命科学基礎実験Ⅱ	4		2	
		生命科学実験Ⅱ	4		3	
D群 公衆衛生学関係	公衆衛生学	公衆衛生学		2	2	
	食品衛生学	食品衛生学	2		2	
E群 その他関連科目	生物有機化学	最近の医薬品生命科学		2	3	
		分子生物学Ⅰ		2	2	
	食品理化学	身近な化学		2	1	
	酵素化学	酵素学		2	2	
	応用微生物学	バイオ産業論		2	2~3	隔年開講
	細胞生物学	細胞生物学		2	2	
	植物生理学	植物生理学		2	2	
	医化学	化学療法論		2	3	
	栄養化学	機能性素材科学		2	2	
	遺伝学	最近の遺伝子生命工学		2	3	
品質管理学	製造物責任概論	2		2		

注：A群からD群までの中から必修科目を含めて各群1科目以上計22単位以上、かつ、必修科目を含めたE群の科目と合わせて総単位数が40単位以上であること。

〔別記4〕

履修規則第23条第1項に基づく保育士養成課程の履修は、次表のとおりとする。
教育人間科学部 こども学科

教科目の種別	単位数			必要単位数	備考
	必修	選択	計		
(1)教養科目	2	16	18	必修2単位含め11単位以上修得すること。	
(2)告示別表第1による教科目	57	0	57	必修57単位を全て修得すること。	
(3)告示別表第2による教科目	10	23	33	必修10単位含め18単位以上修得すること。	
合計	69	39	108	必修69単位含め86単位以上修得すること。	

以上の「教科目の種別」ごとに、以下の教科目の中から必修69単位を含め86単位を修得すること。

(1) 教養科目

告示による教科目				当該養成施設における教科の開設状況等					備考
系列	教科目	授業形態	単位数	左記に対応して開講されている教科目	授業形態	単位数			
						必修	選択	計	
教養科目	外国語、 体育以外の科目	不問	6 以上	社会学	講義		2	2	左記から6単位以上を修得すること。
				文学A	講義		2	2	
				心理学A	講義		2	2	
				心理学B	講義		2	2	
				文化史A	講義		2	2	
	外国語	演習	2 以上	英語I	演習		1	1	左記から2単位以上を修得すること。
				英語II	演習		1	1	
				教養英語A	演習		1	1	
				教養英語B	演習		1	1	
	体育	講義	1	健康と生活	講義	2		2	
実技		1	健康体育A	実技		1	1	左記から1単位以上を修得すること。	
			健康体育B	実技		1	1		
合計		10単位以上				2	16	18	

(2) 告示別表第1による教科目

告示別表第1による教科目				当該養成施設における教科の開設状況等					備考
系列	教科目	授業形態	単位数	左記に対応して開講されている教科目	授業形態	単位数			
						必修	選択	計	
保育の本質・目的に関する科目	保育原理	講義	2	保育原理	講義	2		2	
	教育原理	講義	2	教育原理	講義	2		2	
	子ども家庭福祉	講義	2	子ども家庭福祉	講義	2		2	
	社会福祉	講義	2	社会福祉	講義	2		2	
	子ども家庭支援論	講義	2	子ども家庭支援論	講義	2		2	
	社会的養護Ⅰ	講義	2	社会的養護Ⅰ	講義	2		2	
保育の対象の理解に関する科目	保育者論	講義	2	保育者論	講義	2		2	
	保育の心理学	講義	2	保育の心理学	講義	2		2	
	子ども家庭支援の心理学	講義	2	子ども家庭支援の心理学	講義	2		2	
	子どもの理解と援助	演習	1	子どもの理解と援助	演習	1		1	
	子どもの保健	講義	2	子どもの保健	講義	2		2	
保育の内容・方法に関する科目	子どもの食と栄養	演習	2	子どもの食と栄養	演習	2		2	
	保育の計画と評価	講義	2	保育の計画と評価	講義	2		2	
	保育内容総論	演習	1	保育内容総論	演習	2		2	
	保育内容演習	演習	5	保育の指導法（健康）	演習	2		2	
				保育の指導法（人間関係）	演習	2		2	
				保育の指導法（環境）	演習	2		2	
				保育の指導法（言葉）	演習	2		2	
				保育の指導法（表現）	演習	2		2	
	保育内容の理解と方法	演習	4	子どもと音楽表現ⅠA	演習	1		1	
				子どもと音楽表現ⅠB	演習	1		1	
				子どもと造形表現Ⅰ	演習	1		1	
				子どもと身体表現	演習	1		1	
	乳児保育Ⅰ	講義	2	乳児保育Ⅰ	講義	2		2	
乳児保育Ⅱ	演習	1	乳児保育Ⅱ	演習	1		1		
子どもの健康と安全	演習	1	子どもの健康と安全	演習	1		1		
障害児保育	演習	2	障害児保育	演習	2		2		
社会的養護Ⅱ	演習	1	社会的養護Ⅱ	演習	1		1		
子育て支援	演習	1	子育て支援	演習	1		1		
保育実習	保育実習Ⅰ	4	保育実習Ⅰ（保育所）	実習	2		2		
			保育実習Ⅰ（施設）	実習	2		2		
	保育実習指導Ⅰ	2	保育実習指導Ⅰ（保育所）	演習	1		1		
			保育実習指導Ⅰ（施設）	演習	1		1		
総合演習	保育実践演習	演習	2	保育・教職実践演習（幼・小）	演習	2		2	
計		51単位				57	0	57	

(3) 告示別表第2による教科目

告示別表第2による教科目				当該養成施設における教科の開設状況等					備考
系列	教科目	授業形態	単位数	左記に対応して開講されている教科目	授業形態	単位数			
						必修	選択	計	
保育の本質・目的に関する科目	各指定保育士養成施設において設定		15 単 位 以 上	教育社会学	講義	2		2	左記から必修科目を含め、15単位以上修得すること。
				教職概論	講義	2		2	
幼児理解の理論と方法				講義	2		2		
保育の対象の理解に関する科目				教育心理学	講義	2		2	
教育相談論				講義	2		2		
保育の内容・方法に関する科目				児童文学	講義		2	2	
				動物介在教育学	講義		2	2	
				動物・ペット介在教育演習	演習		1	1	
				こども文化教育演習	演習		1	1	
				子どもと健康Ⅰ	演習		1	1	
				子どもと健康Ⅱ	演習		1	1	
				子どもと人間関係Ⅰ	演習		1	1	
				子どもと人間関係Ⅱ	演習		1	1	
				子どもと環境Ⅰ	演習		1	1	
				子どもと環境Ⅱ	演習		1	1	
				子どもと言葉Ⅰ	演習		1	1	
				子どもと言葉Ⅱ	演習		1	1	
				子どもと音楽表現ⅡA	演習		1	1	
				子どもと音楽表現ⅡB	演習		1	1	
子どもと造形表現Ⅱ				演習		1	1		
保育実習	保育実習Ⅱ	実習	2	保育実習Ⅱ（保育所）	実習		2	2	保育実習Ⅱ・保育実習指導Ⅱ又は保育実習Ⅲ・保育実習指導Ⅲのいずれかを選択必修
	保育実習指導Ⅱ	演習	1	保育実習指導Ⅱ（保育所）	演習		1	1	
	保育実習Ⅲ	実習	2	保育実習Ⅲ（施設）	実習		2	2	
	保育実習指導Ⅲ	演習	1	保育実習指導Ⅲ（施設）	演習		1	1	
合計			18単位以上			10	23	33	

履修規則第23条第1項に基づく保育士養成課程の履修は、次表のとおりとする。
教育人間科学部 幼児保育学科

教科目の種別	単位数			必要単位数	備 考
	必修	選択	計		
(1)教養科目	4	16	20	必修4単位含め 11 単位以上 修得すること。	
(2)告示別表第1による教科目	56	0	56	必修 56 単位を全て修得する こと。	
(3)告示別表第2による教科目	0	43	43	18 単位以上修得すること。	
合 計	60	59	119	必修 60 単位含め 85 単位以上 修得すること。	

以上の「教科目の種別」ごとに、以下の教科目の中から必修60単位を含め85単位を修得すること。

(1) 教養科目

告示による教科目				当該養成施設における教科の開設状況等					備考
系 列	教科 目	授業 形態	単位 数	左記に対応して開講 されている教科目	授業 形態	単位数			
						必 修	選 択	計	
教 養 科 目	外国語、 体育以外の 科目	不問	6 以上	日本国憲法	講義	2		2	左記から6単位以上 を修得すること。
				哲学B	講義		2	2	
				倫理学B	講義		2	2	
				心理学A（心理学概論）	講義		2	2	
				心理学B	講義		2	2	
				歴史学A	講義		2	2	
	外国語	演習	2 以上	英語Ⅰ	演習		1	1	左記から2単位以上 を修得すること。
				英語Ⅱ	演習		1	1	
				教養英語A	演習		1	1	
				教養英語B	演習		1	1	
	体育	講義	1	健康と生活	講義	2		2	左記から1単位以上 を修得すること。
		実技	1	健康体育A	実技		1	1	
健康体育B				実技		1	1		
合計		10単位以上				4	16	20	
				20単位（ ≥10 ）					

(2) 告示別表第1による教科目

告示別表第1による教科目				当該養成施設における教科の開設状況等					備考	
系列	教科目	授業形態	単位数	左記に対応して開講されている教科目	授業形態	単位数				
						必修	選択	計		
保育の本質・目的に関する科目	保育原理	講義	2	保育原理	講義	2		2		
	教育原理	講義	2	教育原理(幼)	講義	2		2		
	子ども家庭福祉	講義	2	子ども家庭福祉	講義	2		2		
	社会福祉	講義	2	社会福祉	講義	2		2		
	子ども家庭支援論	講義	2	子ども家庭支援論	講義	2		2		
	社会的養護Ⅰ	講義	2	社会的養護Ⅰ	講義	2		2		
保育の対象の理解に関する科目	保育者論	講義	2	保育者論	講義	2		2		
	保育の心理学	講義	2	保育の心理学	講義	2		2		
	子ども家庭支援の心理学	講義	2	子ども家庭支援の心理学	講義	2		2		
	子どもの理解と援助	演習	1	子どもの理解と援助	演習	1		1		
	子どもの保健	講義	2	子どもの保健	講義	2		2		
保育の内容・方法に関する科目	子どもの食と栄養	演習	2	子どもの食と栄養	演習	2		2		
	保育の計画と評価	講義	2	保育の計画と評価	講義	2		2		
	保育内容総論	演習	1	保育内容総論Ⅰ	演習	1		1		
	保育内容演習	演習	5	保育内容(健康)	演習	2		2		
				保育内容(人間関係)	演習	2		2		
				保育内容(環境)	演習	2		2		
				保育内容(言葉)	演習	2		2		
				保育内容(表現)	演習	2		2		
	保育内容の理解と方法	演習	4	幼児と表現Ⅰ	演習	2		2		
				幼児と表現Ⅱ	演習	2		2		
	乳児保育Ⅰ	講義	2	乳児保育Ⅰ	講義	2		2		
	乳児保育Ⅱ	演習	1	乳児保育Ⅱ	演習	1		1		
	子どもの健康と安全	演習	1	子どもの健康と安全	演習	1		1		
	障害児保育	演習	2	特別支援教育概論Ⅰ(障害児保育を含む)	演習	1		1		
特別支援教育概論Ⅱ(障害児保育を含む)				演習	1		1			
社会的養護Ⅱ	演習	1	社会的養護Ⅱ	演習	1		1			
子育て支援	演習	1	子育て支援	演習	1		1			
保育実習	保育実習Ⅰ	実習	4	保育実習Ⅰ(保育所)	実習	2		2		
				保育実習Ⅰ(施設)	実習	2		2		
	保育実習指導Ⅰ	演習	2	保育実習指導Ⅰ(保育所)	演習	1		1		
				保育実習指導Ⅰ(施設)	演習	1		1		
総合演習	保育実践演習	演習	2	保育・教職実践演習(幼稚園)	演習	2		2		
合計		51単位					56	0	56	
				56 単位 (≥ 51 単位)						

(3) 告示別表第2による教科目

別表第2による教科目				当該養成施設における教科の開設状況等					備 考
系列	教科目	授業形態	単位数	左記に対応して開講されている教科目	授業形態	単位数			
						必修	選択	計	
保育の本質・目的に関する科目 保育の対象の理解に関する科目 保育の内容・方法に関する科目	各指定保育士養成施設において設定		15 単位 以上	教職概論(幼)	講義		2	2	左記から15単位以上を修得すること。
				教育制度論(幼)	講義		2	2	
				教育経営論(幼)	講義		2	2	
				幼児理解の理論と方法	講義		2	2	
				教育相談の理論と方法	講義		2	2	
				社会・集団・家族心理学	講義		2	2	
				障害者・障害児心理学	講義		2	2	
				福祉心理学	講義		2	2	
				動物とこどもの生活	講義		2	2	
				保育内容総論Ⅱ	講義		2	2	
				幼児と健康	講義		2	2	
				幼児と人間関係	講義		2	2	
				幼児と環境	講義		2	2	
				幼児と言葉	講義		2	2	
				こどもと食育	講義		2	2	
食育演習	演習		2	2					
動物介在教育学演習	演習		1	1					
学校動物飼育技術	講義		2	2					
動物介在教育学	講義		2	2					
保育実習	保育実習Ⅱ	実習	2	保育実習Ⅱ	実習		2	2	保育実習Ⅱ・保育実習指導Ⅱ又は保育実習Ⅲ・保育実習指導Ⅲのいずれかを選択必修
	保育実習指導Ⅱ	演習	1	保育実習指導Ⅱ	演習		1	1	
	保育実習Ⅲ	実習	2	保育実習Ⅲ	実習		2	2	
	保育実習指導Ⅲ	演習	1	保育実習指導Ⅲ	演習		1	1	
合 計			18単位以上			0	43	43	
				43単位(≥ 18単位)					

〔別記5〕

(アスレティックトレーナー養成のための課程の履修)

履修規則第24条に基づく、アスレティックトレーナー課程の履修は次表のとおりとする。

以下の科目は、すべて修得すること。

東京柔道整復学科

日本スポーツ協会指定科目		本学開講科目名		履修年次
科目内容		授業科目	単位	
共通科目	コーチングを理解しよう 1. コーチングとは 2. コーチに求められる役割 3. コーチに求められる知識とスキル 4. 対他者力を磨こう 5. 対自己力を磨こう 6. スポーツの意義と価値 7. スポーツの価値を守るスポーツ権 8. スポーツの自治ーガバナンスとコンプライアンスー 9. 暴力・ハラスメントの根絶 10. スポーツのインテグリティ 11. スポーツ事故におけるスポーツ指導者の法的責任 12. スポーツ仲裁 13. スポーツ倫理 14. 時代をリードするコーチング	コーチング論Ⅰ 体育・スポーツ経営学	2 2	1年後期 1年後期
	グッドコーチに求められる医・科学的知識 1. スポーツトレーニングの基本的な考え方と理論体系 2. 体力のトレーニング 3. スキルトレーニング 4. 心のトレーニング 5. スポーツと栄養 6. スポーツに関連する医学的知識 7. アンチ・ドーピング	スポーツトレーニング入門 生理学Ⅰ 生理学Ⅱ 生理学Ⅲ 生理学Ⅳ 運動学と行動 スポーツ心理学基礎 スポーツと食事 スポーツ医学概論	2 2 2 2 2 2 2 2 2	1年前期 1年前期 1年後期 2年前期 2年後期 2年前期 2年前期 2年後期 3年前期
	現場・環境に応じたコーチング 1. コーチング環境の特徴 2. ハイパフォーマンススポーツにおける今日的なコーチング 3. スポーツ組織のマネジメント 4. 障がい者とスポーツ	コーチング論Ⅱ	2	2年前期
専門科目	JSPO-ATの役割 1) 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー(JSPO-AT)とは 2) JSPO-ATのコンピテンシーに応じた業務と運営 3) JSPO-ATの活動と倫理および運営管理 4) JSPO-ATの安全と健康管理、セルフマネジメント 5) スポーツ医・科学チームとスタッフ 6) エビデンスに基づいた運営(EBP) 7) 関係者・対象者とのコミュニケーション	JSPO-ATの役割	2	1年前期
	安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害の予防 1) スポーツ現場における安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害予防の概念 2) スポーツ現場におけるスポーツ外傷・障害・事故・疾病の実態 3) 各種要因が安全・健康管理に及ぼす影響 4) 安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害予防におけるJSPO-ATの役割 5) 健康管理 6) スポーツ外傷・障害の予防 7) 安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害予防のための各種評価と情報の活用 8) 安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害へ影響を及ぼしうる各種要因への対応	AT総合演習Ⅰ AT総合演習Ⅱ	2 4	3年前期 3年後期

専 門 科 目	コンディショニング 1) JSPO-ATの役割としてのコンディショニング 2) コンディショニングのプログラムデザイン 3) 競技特性の分析 4) トレーニング各論 5) コンディショニングに関するそのほかの情報	コンディショニングⅠ コンディショニングⅡ トレーニング科学演習	4 2 1	1年前期 2年後期 1年後期
	リコンディショニング 1) リコンディショニング総論 2) リコンディショニングで用いる代表的な手法 3) リコンディショニングにおける評価とプログラミング 4) リコンディショニングに必要な組織修復、治癒過程の知識 5) 機能的、身体的な状態に応じたリコンディショニング 6) 部位ごとの状態に応じたリコンディショニング 7) スポーツ動作の問題に対するリコンディショニング	リコンディショニングⅠ リコンディショニングⅡ	4 2	2年前期 3年前期
	救急対応 1) スポーツ現場と救急対応 2) 救急対応の考え方 3) スポーツ現場における救急体制構築の留意点と計画 4) スポーツ現場での外傷、障害の評価とその手順 5) 外傷時の救急対応 6) 内科的疾患に対する救急対応 7) 各競技における救急体制の実際	救急医療 救急医療（実践）	2 2	2年後期 3年後期
	検査・測定と評価 1) JSPO-ATの行う検査・測定・評価とは 2) JSPO-ATの行う検査・測定・評価の実際	検査・測定と評価（実習含む）	2	3年前期
	人体の解剖と機能 1) 上肢・体幹 2) 骨盤・下肢	解剖学Ⅰ 解剖学Ⅱ 解剖学Ⅲ 解剖学Ⅳ	2 2 2 2	1年前期 1年後期 2年前期 2年後期
	スポーツ科学 1) 運動生理学 2) バイオメカニクス 3) 体力・運動能力向上と外傷・障害予防に必要なスポーツ科学の応用知識 4) スポーツ科学の基礎知識の体力・運動能力向上と外傷・障害への活用	スポーツトレーニング入門 バイオメカニクス 運動学と行動 生理学Ⅰ 生理学Ⅱ 生理学Ⅲ 生理学Ⅳ	2 2 2 2 2 2 2	1年前期 3年前期 2年前期 1年前期 1年後期 2年前期 2年後期
	スポーツ医学 1) 上肢・体幹・下肢の代表的なスポーツ外傷・障害 2) スポーツ現場でおこりうる留意すべき重篤な外傷・障害・疾病 3) スポーツ活動と関連する代表的な循環器疾患、呼吸器疾患、代謝性疾患、血液疾患等 4) スポーツ現場でおこりうる眼科、耳鼻科、歯科、皮膚科領域の代表的な外傷および疾病 5) 対象別（女性、高齢者、発育期、パラアスリート）によるスポーツ外傷・障害の特徴及び医学的留意事項	スポーツ医学概論 健康管理とスポーツ医学	2 2	3年前期 3年後期
	見学実習	アスレティックトレーナー見学実習	1	1年前期
	現場実習 （ストレッチング、テーピング、応急措置等）	アスレティックトレーナー現場実習Ⅰ	1	1年後期
	検査・測定と評価実習、 アスレティックリハビリテーションプログラム作成実習	アスレティックトレーナー現場実習Ⅱ	1	2年前期
アスレティックリハビリテーション実習 （プログラム作成、実施等）	アスレティックトレーナー現場実習Ⅲ	1	2年後期	
総合実習	アスレティックトレーナー総合実習	2	3年通年	

東京理学療法学科

日本スポーツ協会指定科目		本学開講科目名		履修年次
科目内容		授業科目	単位	
共通科目	コーチングを理解しよう 1. コーチングとは 2. コーチに求められる役割 3. コーチに求められる知識とスキル 4. 対他者力を磨こう 5. 対自己力を磨こう 6. スポーツの意義と価値 7. スポーツの価値を守るスポーツ権 8. スポーツの自治-ガバナンスとコンプライアンス- 9. 暴力・ハラスメントの根絶 10. スポーツのインテグリティ 11. スポーツ事故におけるスポーツ指導者の法的責任 12. スポーツ仲裁 13. スポーツ倫理 14. 時代をリードするコーチング	コーチング論Ⅰ 2 1年後期 体育・スポーツ経営学 2 1年後期		
	グッドコーチに求められる医・科学的知識 1. スポーツトレーニングの基本的な考え方と理論体系 2. 体力のトレーニング 3. スキルトレーニング 4. 心のトレーニング 5. スポーツと栄養 6. スポーツに関連する医学的知識 7. アンチ・ドーピング	運動生理学 2 1年前期 身体機能学実習 1 2年前期 運動学Ⅱ 2 1年後期 スポーツ心理学基礎 2 2年前期 スポーツと食事 2 2年後期 スポーツ医学 2 3年前期 スポーツトレーニング入門 2 1年前期		
	現場・環境に応じたコーチング 1. コーチング環境の特徴 2. ハイパフォーマンススポーツにおける今日的なコーチング 3. スポーツ組織のマネジメント 4. 障がい者とスポーツ	コーチング論Ⅱ 2 2年前期		
専門科目	JSPO-ATの役割 1) 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー(JSPO-AT)とは 2) JSPO-ATのコンピテンシーに応じた業務と運営 3) JSPO-ATの活動と倫理および運営管理 4) 5) スポーツ医・科学チームとスタッフ 6) エビデンスに基づいた運営 (EBP) 7) 関係者・対象者とのコミュニケーション	JSPO-ATの役割 2 1年前期		
	安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害の予防 1) スポーツ現場における安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害予防の概念 2) スポーツ現場におけるスポーツ外傷・障害・事故・疾病の実態 3) 各種要因が安全・健康管理に及ぼす影響 4) 安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害予防におけるJSPO-ATの役割 5) 健康管理 6) スポーツ外傷・障害の予防 7) 安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害予防のための各種評価と情報の活用 8) 安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害へ影響を及ぼしうる各種要因への対応	AT総合演習Ⅰ 2 3年前期 AT総合演習Ⅱ 4 3年後期		
	コンディショニング 1) JSPO-ATの役割としてのコンディショニング 2) コンディショニングのプログラムデザイン 3) 競技特性の分析 4) トレーニング各論 5) コンディショニングに関するそのほかの情報	コンディショニングⅠ 4 1年前期 コンディショニングⅡ 2 2年後期 トレーニング科学演習 1 1年後期		

専 門 科 目	<p>リコンディショニング</p> <p>1) リコンディショニング総論 2) リコンディショニングで用いる代表的な手法 3) リコンディショニングにおける評価とプログラミング 4) リコンディショニングに必要な組織修復、治癒過程の知識 5) 機能的、身体的な状態に応じたリコンディショニング 6) 部位ごとの状態に応じたリコンディショニング 7) スポーツ動作の問題に対するリコンディショニング</p>	<p>リコンディショニング I リコンディショニング II</p>	<p>4 2</p>	<p>2年前期 3年前期</p>
	<p>救急対応</p> <p>1) スポーツ現場と救急対応 2) 救急対応の考え方 3) スポーツ現場における救急体制構築の留意点と計画 4) スポーツ現場での外傷、障害の評価とその手順 5) 外傷時の救急対応 6) 内科的疾患に対する救急対応 7) 各競技における救急体制の実際</p>	<p>救急医療 救急医療（実践）</p>	<p>2 2</p>	<p>2年後期 3年後期</p>
	<p>検査・測定と評価</p> <p>1) JSPO-ATの行う検査・測定・評価とは 2) JSPO-ATの行う検査・測定・評価の実際</p>	<p>検査・測定と評価（実習含む）</p>	<p>2</p>	<p>3年前期</p>
	<p>人体の解剖と機能</p> <p>1) 上肢・体幹 2) 骨盤・下肢</p>	<p>身体構造学 I 身体構造学 II 解剖学 III 解剖学 IV</p>	<p>2 2 2 2</p>	<p>1年前期 1年後期 2年前期 2年後期</p>
	<p>スポーツ科学</p> <p>1) 運動生理学 2) バイオメカニクス 3) 体力・運動能力向上と外傷・障害予防に必要なスポーツ科学の応用知識 4) スポーツ科学の基礎知識の体力・運動能力向上と外傷・障害への活用</p>	<p>スポーツトレーニング入門 バイオメカニクス 身体機能学実習</p>	<p>2 2 1</p>	<p>1年前期 3年前期 2年前期</p>
	<p>スポーツ医学</p> <p>1) 上肢・体幹・下肢の代表的なスポーツ外傷・障害 2) スポーツ現場で起こりうる留意すべき重篤な外傷・障害・疾病 3) スポーツ活動と関連する代表的な循環器疾患、呼吸器疾患、代謝性疾患、血液疾患等 4) スポーツ現場で起こりうる眼科、耳鼻科、歯科、皮膚科領域の代表的な外傷および疾病 5) 対象別（女性、高齢者、発育期、パラアスリート）によるスポーツ外傷・障害の特徴及び医学的留意事項</p>	<p>整形外科学 健康管理とスポーツ医学</p>	<p>2 2</p>	<p>2年前期 3年後期</p>
	見学実習	アスレティックトレーナー見学実習	1	1年前期
	<p>スポーツ現場実習 (ストレッチング、テーピング、応急措置等)</p>	アスレティックトレーナー現場実習 I	1	1年後期
	<p>検査・測定と評価実習、 アスレティックリハビリテーションプログラム作成実習</p>	アスレティックトレーナー現場実習 II	1	2年前期
	<p>アスレティックリハビリテーション実習 (プログラム作成、実施等)</p>	アスレティックトレーナー現場実習 III	1	2年後期
総合実習	アスレティックトレーナー総合実習	2	3年通年	

理学療法学科

日本スポーツ協会指定科目		本学開講科目名		履修年次
科目内容		授業科目	単位	
共通科目	コーチングを理解しよう 1. コーチングとは 2. コーチに求められる役割 3. コーチに求められる知識とスキル 4. 对他者力を磨こう 5. 對自己力を磨こう 6. スポーツの意義と価値 7. スポーツの価値を守るスポーツ権 8. スポーツの自治・ガバナンスとコンプライアンス 9. 暴力・ハラスメントの根絶 10. スポーツのインテグリティ 11. スポーツ事故におけるスポーツ指導者の法的責任 12. スポーツ仲裁 13. スポーツ倫理 14. 時代をリードするコーチング	コーチング論Ⅰ 体育・スポーツ経営学	2 2	1年前期 1年後期
	グッドコーチに求められる医・科学的知識 1. スポーツトレーニングの基本的な考え方と理論体系 2. 体力のトレーニング 3. スキルトレーニング 4. 心のトレーニング 5. スポーツと栄養 6. スポーツに関連する医学的知識 7. アンチ・ドーピング	スポーツ心理学基礎 スポーツと食事 スポーツ障害と臨床医学 スポーツトレーナー入門	1 1 1 2	2年前期 2年前期 2年後期 1年後期
	現場・環境に応じたコーチング 1. コーチング環境の特徴 2. ハイパフォーマンススポーツにおける今日的なコーチング 3. スポーツ組織のマネジメント 4. 障がい者とスポーツ	コーチング論Ⅱ	2	2年後期
専門科目	JSPO-ATの役割 1) 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー(JSPO-AT)とは 2) JSPO-ATのコンピテンシーに応じた業務と運営 3) JSPO-ATの活動と倫理および運営管理 4) JSPO-ATの安全と健康管理、セルフマネジメント 5) スポーツ医・科学チームとスタッフ 6) エビデンスに基づいた運営(EBP) 7) 関係者・対象者とのコミュニケーション	JSPO-ATの役割	2	1年前期
	安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害の予防 1) スポーツ現場における安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害予防の概念 2) スポーツ現場におけるスポーツ外傷・障害・事故・疾病の実態 3) 各種要因が安全・健康管理に及ぼす影響 4) 安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害予防におけるJSPO-ATの役割 5) 健康管理 6) スポーツ外傷・障害の予防 7) 安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害予防のための各種評価と情報の活用 8) 安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害へ影響を及ぼしうる各種要因への対応	AT総合演習Ⅰ AT総合演習Ⅱ	2 4	2年前期 3年前期
	コンディショニング 1) JSPO-ATの役割としてのコンディショニング 2) コンディショニングのプログラムデザイン 3) 競技特性の分析 4) トレーニング各論 5) コンディショニングに関するそのほかの情報	コンディショニングⅠ コンディショニングⅡ	4 2	1年後期 3年前期

専門科目	<p>リコンディショニング</p> <p>1) リコンディショニング総論 2) リコンディショニングで用いる代表的な手法 3) リコンディショニングにおける評価とプログラミング 4) リコンディショニングに必要な組織修復、治癒過程の知識 5) 機能的、身体的な状態に応じたリコンディショニング 6) 部位ごとの状態に応じたリコンディショニング 7) スポーツ動作の問題に対するリコンディショニング</p>	<p>リコンディショニング I リコンディショニング II</p>	<p>4 2</p>	<p>2年後期 3年前期</p>
	<p>救急対応</p> <p>1) スポーツ現場と救急対応 2) 救急対応の考え方 3) スポーツ現場における救急体制構築の留意点と計画 4) スポーツ現場での外傷、障害の評価とその手順 5) 外傷時の救急対応 6) 内科的疾患に対する救急対応 7) 各競技における救急体制の実際</p>	<p>AT救急対応 AT救急対応（実践）</p>	<p>2 2</p>	<p>2年後期 3年前期</p>
	<p>検査・測定と評価</p> <p>1) JSPO-ATの行う検査・測定・評価とは 2) JSPO-ATの行う検査・測定・評価の実際</p>	<p>検査・測定と評価（実習含む）</p>	<p>2</p>	<p>2年後期</p>
	<p>人体の解剖と機能</p> <p>1) 上肢・体幹 2) 骨盤・下肢</p>	<p>人体の構造と機能 I 運動学 I</p>	<p>2 2</p>	<p>1年前期 1年通年</p>
	<p>スポーツ科学</p> <p>1) 運動生理学 2) バイオメカニクス 3) 体力・運動能力向上と外傷・障害予防に必要なスポーツ科学の応用知識 4) スポーツ科学の基礎知識の体力・運動能力向上と外傷・障害への活用</p>	<p>スポーツ科学 バイオメカニクス 運動生理学</p>	<p>2 2 2</p>	<p>1年前期 2年後期 2年前期</p>
	<p>スポーツ医学</p> <p>1) 上肢・体幹・下肢の代表的なスポーツ外傷・障害 2) スポーツ現場でおこりうる留意すべき重篤な外傷・障害・疾病 3) スポーツ活動と関連する代表的な循環器疾患、呼吸器疾患、代謝性疾患、血液疾患等 4) スポーツ現場でおこりうる眼科、耳鼻科、歯科、皮膚科領域の代表的な外傷および疾病 5) 対象別（女性、高齢者、発育期、パラアスリート）によるスポーツ外傷・障害の特徴及び医学的留意事項</p>	<p>スポーツ医学概論 健康管理とスポーツ医学</p>	<p>2 2</p>	<p>2年後期 3年前期</p>
現場実習	<p>見学実習</p>	<p>アスレティックトレーナー見学実習</p>	<p>1</p>	<p>1年前期</p>
	<p>スポーツ現場実習 (ストレッチング、テーピング、応急措置等)</p>	<p>アスレティックトレーナー現場実習 I</p>	<p>1</p>	<p>1年後期</p>
	<p>検査・測定と評価実習、 アスレティックリハビリテーションプログラム作成実習</p>	<p>アスレティックトレーナー現場実習 II</p>	<p>1</p>	<p>2年前期</p>
	<p>アスレティックリハビリテーション実習 (プログラム作成、実施等)</p>	<p>アスレティックトレーナー現場実習 III</p>	<p>1</p>	<p>2年後期</p>
	<p>総合実習</p>	<p>アスレティックトレーナー総合実習</p>	<p>2</p>	<p>3年後期</p>

作業療法学科

日本スポーツ協会指定科目		本学開講科目名		履修年次
科目内容		授業科目	単位	
共通科目	コーチングを理解しよう 1. コーチングとは 2. コーチに求められる役割 3. コーチに求められる知識とスキル 4. 対他者力を磨こう 5. 対自己力を磨こう 6. スポーツの意義と価値 7. スポーツの価値を守るスポーツ権 8. スポーツの自治-ガバナンスとコンプライアンス- 9. 暴力・ハラスメントの根絶 10. スポーツのインテグリティ 11. スポーツ事故におけるスポーツ指導者の法的責任 12. スポーツ仲裁 13. スポーツ倫理 14. 時代をリードするコーチング	コーチング論 I 体育・スポーツ経営学	2 2	1年前期 1年後期
	グッドコーチに求められる医・科学的知識 1. スポーツトレーニングの基本的な考え方と理論体系 2. 体力のトレーニング 3. スキルトレーニング 4. 心のトレーニング 5. スポーツと栄養 6. スポーツに関連する医学的知識 7. アンチ・ドーピング	スポーツ心理学基礎 スポーツと食事 スポーツ障害と臨床医学 スポーツトレーナー入門	1 1 1 2	2年前期 2年前期 2年後期 1年後期
	現場・環境に応じたコーチング 1. コーチング環境の特徴 2. ハイパフォーマンススポーツにおける今日的なコーチング 3. スポーツ組織のマネジメント 4. 障がい者とスポーツ	コーチング論 II	2	2年後期
専門科目	JSPO-ATの役割 1) 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー(JSPO-AT)とは 2) JSPO-ATのコンピテンシーに応じた業務と運営 3) JSPO-ATの活動と倫理および運営管理 4) JSPO-ATの安全と健康管理、セルフマネジメント 5) スポーツ医・科学チームとスタッフ 6) エビデンスに基づいた運営 (EBP) 7) 関係者・対象者とのコミュニケーション	JSPO-ATの役割	2	1年前期
	安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害の予防 1) スポーツ現場における安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害予防の概念 2) スポーツ現場におけるスポーツ外傷・障害・事故・疾病の実態 3) 各種要因が安全・健康管理に及ぼす影響 4) 安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害予防におけるJSPO-ATの役割 5) 健康管理 6) スポーツ外傷・障害の予防 7) 安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害予防のための各種評価と情報の活用 8) 安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害へ影響を及ぼしうる各種要因への対応	AT総合演習 I AT総合演習 II	2 4	2年前期 3年前期
	コンディショニング 1) JSPO-ATの役割としてのコンディショニング 2) コンディショニングのプログラムデザイン 3) 競技特性の分析 4) トレーニング各論 5) コンディショニングに関するそのほかの情報	コンディショニング I コンディショニング II	4 2	1年後期 3年前期

専門科目	リコンディショニング 1) リコンディショニング総論 2) リコンディショニングで用いる代表的な手法 3) リコンディショニングにおける評価とプログラミング 4) リコンディショニングに必要な組織修復、治癒過程の知識 5) 機能的、身体的な状態に応じたリコンディショニング 6) 部位ごとの状態に応じたリコンディショニング 7) スポーツ動作の問題に対するリコンディショニング	リコンディショニング I リコンディショニング II	4 2	2年後期 3年前期
	救急対応 1) スポーツ現場と救急対応 2) 救急対応の考え方 3) スポーツ現場における救急体制構築の留意点と計画 4) スポーツ現場での外傷、障害の評価とその手順 5) 外傷時の救急対応 6) 内科的疾患に対する救急対応 7) 各競技における救急体制の実際	AT救急対応 AT救急対応（実践）	2 2	2年後期 3年前期
	検査・測定と評価 1) JSPO-ATの行う検査・測定・評価とは 2) JSPO-ATの行う検査・測定・評価の実際	検査・測定と評価（実習含む）	2	2年後期
	人体の解剖と機能 1) 上肢・体幹 2) 骨盤・下肢	人体の構造と機能 I 運動学 運動学実習	2 2 1	1年前期 1年後期 2年前期
	スポーツ科学 1) 運動生理学 2) バイオメカニクス 3) 体力・運動能力向上と外傷・障害予防に必要なスポーツ科学の応用知識 4) スポーツ科学の基礎知識の体力・運動能力向上と外傷・障害への活用	スポーツ科学 バイオメカニクス 運動生理学	2 2 2	1年前期 2年後期 2年前期
	スポーツ医学 1) 上肢・体幹・下肢の代表的なスポーツ外傷・障害 2) スポーツ現場でおこりうる留意すべき重篤な外傷・障害・疾病 3) スポーツ活動と関連する代表的な循環器疾患、呼吸器疾患、代謝性疾患、血液疾患等 4) スポーツ現場でおこりうる眼科、耳鼻科、歯科、皮膚科領域の代表的な外傷および疾病 5) 対象別（女性、高齢者、発育期、パラアスリート）によるスポーツ外傷・障害の特徴及び医学的留意事項	スポーツ医学概論 健康管理とスポーツ医学	2 2	2年後期 3年前期
現場実習	見学実習	アスレティックトレーナー見学実習	1	1年前期
	スポーツ現場実習 (ストレッチング、テーピング、応急措置等)	アスレティックトレーナー現場実習 I	1	1年後期
	検査・測定と評価実習、 アスレティックリハビリテーションプログラム作成実習	アスレティックトレーナー現場実習 II	1	2年前期
	アスレティックリハビリテーション実習 (プログラム作成、実施等)	アスレティックトレーナー現場実習 III	1	2年後期
	総合実習	アスレティックトレーナー総合実習	2	3年後期

柔道整復学科

日本スポーツ協会指定科目		本学開講科目名		履修年次
科目内容		授業科目	単位	
共通科目	コーチングを理解しよう 1.コーチングとは 2.コーチに求められる役割 3.コーチに求められる知識とスキル 4.対他者力を磨こう 5.対自己力を磨こう 6.スポーツの意義と価値 7.スポーツの価値を守るスポーツ権 8.スポーツの自治-ガバナンスとコンプライアンス- 9.暴力・ハラスメントの根絶 10.スポーツのインテグリティ 11.スポーツ事故におけるスポーツ指導者の法的責任 12.スポーツ仲裁 13.スポーツ倫理 14.時代をリードするコーチング	コーチング論 I 体育・スポーツ経営学	2 2	1年前期 1年後期
	グッドコーチに求められる医・科学的知識 1.スポーツトレーニングの基本的な考え方と理論体系 2.体力のトレーニング 3.スキルトレーニング 4.心のトレーニング 5.スポーツと栄養 6.スポーツに関連する医学的知識 7.アンチ・ドーピング	スポーツ心理学基礎 スポーツと食事 スポーツ障害と臨床医学 スポーツトレーナー入門	1 1 1 2	2年前期 2年前期 2年後期 1年後期
	現場・環境に応じたコーチング 1.コーチング環境の特徴 2.ハイパフォーマンススポーツにおける今日的なコーチング 3.スポーツ組織のマネジメント 4.障がい者とスポーツ	コーチング論 II	2	2年後期
専門科目	JSPO-ATの役割 1) 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー(JSPO-AT)とは 2) JSPO-ATのコンピテンシーに応じた業務と運営 3) JSPO-ATの活動と倫理および運営管理 4) JSPO-ATの安全と健康管理、セルフマネジメント 5) スポーツ医・科学チームとスタッフ 6) エビデンスに基づいた運営 (EBP) 7) 関係者・対象者とのコミュニケーション	JSPO-ATの役割	2	1年前期
	安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害の予防 1) スポーツ現場における安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害予防の概念 2) スポーツ現場におけるスポーツ外傷・障害・事故・疾病の実態 3) 各種要因が安全・健康管理に及ぼす影響 4) 安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害予防におけるJSPO-ATの役割 5) 健康管理 6) スポーツ外傷・障害の予防 7) 安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害予防のための各種評価と情報の活用 8) 安全・健康管理およびスポーツ外傷・障害へ影響を及ぼしうる各種要因への対応	AT総合演習 I AT総合演習 II	2 4	2年前期 3年前期
	コンディショニング 1) JSPO-ATの役割としてのコンディショニング 2) コンディショニングのプログラムデザイン 3) 競技特性の分析 4) トレーニング各論 5) コンディショニングに関するそのほかの情報	コンディショニング I コンディショニング II	4 2	1年後期 3年前期

専 門 科 目	リコンディショニング 1) リコンディショニング総論 2) リコンディショニングで用いる代表的な手法 3) リコンディショニングにおける評価とプログラミング 4) リコンディショニングに必要な組織修復、治癒過程の知識 5) 機能的、身体的な状態に応じたリコンディショニング 6) 部位ごとの状態に応じたリコンディショニング 7) スポーツ動作の問題に対するリコンディショニング	リコンディショニング I リコンディショニング II	4 2	2年後期 3年前期
	救急対応 1) スポーツ現場と救急対応 2) 救急対応の考え方 3) スポーツ現場における救急体制構築の留意点と計画 4) スポーツ現場での外傷、障害の評価とその手順 5) 外傷時の救急対応 6) 内科的疾患に対する救急対応 7) 各競技における救急体制の実際	AT救急対応 AT救急対応（実践）	2 2	2年後期 3年前期
	検査・測定と評価 1) JSPO-ATの行う検査・測定・評価とは 2) JSPO-ATの行う検査・測定・評価の実際	検査・測定と評価（実習含む）	2	2年後期
	人体の解剖と機能 1) 上肢・体幹 2) 骨盤・下肢	解剖学 I 解剖学 II 運動学 I 運動学 II	2 2 1 1	1年前期 1年後期 2年前期 2年後期
	スポーツ科学 1) 運動生理学 2) バイオメカニクス 3) 体力・運動能力向上と外傷・障害予防に必要なスポーツ科学の応用知識 4) スポーツ科学の基礎知識の体力・運動能力向上と外傷・障害への活用	スポーツ科学 バイオメカニクス ヒトの運動と呼吸の生理 運動学 I 運動学 II	2 2 2 1 1	1年前期 2年後期 2年前期 2年前期 2年後期
	スポーツ医学 1) 上肢・体幹・下肢の代表的なスポーツ外傷・障害 2) スポーツ現場でおこりうる留意すべき重篤な外傷・障害・疾病 3) スポーツ活動と関連する代表的な循環器疾患、呼吸器疾患、代謝性疾患、血液疾患等 4) スポーツ現場でおこりうる眼科、耳鼻科、歯科、皮膚科領域の代表的な外傷および疾病 5) 対象別（女性、高齢者、発育期、パラアスリート）によるスポーツ外傷・障害の特徴及び医学的留意事項	スポーツ医学概論 健康管理とスポーツ医学	2 2	2年後期 3年前期
現 場 実 習	見学実習	アスレティックトレーナー見学実習	1	1年前期
	スポーツ現場実習 (ストレッチング、テーピング、応急措置等)	アスレティックトレーナー現場実習 I	1	1年後期
	検査・測定と評価実習、 アスレティックリハビリテーションプログラム作成実習	アスレティックトレーナー現場実習 II	1	2年前期
	アスレティックリハビリテーション実習 (プログラム作成、実施等)	アスレティックトレーナー現場実習 III	1	2年後期
	総合実習	アスレティックトレーナー総合実習	2	3年後期

〔別記6〕

(トレーニング指導者養成のための課程の履修)

履修規則第25条に基づく、トレーニング指導者課程の履修は、次表のとおりとする。

日本トレーニング指導者協会が定めるカリキュラムの各科目名に対応する本学開講科目をすべて履修すること。ただし、対応する本学開講科目名が複数ある場合は、いずれか1科目以上を修得すること。ただし() かつこで囲まれた科目は、複数科目の履修を必須とする。

東京柔道整復学科

1 一般科目

日本トレーニング指導者協会が定めるカリキュラム		対応する本学開講科目名
領域	科目名	
A. 体力トレーニング総論	体力トレーニング総論	スポーツトレーニング入門
B. 機能解剖	機能解剖(1)上肢	3科目全て(解剖学Ⅰ,解剖学Ⅱ、 運動学と行動)
	機能解剖(2)脊柱と胸郭	
	機能解剖(3)骨盤と下肢	
C. バイオメカニクス	バイオメカニクス(1)基礎理論	バイオメカニクス
	バイオメカニクス(2)スポーツ及びトレーニング動作のバイオメカニクス	
D. 運動生理学	運動生理学(1)呼吸循環器系・エネルギー代謝と運動	2科目全て(生理学Ⅱ,生理学Ⅲ)
	運動生理学(2)骨格筋系・神経系・内分泌系と運動	2科目全て(生理学Ⅰ,生理学Ⅱ)
E. 運動と栄養	運動と栄養(1) 運動と栄養の基礎理論	スポーツと食事
	運動と栄養(2) 対象と目的に応じた栄養摂取	
F. 運動と心理	運動と心理(1) 運動と心理の基礎理論	スポーツ心理学基礎
	運動と心理(2) 運動学習と指導法	
G. 運動と医学	運動と医学(1)生活習慣病	2科目全て(一般臨床医学Ⅰ,一般臨床医学Ⅱ)
	運動と医学(2)スポーツ傷害	スポーツ医学概論
	運動と医学(3)救命救急法	救急医療 救急医療(実践) 基礎整復学Ⅴ

2 専門科目

A. トレーニング指導者論	トレーニング指導者の役割	コーチング論Ⅰ
	トレーニング指導者の実務	コンディショニングⅠ
B. 測定と評価	トレーニング効果の測定と評価	スポーツトレーニング入門
	測定データの分析とデータの活用法	コンディショニングⅠ
C. トレーニング理論とプログラム	長期的トレーニング計画	スポーツトレーニング入門
	レジスタンストレーニング	コンディショニングⅠ
	パワートレーニング	
	持久力トレーニング	
	スピードトレーニング	
	柔軟性向上トレーニング及びウォームアップ、クールダウン、リカバリー	
	特別な対象のためのトレーニングとプログラム	
生活習慣病、傷害の受傷から復帰までのトレーニングプログラム		

D. トレーニングの実技と指導法 ※実習を伴う内容であることが必要	レジスタンストレーニングの実技と指導法	コンディショニング I
	パワートレーニングの実技と指導法	
	持久力トレーニングの実技と指導法	
	スピードトレーニングの実技と指導法	
	ウォームアップと柔軟性トレーニング、その他のトレーニング実技と指導法	

理学療法学科

1 一般科目

日本トレーニング指導者協会が定めるカリキュラム		対応する本学開講科目名
領域	科目名	
A. 体力トレーニング総論	体力トレーニング総論	スポーツトレーナー入門
B. 機能解剖	機能解剖(1)上肢	2科目全て（人体の構造と機能 I、運動学 I）
	機能解剖(2)脊柱と胸郭	
	機能解剖(3)骨盤と下肢	
C. バイオメカニクス	バイオメカニクス(1)基礎理論	バイオメカニクス
	バイオメカニクス(2)スポーツ及びトレーニング動作のバイオメカニクス	
D. 運動生理学	運動生理学(1)呼吸循環器系・エネルギー代謝と運動	運動生理学
	運動生理学(2)骨格筋系・神経系・内分泌系と運動	
E. 運動と栄養	運動と栄養(1) 運動と栄養の基礎理論	スポーツと食事
	運動と栄養(2) 対象と目的に応じた栄養摂取	
F. 運動と心理	運動と心理(1) 運動と心理の基礎理論	スポーツ心理学基礎
	運動と心理(2) 運動学習と指導法	
G. 運動と医学	運動と医学(1)生活習慣病	スポーツ障害と臨床医学
	運動と医学(2)スポーツ傷害	スポーツ障害と臨床医学
	運動と医学(3)救命救急法	AT救急対応

2 専門科目

A. トレーニング指導者論	トレーニング指導者の役割	スポーツトレーナー入門
	トレーニング指導者の実務	2科目全て（コーチング論 I、スポーツトレーナー入門）
B. 測定と評価	トレーニング効果の測定と評価	検査・測定と評価（実習含む）
	測定データの分析とデータの活用法	
C. トレーニング理論とプログラム	長期的トレーニング計画	コンディショニング I
	レジスタンストレーニング	
	パワートレーニング	
	持久力トレーニング	
	スピードトレーニング	
	柔軟性向上トレーニング及びウォームアップ、クールダウン、リカバリー	
	特別な対象のためのトレーニングとプログラム	2科目全て（コンディショニング I、コンディショニング II）
生活習慣病、傷害の受傷から復帰までのトレーニングプログラム		

D. トレーニングの実技と指導法 ※実習を伴う内容であることが必要	レジスタンストレーニングの実技と指導法	コンディショニング I
	パワートレーニングの実技と指導法	
	持久力トレーニングの実技と指導法	
	スピードトレーニングの実技と指導法	
	ウォームアップと柔軟性トレーニング、その他のトレーニング実技と指導法	

注記 帝京科学大学履修規則別表（理学療法学科）の授業科目：人体の構造と機能 I、運動学 I、運動生理学、スポーツ障害と臨床医学

作業療法学科

1 一般科目

日本トレーニング指導者協会が定めるカリキュラム		対応する本学開講科目名
領域	科目名	
A. 体力トレーニング総論	体力トレーニング総論	スポーツトレーナー入門
B. 機能解剖	機能解剖(1)上肢	3科目全て（人体の構造と機能 I、運動学、運動学実習）
	機能解剖(2)脊柱と胸郭	
	機能解剖(3)骨盤と下肢	
C. バイオメカニクス	バイオメカニクス(1)基礎理論	バイオメカニクス
	バイオメカニクス(2)スポーツ及びトレーニング動作のバイオメカニクス	
D. 運動生理学	運動生理学(1)呼吸循環器系・エネルギー代謝と運動	運動生理学
	運動生理学(2)骨格筋系・神経系・内分泌系と運動	
E. 運動と栄養	運動と栄養(1) 運動と栄養の基礎理論	スポーツと食事
	運動と栄養(2) 対象と目的に応じた栄養摂取	
F. 運動と心理	運動と心理(1) 運動と心理の基礎理論	スポーツ心理学基礎
	運動と心理(2) 運動学習と指導法	
G. 運動と医学	運動と医学(1)生活習慣病	スポーツ障害と臨床医学
	運動と医学(2)スポーツ傷害	スポーツ障害と臨床医学
	運動と医学(3)救命救急法	AT救急対応

2 専門科目

A. トレーニング指導者論	トレーニング指導者の役割	スポーツトレーナー入門
	トレーニング指導者の実務	2科目全て（コーチング論 I、スポーツトレーナー入門）
B. 測定と評価	トレーニング効果の測定と評価	検査・測定と評価（実習含む）
	測定データの分析とデータの活用法	
C. トレーニング理論とプログラム	長期的トレーニング計画	コンディショニング I
	レジスタンストレーニング	
	パワートレーニング	
	持久力トレーニング	
	スピードトレーニング	
	柔軟性向上トレーニング及びウォームアップ、クールダウン、リカバリー	
	特別な対象のためのトレーニングとプログラム	2科目全て（コンディショニング I、コンディショニング II）
生活習慣病、傷害の受傷から復帰までのトレーニングプログラム		

D. トレーニングの実技と指導法 ※実習を伴う内容であることが必要	レジスタンストレーニングの実技と指導法	コンディショニング I
	パワートレーニングの実技と指導法	
	持久力トレーニングの実技と指導法	
	スピードトレーニングの実技と指導法	
	ウォームアップと柔軟性トレーニング、その他のトレーニング実技と指導法	

注記 帝京科学大学履修規則別表（作業療法学科）の授業科目：人体の構造と機能 I、運動学、運動学実習、スポーツ障害と臨床医学

柔道整復学科

1 一般科目

日本トレーニング指導者協会が定めるカリキュラム		対応する本学開講科目名
領域	科目名	
A. 体力トレーニング総論	体力トレーニング総論	スポーツトレーナー入門
B. 機能解剖	機能解剖(1)上肢	3科目全て(解剖学 I、解剖学 II、運動学 I)
	機能解剖(2)脊柱と胸部	
	機能解剖(3)骨盤と下肢	
C. バイオメカニクス	バイオメカニクス(1)基礎理論	バイオメカニクス
	バイオメカニクス(2)スポーツ及びトレーニング動作のバイオメカニクス	
D. 運動生理学	運動生理学(1)呼吸循環器系・エネルギー代謝と運動	ヒトの運動と呼吸の生理
	運動生理学(2)骨格筋系・神経系・内分泌系と運動	2科目全て(ヒトの運動と呼吸の生理、運動学 I)
E. 運動と栄養	運動と栄養(1)運動と栄養の基礎理論	スポーツと食事
	運動と栄養(2)対象と目的に応じた栄養摂取	
F. 運動と心理	運動と心理(1)運動と心理の基礎理論	スポーツ心理学基礎
	運動と心理(2)運動学習と指導法	
G. 運動と医学	運動と医学(1)生活習慣病	一般臨床医学 I
	運動と医学(2)スポーツ傷害	整形外科学基礎
	運動と医学(3)救命救急法	救急医療

2 専門科目

A. トレーニング指導者論	トレーニング指導者の役割	スポーツトレーナー入門
	トレーニング指導者の実務	2科目全て(コーチング論 I、スポーツトレーナー入門)
B. 測定と評価	トレーニング効果の測定と評価	検査・測定と評価 (実習含む)
	測定データの分析とデータの活用法	
C. トレーニング理論とプログラム	長期的トレーニング計画	コンディショニング I
	レジスタンストレーニング	
	パワートレーニング	
	持久力トレーニング	
	スピードトレーニング	コンディショニング I
	柔軟性向上トレーニング及びウォームアップ、クールダウン、リカバリー	
	特別な対象のためのトレーニングとプログラム	
生活習慣病、傷害の受傷から復帰までの トレーニングプログラム	2科目全て(コンディショニング I、コンディショニング II)	

D. トレーニングの実技と指導法 ※実習を伴う内容であることが必要	レジスタンストレーニングの実技と指導法	コンディショニング I
	パワートレーニングの実技と指導法	
	持久力トレーニングの実技と指導法	
	スピードトレーニングの実技と指導法	
	ウォームアップと柔軟性トレーニング、その他のトレーニング実技と指導法	

注記 帝京科学大学履修規則別表（柔道整復学科）の授業科目：スポーツトレーナー入門、解剖学 I、解剖学 II、運動学 I、ヒトの運動と呼吸の生理、一般臨床医学 I、整形外科学基礎、救急医療

〔別記7〕

履修規則第26条に基づく社会福祉士国家試験の受験資格を取得しようとする者の履修は、次表のとおりとする。

社会福祉士介護福祉士学校規則別表 第1に定める科目		左記に対応する本学の開設授業科目の状況 (1単位の計算方法:講義15時間、演習30時間、実習45時間)					
社会福祉士に関する科目を定める省令第1条に定める教科目	別表1に定める時間数	授業科目の名称	授業形態	単位数			備考
				必修	選択	計	
医学概論	30	医学概論	講義	2		2	
心理学と心理的支援	30	心理学	講義	2		2	
社会学と社会システム	30	社会学	講義	2		2	
社会福祉の原理と政策	60	社会福祉概論Ⅰ	講義	2		2	
		社会福祉概論Ⅱ	講義	2		2	
社会保障	60	社会保障論Ⅰ	講義	2		2	
		社会保障論Ⅱ	講義	2		2	
権利擁護を支える法制度	30	権利擁護を支える法制度	講義	2		2	
地域福祉と包括的支援体制	60	地域福祉論Ⅰ	講義	2		2	
		地域福祉論Ⅱ	講義	2		2	
高齢者福祉	30	高齢者福祉論	講義	2		2	
障害者福祉	30	障害者福祉論	講義	2		2	
児童・家庭福祉	30	児童・家庭福祉論	講義	2		2	
貧困に対する支援	30	公的扶助論	講義	2		2	
保健医療と福祉	30	医療福祉論	講義	2		2	
刑事司法と福祉	30	司法福祉論	講義	2		2	
ソーシャルワークの基盤と専門職	30	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ	講義	2		2	
ソーシャルワークの基盤と専門職(専門)	30	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ	講義	2		2	
ソーシャルワークの理論と方法	60	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	講義	2		2	
		ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	講義	2		2	
ソーシャルワークの理論と方法(専門)	60	ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ	講義	2		2	
		ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ	講義	2		2	
社会福祉調査の基礎	30	社会福祉調査	講義	2		2	
福祉サービスの組織と経営	30	福祉サービスの組織と経営	講義	2		2	
ソーシャルワーク演習	30	ソーシャルワーク演習Ⅰ	演習	1		1	
ソーシャルワーク演習(専門)	120	ソーシャルワーク演習Ⅱ	演習	1		1	
		ソーシャルワーク演習Ⅲ	演習	1		1	
		ソーシャルワーク演習Ⅳ	演習	1		1	
		ソーシャルワーク演習Ⅴ	演習	1		1	
ソーシャルワーク実習指導	90	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	演習	1		1	
		ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	演習	1		1	
		ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	演習	1		1	
ソーシャルワーク実習	240	ソーシャルワーク実習	実習	5		5	*注1
合計	1200			61	0	61	

「ソーシャルワーク実習」の履修要件を次のように定める。

- (1) 「ソーシャルワーク実習指導Ⅱ」の履修年次までに開講している国家試験受験資格指定科目の単位数を、すべて取得していること。
- (2) 「ソーシャルワーク実習」履修年次の前期に開講しているすべての国家試験受験資格指定科目について、履修中であること

注1：ソーシャルワーク実習の出席時間数が学校指定規則に定める時間数の5分の4に満たない者については、当該科目の履修の認定をしない。

- (3) 介護福祉士養成課程における介護実習を履修している者は実習時間を60時間分免除することができる。

〔別記8〕

履修規則第27条に基づく介護福祉士国家試験の受験資格を取得しようとする者の履修は、次表のとおりとする。

介護福祉士養成の目標（指針 別表1より）								
社会福祉士介護福祉士学校規則別表第4に定める領域及び教育内容			左記に対応する本学の開設授業科目の状況 (1単位の計算方法：講義15時間、演習30時間、実習45時間)					
領域	教育内容	時間数	授業科目の名称	授業形態	単位数			備考
					必修	選択	計	
人間と社会	人間の尊厳と自立	30	社会福祉概論Ⅰ	講義	2		2	
	人間関係とコミュニケーション	60	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	講義	2		2	
			福祉サービスの組織と経営	講義	2		2	
	社会の理解	90	社会保障論Ⅰ	講義	2		2	
			高齢者福祉論	講義	2		2	
			社会福祉概論Ⅱ	講義	2		2	
	人間と社会に関する選択科目	60	倫理学B	講義	2		2	
			多文化共生と福祉Ⅰ	講義	2		2	
介護	介護の基本	180	介護の基本Ⅰ	講義	2		2	
			生活環境論	講義	2		2	
			介護の基本Ⅱ	講義	2		2	
			介護の基本Ⅲ	講義	2		2	
			介護の基本Ⅳ	講義	2		2	
			介護の基本Ⅴ	講義	2		2	
	コミュニケーション技術	60	コミュニケーション技術Ⅰ	演習	1		1	
			コミュニケーション技術Ⅱ	演習	1		1	
	生活支援技術	300	生活支援技術Ⅰ（生活・睡眠）	演習	1		1	
			生活支援技術Ⅱ（食事・家事）	演習	1		1	
			生活支援技術Ⅲ（移動）	演習	1		1	
			生活支援技術Ⅳ（入浴・清潔）	演習	1		1	
			生活支援技術Ⅴ（身じたく・排泄）	演習	1		1	
			生活支援技術Ⅵ（環境・福祉用具）	演習	1		1	
			生活支援技術Ⅶ（アクティビティ）	演習	1		1	
			生活支援技術Ⅷ（栄養・調理）	演習	1		1	
			生活支援技術Ⅸ（終末期）	演習	1		1	
			生活支援技術Ⅹ（総合）	演習	1		1	
	介護過程	150	介護過程Ⅰ	演習	1		1	
			介護過程Ⅱ	演習	1		1	
			介護過程Ⅲ	演習	1		1	
			介護過程Ⅳ	演習	1		1	
介護過程Ⅴ			演習	1		1		
介護総合演習	120	介護総合演習Ⅰ	演習	1		1		
		介護総合演習Ⅱ	演習	1		1		
		介護総合演習Ⅲ	演習	1		1		
		介護総合演習Ⅳ	演習	1		1		

	介護実習	450	介護実習Ⅰ（地域実習）	実習	2		2	*注1
			介護実習Ⅱ（展開実習）	実習	3		3	*注1
			介護実習Ⅲ（総合実習）	実習	4		4	*注1
こころとからだのしくみ	発達と老化の理解	60	人間発達学	講義	2		2	
			老年期の疾病と生活	講義	2		2	
	認知症の理解	60	認知症の理解Ⅰ	講義	2		2	
			認知症の理解Ⅱ	講義	2		2	
	障害の理解	60	障害者福祉論	講義	2		2	
			障害の理解	講義	2		2	
	こころとからだのしくみ	120	医学概論	講義	2		2	
			心理学	講義	2		2	
こころとからだのしくみⅠ			講義	2		2		
こころとからだのしくみⅡ			講義	2		2		
医療的ケア	医療的ケア	50	医療的ケアⅠ	講義	2		2	
			医療的ケアⅡ	講義	2		2	
			医療的ケアⅢ	講義	1		1	
			医療的ケアⅣ（演習）	演習	1		1	
合計	1850時間+医療的ケア演習				84	0	84	

「介護実習Ⅰ～Ⅲ」の履修要件は別途定める。

注1：介護実習Ⅰ～Ⅲの各科目の出席時間数が学校指定規則に定める時間数の5分の4に満たない者については、当該科目の履修の認定をしない。

〔別記9〕

履修規則第28条に基づく精神保健福祉士国家試験の受験資格を取得しようとする者の履修は、次表のとおりとする。

精神保健福祉士法第7条第1項に定める 指定科目		左記に対応する本学の開設授業科目の状況 (1単位の計算方法：講義15時間、演習30時間、実習45時間)					
指定科目	時間数	授業科目の名称	授業 形態	単位数			備考 (時間 数)
				必 修	選 択	計	
医学概論	30	医学概論	講義	2		2	
心理学と心理的支援	30	心理学	講義	2		2	
社会学と社会システム	30	社会学	講義	2		2	
社会福祉の原理と政策	60	社会福祉概論Ⅰ	講義	2		2	
		社会福祉概論Ⅱ	講義	2		2	
地域福祉と包括的支援体制	60	地域福祉論Ⅰ	講義	2		2	
		地域福祉論Ⅱ	講義	2		2	
社会保障	60	社会保障論Ⅰ	講義	2		2	
		社会保障論Ⅱ	講義	2		2	
障害者福祉	30	障害者福祉論	講義	2		2	
権利擁護を支える法制度	30	権利擁護を支える法制度	講義	2		2	
刑事司法と福祉	30	司法福祉論	講義	2		2	
社会福祉調査の基礎	30	社会福祉調査	講義	2		2	
精神医学と精神治療	60	精神医学Ⅰ	講義	2		2	
		精神医学Ⅱ	講義	2		2	
現代の精神保健の課題と支援	60	精神保健Ⅰ	講義	2		2	
		精神保健Ⅱ	講義	2		2	
ソーシャルワークの基盤と専門職	30	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ	講義	2		2	
精神保健福祉の原理	60	精神保健福祉の原理Ⅰ	講義	2		2	
		精神保健福祉の原理Ⅱ	講義	2		2	
ソーシャルワークの理論と方法	60	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	講義	2		2	
		ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	講義	2		2	
ソーシャルワークの理論と方法(専門)	60	ソーシャルワークの理論と方法(専門)A	講義	2		2	
		ソーシャルワークの理論と方法(専門)B	講義	2		2	
精神障害リハビリテーション論	30	精神障害リハビリテーション論	講義	2		2	
精神保健福祉制度論	30	精神保健福祉制度論	講義	2		2	
ソーシャルワーク演習	30	ソーシャルワーク演習Ⅰ	演習	1		1	
ソーシャルワーク演習(専門)	90	ソーシャルワーク演習(専門)A	演習	1		1	
		ソーシャルワーク演習(専門)B	演習	1		1	
		ソーシャルワーク演習(専門)C	演習	1		1	
ソーシャルワーク実習指導	90	ソーシャルワーク実習指導A	演習	1		1	
		ソーシャルワーク実習指導B	演習	1		1	
		ソーシャルワーク実習指導C	演習	1		1	

ソーシャルワーク実習 ※注1	210	ソーシャルワーク実習A	実習	2		2	
		ソーシャルワーク実習B	実習	2		2	
合 計	1200			63		63	

・ソーシャルワーク実習Aは90時間以上で2単位、ソーシャルワーク実習Bは90時間以上で2単位とする。なお実習時間は、ソーシャルワーク実習A、ソーシャルワーク実習Bを併せて、計210時間以上としなければならない。

「ソーシャルワーク実習」履修要件を次のように定める。

- (1) 「ソーシャルワーク実習A」は、「ソーシャルワーク実習指導A」の履修年次（前期）までに開講している国家試験受験資格指定科目（精神保健福祉士の専門科目及び社会福祉士の共通科目）の単位を、すべて取得していること
- (2) 「ソーシャルワーク実習B」は、「ソーシャルワーク実習指導B」の履修年次までに「ソーシャルワーク実習A」の単位を修得し、あわせて開講している国家試験受験資格指定科目（精神保健福祉士の専門科目及び社会福祉士の共通科目）について、履修中であること
- (3) 社会福祉士国家試験受験資格の取得を希望する場合は、「ソーシャルワーク実習」の単位を修得した上で、「ソーシャルワーク実習A」及び「ソーシャルワーク実習B」を履修するものとする

注1：ソーシャルワーク実習 A 及び B の各科目の出席時間数が学校指定規則に定める時間数の5分の4に満たない者については、当該科目の履修の認定をしない

〔別記10〕

履修規則第29条に基づく保健師国家試験受験資格を取得しようとする者の履修は、志願者の内から選抜された20名以内とし、次表のとおりとする。

保健師助産師看護師学校養成所指定規則 第二条第三項 別表一に定める科目			左記に対応する本学の開設授業科目の状況			
指定科目	単位数	授業科目の名称	単位数			
			必修	選択	計	
公衆衛生看護学	2	地域生活支援論	1		1	
		公衆衛生看護学概論	1		1	
	個人・家族・集団・組織の支援 公衆衛生看護活動展開論 公衆衛生看護管理論	14	公衆衛生看護方法論Ⅰ-1 (成人・老年・産業)	1		1
			公衆衛生看護方法論Ⅰ-2 (母子・精神・難病)	1		1
			公衆衛生看護方法論Ⅱ (保健指導、健康教育)	1	☆	1
			公衆衛生看護方法論Ⅲ (地域診断、健康危機管理)	2	☆	2
			公衆衛生看護学演習Ⅰ (地域のアセスメント)	2	☆	2
			公衆衛生看護学演習Ⅱ (健診と家庭訪問)	2	☆	2
			在宅看護学概論	1		1
			チーム医療実践論	1		1
			保健セミナー	1	☆	1
			看護研究Ⅰ(研究方法論)	1		1
			看護研究Ⅱ(研究計画)	1		1
疫学	2	疫学	2	※	2	
保健統計学	2	公衆衛生学	2		2	
		保健統計学	2		2	
保健医療福祉行政論	3	日本国憲法	2	※	2	
		保健医療福祉行政論Ⅰ (行政の仕組み)	2		2	
		保健医療福祉行政論Ⅱ (保健計画立案)	1	☆	1	
臨地実習	5	公衆衛生看護学実習 保健所・保健センターにおける実習 産業及び学校における実習	5	☆	5	
総計		28	32		32	

※は、選択科目であるが、保健師教育課程希望者は必修である。

☆は、保健師教育課程履修者のみの限定科目である。

履修方法

- ・保健師教育課程履修者は、20名以内とする。
- ・希望者は、帝京科学大学履修規則を参照し、必ず必要な科目を履修すること。

- 保健師国家試験受験資格希望者は、大学卒業の要件となる所定単位に加えて、保健師教育課程を履修する必要があり、看護師国家試験受験に必要な科目に加え、日本国憲法（2単位）、疫学（2単位）、公衆衛生看護方法論Ⅱ（保健指導、健康教育）（1単位）、公衆衛生看護方法論Ⅲ（地域診断、健康危機管理）（2単位）、公衆衛生看護学演習Ⅰ（地域のアセスメント）（2単位）、公衆衛生看護学演習Ⅱ（健診と家庭訪問）（2単位）、公衆衛生看護学実習（5単位）、保健医療福祉行政論Ⅱ（保健計画立案）（1単位）、保健セミナー（1単位）を修得することが要件となる。
- 保健師教育課程の選考は、2年次後期に実施する。
- 出願要件として、
 - 1) 共通科目
必修科目15単位、日本国憲法を含めて20単位以上単位修得済み
 - 2) 専門基礎科目
2年後期までの必修科目ならびに疫学を単位修得済み
 - 3) 専門科目
2年後期までの必修科目をすべて修得済み
- 選考方法は、保健師の指定規則で定められた科目のうち、2年次終了時まで修得した科目（「日本国憲法」「公衆衛生学」「保健統計学」「疫学」「地域生活支援論」「公衆衛生看護学概論」「在宅看護学概論」「公衆衛生看護方法論Ⅰ-1（成人・老年・産業）」「公衆衛生看護方法論Ⅰ-2（母子・精神・難病）」「チーム医療実践論」）ならびに「在宅看護援助論Ⅰ（日常生活ケア）」「基礎看護学実習Ⅰ（対象の理解）」「基礎看護学実習Ⅱ（基盤：病院）」「老年看護学実習Ⅰ（基盤：高齢者施設）」「在宅看護学実習Ⅰ（基盤：地域包括支援センター）」の評価点、GPA、面接等によって総合的に選考する。

〔別記11〕

履修規則第30条に基づく臨床工学技士国家試験の受験資格を取得しようとする者の履修は、次表のとおりとする。

指定科目	相当する授業科目	単位数
解剖学	ヒトの解剖生理	2
	解剖学	2
生理学	生理学	2
生化学	生化学Ⅰ	2
	生化学Ⅱ	2
医学概論	医学概論	1
公衆衛生学	公衆衛生学	1
病理学	病理学	2
薬理学	薬理学	2
免疫学	免疫学	2
チーム医療概論	チーム医療概論	2
関係法規	関係法規	1
応用数学	臨床工学基礎数学	2
	臨床工学応用数学	2
電気工学	電気工学Ⅰ	2
	電気工学Ⅱ	2
	電気工学実験	2
電子工学	電子工学Ⅰ	2
	電子工学Ⅱ	2
	電子工学実験	2
機械工学	臨床工学基礎物理学	2
	医用機械工学	2
計測工学	計測工学	2
医用工学	医療情報統計学	2
	情報処理工学	2
	医用工学Ⅰ	2
	医用工学Ⅱ	2
	医用工学Ⅲ	2
	医療情報処理	2
生体物性工学	生体物性工学	2
医用材料工学	医用材料工学	2
医用機器学概論	医用機器学概論	2
医用治療機器学	医用治療機器学Ⅰ	2
	医用治療機器学Ⅱ	2
	医用治療機器学実習	2

生体計測装置学	生体計測装置学Ⅰ	2
	生体計測装置学Ⅱ	2
	生体計測装置学実習	2
臨床支援技術学	臨床支援技術学	2
生体機能代行技術学	生体機能代行技術学Ⅰ	2
	生体機能代行技術学Ⅱ	2
	生体機能代行技術学Ⅲ	2
	生体機能代行技術学実習Ⅰ	2
	生体機能代行技術学実習Ⅱ	2
	生体機能代行技術学実習Ⅲ	2
医療安全管理学	医療安全管理学	2
	医療安全管理学実習	2
臨床医学総論	臨床医学総論Ⅰ	2
	臨床医学総論Ⅱ	2
	臨床医学総論Ⅲ	2
	臨床医学総論Ⅳ	2
臨床実習	臨床実習事前学修	2
	臨床実習	5
	臨床実習事後学修	1
合計		107

共通科目については以下の条件を含め22単位以上修得していること

- 教養は、14単位以上(人間、社会、文化で合計6単位以上、自然で6単位以上)修得すること。
- 語学は、英語科目を含み4単位以上修得すること。
- データサイエンスについては、2単位以上修得すること。
- ゼミについては、2単位修得すること。

〔別記12〕

履修規則第31条に基づく愛玩動物看護師国家試験の受験資格を取得しようとする者の履修は、次表のとおりとする。以下の科目はすべて修得すること。

動物看護科学コース

科目群	農林水産大臣及び環境大臣が指定する科目名	農林水産大臣及び環境大臣が指定する科目に対応した開講科目の名称	単位数
基礎動物学	生命倫理・動物福祉	動物福祉論	2
	動物形態機能学	動物生理学 I	2
		動物解剖学	2
		生化学	2
		動物繁殖学	遺伝繁殖学
	動物行動学	動物行動学 I	2
		アニマルトレーニング 基礎論	2
		伴侶動物学	2
	動物栄養学	動物基礎栄養学	2
	比較動物学	産業動物と展示動物の基礎	1
実験動物学		1	
野生動物救護学		2	
動物看護関連法規	動物看護関連法規	1	
動物愛護・適正飼養関連法規	動物愛護・適正飼養関連法規	1	
基礎動物看護学	動物看護学概論	動物看護学概論	2
	動物病理学	動物病理学	2
	動物薬理学	動物薬理学	2
	動物感染症学	動物病原微生物学	2
		動物疾病学	2
	公衆衛生学	動物保健衛生学	2
臨床動物看護学	動物内科看護学	動物内科看護学	2
	動物外科看護学	動物外科看護学	2
	動物臨床看護学総論	動物臨床看護学総論	2
	動物臨床看護学各論	動物臨床看護学各論 I	2
		動物臨床看護学各論 II	2
		動物臨床看護学各論 III	2
	動物臨床検査学	動物検体検査学	2
	動物医療コミュニケーション	動物医療コミュニケーション	2
愛護・適正飼養学	愛玩動物学	伴侶動物学	2
	人と動物の関係学	人と動物の関係学	2
	適正飼養指導論	適正飼養指導論	1
	動物生活環境学	動物生活環境学	1
	ペット関連産業概論	ペット産業論	2
実習	動物形態機能学実習	動物形態機能学実習	1
	動物内科看護学実習	動物内科看護学実習	2
	動物外科看護学実習	動物外科看護学実習	1
	動物臨床看護学実習	動物臨床看護学実習	1
	動物臨床検査学実習	動物臨床検査学実習	1
	動物愛護・適正飼養実習	動物看護基礎実習	1
		動物愛護・適正飼養実習	1
	動物看護総合実習	動物看護総合実習	2
	合計		68

動物看護福祉コース

科目群	農林水産大臣及び環境大臣が指定する 科目名	農林水産大臣及び環境大臣が指定する 科目に対応した開講科目の名称	単位数
基礎動物学	生命倫理・動物福祉	生命倫理・動物福祉学	2
	動物形態機能学	動物生理学 I	2
		動物解剖組織学	2
		生化学	2
	動物繁殖学	遺伝繁殖学	2
	動物行動学	動物行動学 I	2
	動物栄養学	動物栄養学 I	2
	比較動物学	産業動物と展示動物の基礎	2
		実験動物学	2
		生態学	2
動物看護関連法規	動物看護関連法規	1	
動物愛護・適正飼養関連法規	動物福祉関連法規	1	
基礎動物看護学	動物看護学概論	動物看護学概論	2
	動物病理学	動物病理学	2
	動物薬理学	動物薬理学	2
	動物感染症学	動物病原微生物学	2
		動物感染症学	2
公衆衛生学	公衆衛生学	2	
臨床動物看護学	動物内科看護学	動物内科看護学	2
	動物外科看護学	動物外科看護学	2
	動物臨床看護学総論	動物臨床看護学総論	2
	動物臨床看護学各論	動物臨床看護学各論 I	2
		動物臨床看護学各論 II	2
		動物臨床看護学各論 III	2
	動物臨床検査学	動物臨床検査学	2
動物医療コミュニケーション	動物医療コミュニケーション	2	
愛護・適正飼養学	愛玩動物学	愛玩動物学	2
	人と動物の関係学	人と動物の関係学	2
	適正飼養指導論	適正飼養指導論	2
	動物生活環境学	動物生活環境学	1
	ペット関連産業概論	ペット関連産業概論	2
実習	動物形態機能学実習	動物形態機能学実習	1
	動物内科看護学実習	動物内科看護学実習	2
	動物臨床検査学実習	動物臨床検査学実習	1
	動物外科看護学実習	動物外科看護学実習	1
	動物臨床看護学実習	動物臨床看護学実習	1
	動物愛護・適正飼養実習	動物看護基礎実習 II	1
		動物福祉実習	2
動物看護総合実習	動物看護総合実習	2	
	合 計		70

〔別記13〕

履修規則第32条に基づく公認心理師課程の履修は、次表のとおりとする。

公認心理師法施行規則第1条の2に定める科目	左記に対応する本学開講科目	単位数	備考
公認心理師の職責	公認心理師の職責	2	
心理学概論	心理学A（心理学概論）	2	
臨床心理学概論	臨床心理学概論	2	
心理学研究法	心理学研究法	2	
心理学統計法	心理統計法	2	
心理学実験	心理学実験	1	
知覚・認知心理学	知覚・認知心理学	2	
学習・言語心理学	学習・言語心理学	2	
感情・人格心理学	感情・人格心理学	2	
神経・生理心理学	神経・生理心理学	2	
社会・集団・家族心理学	社会・集団・家族心理学	2	
発達心理学	発達心理学（幼）	2	
障害者・障害児心理学	障害者・障害児心理学	2	
心理的アセスメント	心理的アセスメント	2	
心理学的支援法	心理学的支援法	2	
健康・医療心理学	健康・医療心理学	2	
福祉心理学	福祉心理学	2	
教育・学校心理学	教育・学校心理学	2	
司法・犯罪心理学	司法・犯罪心理学	2	
産業・組織心理学	産業・組織心理学	2	
人体の構造と機能及び疾病	人体の構造と機能及び疾病	2	
精神疾患とその治療	精神疾患とその治療	2	
関係行政論	関係行政論	2	
心理演習	心理演習	2	課程履修者のみ履修可能
心理実習	心理実習	2	課程履修者のみ履修可能

履修方法

- ・公認心理師国家試験受験には、所定の単位を全て修得することに加え、卒業後大学院で指定科目を修めて修了または定められた施設で一定期間の実務経験が必要となる。
- ・心理演習及び心理実習履修者は、15名以内とする。
- ・1年次後期に公認心理師課程履修希望者向けのガイダンスを行い、希望者が15名を超える場合は2年次進級時に選抜を実施する。
- ・3年次から公認心理師過程履修希望をする学生がいた場合には、受け入れ可能人数に達していない場合に限り、選抜を実施の上、個別に履修指導を行うことにより、公認心理師課程科目の履修を認める。

選抜方法

- ・1年終了時までには修得した科目の評価点、GPA、面接等によって総合的に選考する。

区分	授業科目	単位数	必・選	毎週授業時間数								備考		
				1年次		2年次		3年次		4年次				
				1	2	3	4	5	6	7	8			
共通科目	人間	倫理学A	2		2								※教養科目は、14単位以上(人間、社会、文化で合計6単位以上、自然で6単位以上(基礎科学実験必修合計2単位分を含む))修得すること。 ※毎週授業時間数欄の②は前期、後期のいずれかに科目が開講されることを示す。 ※英語科目 ※語学は、英語科目を4単位以上修得すること。(生命コースおよび生命・健康コースのみ) ※語学は英語科目を含み4単位以上修得すること。(臨床工学コースのみ)	
		倫理学B	2			2								
		心理学A	2		2									
		心理学B	2			2								
		哲学A	2		2									
		哲学B	2			2								
		宗教学A	2		2									
		宗教学B	2			2								
	科学史	2			2									
	社会	歴史学A	2		2									
		歴史学B	2			2								
		法学	2		2									
		日本国憲法	2			2								
		経済学	2		2									
		社会学	2			2								
		文学A	2		2									
		文学B	2			2								
	文化	文化史A	2		2									
		文化史B	2			2								
		美術・芸術学	2			2								
		自然	数学Ⅰ	2		2								
			数学Ⅱ	2			2							
			物理学Ⅰ	2		2								
			物理学Ⅱ	2			2							
			化学Ⅰ	2		2								
	化学Ⅱ		2			2								
	生物学Ⅰ		2		2									
	生物学Ⅱ		2			2								
	基礎科学実験(物理学)		1	◎	②	②								
	基礎科学実験(化学)		1	◎	②	②								
	語学	英語Ⅰ	1		2									
		英語Ⅱ	1			2								
		教養英語A	1		2									
		教養英語B	1			2								
		教養英語C	1			2								
		中国語Ⅰ	1		2									
		中国語Ⅱ	1			2								
		韓国語Ⅰ	1		2									
	韓国語Ⅱ	1			2									
	保健体育	健康体育A	1		2									
健康体育B		1			2									
健康と生活		2		2										
データサイエンス	情報Ⅰ	1	◎	2										
	情報Ⅱ	1	◎		2									
	統計学	2			2									
キャリア	キャリアデザインⅠ	2			2									
	キャリアデザインⅡ	2				2								
	キャリアデザインⅢ	1					1							
	時事問題解説	2				2								
ゼミ	基礎ゼミ	2	◎	2										
計		84		46	52	4	0	0	1	0	0			

区分	授業科目	単位数	必・選	毎週授業時間数								備考			
				1年次		2年次		3年次		4年次					
				1	2	3	4	5	6	7	8				
専門科目	身近な化学	2		2										※専門科目は、必修科目24単位を含めて76単位以上修得すること。	
	植物のかたちと分類	2		2											
	微生物と生活	2			2										
	昆虫学	2		2											
	ヒトの解剖生理	2		2											
	生物分析基礎	2	○1			2									※○1から6単位以上修得すること。
	有機化学Ⅰ	2	○1		2										
	有機化学Ⅱ	2	○1			2									
	バイオ実験解析	2	○1			2									
	基礎物理化学	2	○1			2									
	物理化学	2	○1			2									
	生物化学Ⅰ	2	○2			2								※○2から8単位以上修得すること。	
	生物化学Ⅱ	2	○2				2								
	分子生物学Ⅰ	2	○2			2									
	分子生物学Ⅱ	2	○2				2								
	細胞生物学	2	○2			2									
	微生物学	2	○2			2									
	バイオテクノロジー系	バイオプロセス	2							2					(偶数年度のみ開講)
		実験動物学	2						2						
		生化学とバイオテクノロジー	2							2					
		最近の医薬品生命科学	2							2					
		最近の遺伝子生命工学	2								2				
		機能性素材科学	2					2							(奇数年度のみ開講)
		バイオ産業論	2					2							
		化学療法論	2								2				
		官能評価学	2						2						
		植物生理学	2					2							
	バイオサイエンス系	ホルモンの科学	2							2					
		ヒトの運動と呼吸の生理	2							2					
		代謝栄養学	2					2							
酵素学		2					2								
ウェルネス概論		2					2								
食品衛生学		2					2							(奇数年度のみ開講)	
食品分析学	2								2						
食品化学	2								2						
公衆衛生学	2						2								
食品保存・加工学	2						2								
実験	生命科学基礎実験Ⅰ	4	◎					8							
	生命科学基礎実験Ⅱ	4	◎					8							
	生命科学実験Ⅰ	4	◎						8						
	生命科学実験Ⅱ	4	◎						8						
その他	生命科学セミナー	1								2					
	生命科学英語基礎	1								2					
	論文講読Ⅰ	1									2				
	論文講読Ⅱ	1										2			
	卒業研究	8	◎									8	8		
	計	102		8	6	22	34	24	16	10	10				

※卒業に必要な修得単位数は、合計124単位以上

区分	授業科目	単位数	必・選	毎週授業時間数								備考		
				1年次		2年次		3年次		4年次				
				1	2	3	4	5	6	7	8			
専門科目	身近な化学	2		2									※専門科目は、必修科目24単位を含めて76単位以上を修得すること。	
	植物のかたちと分類	2		2										
	微生物と生活	2			2									
	昆虫学	2		2										
	ヒトの解剖生理	2		2										
	生物分析基礎	2	○	1			2							※○1から6単位以上修得すること。
	有機化学Ⅰ	2	○	1		2								
	有機化学Ⅱ	2	○	1		2								
	バイオ実験解析	2	○	1		2								
	基礎物理化学	2	○	1		2								
	物理化学	2	○	1		2								
	コア	生物化学Ⅰ	2	○	2		2							※○2から8単位以上修得すること。
		生物化学Ⅱ	2	○	2			2						
		分子生物学Ⅰ	2	○	2		2							
		分子生物学Ⅱ	2	○	2			2						
		細胞生物学	2	○	2		2							
		微生物学	2	○	2		2							
	バイオテクノロジー系	バイオプロセス	2							2				(奇数年度のみ開講)
		実験動物学	2						2					
		生化学とバイオテクノロジー	2				2							
		最近の医薬品生命科学	2						2					
		最近の遺伝子生命工学	2							2				(偶数年度のみ開講)
		機能性素材科学	2				2							
		バイオ産業論	2						2					
		化学療法論	2							2				
	バイオサイエンス系	植物生理学	2				2							(偶数年度のみ開講)
		ホルモンの科学	2						2					
		ヒトの運動と呼吸の生理	2						2					
		代謝栄養学	2				2							
		病原ウイルス学	2							2				
		酵素学	2				2							
	食品・食品衛生系	食品衛生学	2				2							(偶数年度のみ開講)
		食品分析学	2						2					
		食品化学	2						2					
		食品保存・加工学	2							2				
	化粧品系	化粧品科学	2						2					(偶数年度のみ開講)
		毒性・薬理学	2				2							
		皮膚のサイエンス	2							2				
		官能評価学	2					2						
	ヒト健康系	香りのサイエンス	1				1							
		ウエルネス概論	2				2							
		健康科学	2						2					
実験	公衆衛生学	2				2								
	生命科学基礎実験Ⅰ	4	◎			8								
	生命科学基礎実験Ⅱ	4	◎			8								
	生命科学実験Ⅰ	4	◎					8						
その他	生命科学実験Ⅱ	4	◎					8						
	生命科学セミナー	1							2					
	生命科学英語基礎	1							2					
	論文講読Ⅰ	1								2				
	論文講読Ⅱ	1									2			
	卒業研究	8	◎							8	8			
計		113		8	6	23	34	28	22	10	10	※卒業に必要な修得単位数は、合計124単位以上		

区分	授業科目	単位数	必・選	毎週授業時間数								備考			
				1年次		2年次		3年次		4年次					
				1	2	3	4	5	6	7	8				
専門科目	専門基礎科目 工学系	電気工学Ⅰ	2	◎	2										※専門科目は、必修科目60単位を含め76単位以上を修得すること。
		電気工学Ⅱ	2			2									
		医療情報統計学	2				2								
		電子工学Ⅰ	2	◎			2								
		電子工学Ⅱ	2					2							
		臨床工学基礎数学	2	◎		2									
		臨床工学基礎物理学	2	◎			2								
		計測工学	2				2								
		医用機械工学	2						2						
		情報処理工学	2	◎	2										
		医用工学Ⅰ	2				2								
		医療情報処理	2	◎				2							
		臨床工学応用数学	2				2								
	専門基礎科目 医学系	ヒトの解剖生理	2	◎	2										
		医療安全管理学	2	◎	2										
		生化学Ⅰ	2				2								
		生化学Ⅱ	2					2							
		解剖学	2	◎			2								
		公衆衛生学	1	◎		1									
		生理学	2	◎				2							
		病理学	2	◎					2						
		免疫学	2							2					
		医学概論	1	◎		1									
		チーム医療概論	2			2									
		薬理学	2					2							
	専門科目	生物物性工学	2	◎			2								
		臨床医学総論Ⅰ	2	◎					2						
		臨床医学総論Ⅱ	2	◎						2					
		臨床医学総論Ⅲ	2						2						
		臨床医学総論Ⅳ	2							2					
		医用工学Ⅱ	2	◎			2								
		医用工学Ⅲ	2	◎			2								
		医用材料工学	2	◎							2				
		生体計測装置学Ⅰ	2					2							
		生体計測装置学Ⅱ	2								2				
		生体機能代行技術学Ⅰ	2	◎						2					
生体機能代行技術学Ⅱ		2	◎							2					
生体機能代行技術学Ⅲ		2	◎							2					
医用機器学概論		2			2										
医用治療機器学Ⅰ		2					2								
医用治療機器学Ⅱ		2							2						
臨床支援技術学		2								2					
関係法規		1									1				

区分	授業科目	単 位 数	必 ・ 選	毎週授業時間数								備考								
				1年次		2年次		3年次		4年次										
				1	2	3	4	5	6	7	8									
専門 科目	電気工学実験	2	◎			4														
	電子工学実験	2	◎				4													
	生体計測装置学実習	2						4												
	医用治療機器学実習	2							4											
	生体機能代行技術学実習Ⅰ	2	◎					4												
	生体機能代行技術学実習Ⅱ	2	◎						4											
	生体機能代行技術学実習Ⅲ	2	◎					4												
	医療安全管理学実習	2							4											
	臨床工学セミナーⅠ	1							2											
	臨床工学セミナーⅡ	1								2										
	臨床工学セミナーⅢ	1										2								
	臨床工学セミナーⅣ	1											2							
	臨床実習事前学修	2											4							
	臨床実習	5	○1											10						
	臨床実習事後学修	1												2						
	卒業研究	8	○2											8	8					
計	119			8	10	24	20	30	27	10	26									

※臨床実習(事前学修・事後学修を含む)を履修しない場合は、卒業研究を必ず履修すること。

※○1または○2を必ず履修し、修得すること。

※卒業に必要な修得単位数は、合計124単位以上

区分	授業科目	単 位 数	必 ・ 選	毎週授業時間数								備考		
				1年次		2年次		3年次		4年次				
				1	2	3	4	5	6	7	8			
共通科目	人間	倫理学A	2		2									※教養は、18単位以上(自然4単位以上を含む)修得すること。
		倫理学B	2			2								
		心理学A	2		2									
		心理学B	2			2								
		哲学A	2		2									
		哲学B	2			2								
		宗教学A	2		2									
		宗教学B	2			2								
	科学史	2			2									
	社会	歴史学A	2		2									
		歴史学B	2			2								
		法学	2		2									
		日本国憲法	2			2								
		経済学	2		2									
		社会学	2			2								
	文化	文学A	2		2									
		文学B	2			2								
		文化史A	2		2									
		文化史B	2			2								
		美学・芸術学	2			2								
	自然	数学Ⅰ	2		2									
		数学Ⅱ	2			2								
		物理学Ⅰ	2		2								※自然は、4単位以上を修得すること。	
		物理学Ⅱ	2			2								
		化学Ⅰ	2		2									
		化学Ⅱ	2			2								
		生物学Ⅰ	2		2									
		生物学Ⅱ	2			2								
	英語Ⅰ	1		2								※語学は、4単位以上修得すること。		
	英語Ⅱ	1			2									
	教養英語A	1		2										
	教養英語B	1			2									
	教養英語C	1			2									
	中国語Ⅰ	1		2										
	中国語Ⅱ	1			2									
	韓国語Ⅰ	1		2										
	韓国語Ⅱ	1			2									
	保健体育	健康体育A	1		2									
		健康体育B	1			2								
		健康と生活	2		2									
	データサイエンス	情報Ⅰ	1	◎	2									
		情報Ⅱ	1	◎		2								
統計学		2			2									
キャリア	キャリアデザインⅠ	2			2									
	キャリアデザインⅡ	2				2								
	キャリアデザインⅢ	1						1						
	時事問題解説	2				2								
ゼミ	基礎ゼミ	2	◎	2										
計		82		42	48	4	0	0	1	0	0			

区分	授業科目	単 位 数	必 ・ 選	毎週授業時間数								備考			
				1年次		2年次		3年次		4年次					
				1	2	3	4	5	6	7	8				
専門 基礎 科目	地球科学	2		2										※専門科目は、必修科目36単位を含めて76単位以上修得すること	
	環境科学概論	2		2											
	基礎動物学	2	◎	2											
	植物自然史	2	◎	2											
	昆虫学	2		2											
	基礎環境生態学	2	◎		2										
	生物環境科学	2			2										
	保全生物学入門	2			2										
	魚類学	2			2										
	基礎物理化学	2	◎		2										
	基礎植物学	2				2									
	菌類自然史	2				2									
	細胞生物学	2				2									
	基礎有機化学	2	◎			2									
	自然環境と地球科学	2					2								
	水環境の科学	2					2								
	大気環境の科学	2					2								
	環境分析化学	2					2								
	専門 科目	水圏生態学	2				2								
		環境破壊と野生生物	2				2								
		無機化学	2	◎			2								
		物理化学	2				2								
		人間活動と自然	2					2							
		環境と生物多様性	2					2							
		保全鳥類学	2					2							
		有機化学	2					2							
		分子生物学	2						2						
		適応進化学	2						2						
		保全遺伝学	2						2						
		保全植物学	2						2						
		都市の生物学	2						2						
		環境計量と公害防止の化学	2						2						
		環境調和マテリアル	2						2						
植物生理学		2							2						
環境浄化と生物機能		2							2						
森林生態学		2							2						
生態系の保全と再生		2							2						
環境教育と市民科学		2							2						
クリーンエネルギー		2							2						
グリーンケミストリー		2							2						
自然環境セミナー		2							4						
実験・ 実習・ 演習・ 特別 講義	基礎物理学実験	1	◎	2											
	環境科学演習Ⅰ	1	◎		2										
	基礎環境科学実験	1	◎			2									
	環境科学演習Ⅱ	1	◎			2									
	環境化学実験	4	◎				8								
	環境科学野外実習	2	◎			4									
	環境生物学実験	4	◎					8							
	環境生物学野外実習	2	◎					4							
	環境特別実習Ⅰ	2						4							
	環境特別実習Ⅱ	1						2							
卒業研究	8	◎								8	8	※卒業に必要な修得単位数は、合計124単位以上			
	計	109		12	12	20	28	32	18	8	8				

区分	授業科目	単 位 数	必 ・ 選	毎週授業時間数								備考		
				1年次		2年次		3年次		4年次				
				1	2	3	4	5	6	7	8			
共通科目	人間	倫理学A	2		2								※教養は、12単位以上(自然で4単位以上を含む)修得すること	
		倫理学B	2			2								
		心理学A	2		2									
		心理学B	2			2								
		哲学A	2		2									
		哲学B	2			2								
		宗教学A	2		2									
		宗教学B	2			2								
	科学史	2			2									
	社会	歴史学A	2		2									
		歴史学B	2			2								
		法学	2		2									
		日本国憲法	2			2								
		経済学	2		2									
		社会学	2			2								
	文化	文学A	2		2									
		文学B	2			2								
		文化史A	2		2									
		文化史B	2			2								
		美学・芸術学	2			2								
	自然	数学Ⅰ	2		2								※自然は、4単位以上修得すること。	
		数学Ⅱ	2			2								
		物理学Ⅰ	2		2									
		物理学Ⅱ	2			2								
		化学Ⅰ	2		2									
		化学Ⅱ	2			2								
		生物学Ⅰ	2		2									
		生物学Ⅱ	2			2								
		基礎科学実験(物理学)	1						2					
	語学	英語Ⅰ	1		2								※語学は、4単位以上修得すること。	
		英語Ⅱ	1			2								
		教養英語A	1		2									
		教養英語B	1			2								
		教養英語C	1			2								
		中国語Ⅰ	1		2									
		中国語Ⅱ	1			2								
韓国語Ⅰ		1		2										
韓国語Ⅱ		1			2									
保健体育	健康体育A	1		2										
	健康体育B	1			2									
	健康と生活	2		2										
データサイエンス	情報Ⅰ	1	◎	2										
	情報Ⅱ	1	◎		2									
	統計学	2			2									
キャリア	キャリアデザインⅠ	2			2									
	キャリアデザインⅡ	2				2								
	キャリアデザインⅢ	1					1							
	時事問題解説	2				2								
ゼミ	基礎ゼミ	2	◎	2										
計		83		42	48	4	0	0	3	0	0			

区分	授業科目	単位数	必・選	毎週授業時間数								備考			
				1年次		2年次		3年次		4年次					
				1	2	3	4	5	6	7	8				
専門基礎科目	アニマルサイエンス・トピックス	2	◎	2										※専門科目は、必修科目25単位を含めて76単位以上修得すること。	
	伴侶動物学	2	◎	2											
	生物の科学	2	◎	2											
	人と動物の関係学	2	◎	2											
	動物行動学Ⅰ	2			2										
	動物病原微生物学	2			2										
	動物基礎栄養学	2			2										
	生化学	2			2										
	アニマルトレーニング基礎論	2			2										
	アニマルセラピー概論	2			2										
	動物生理学Ⅰ	2				2									
	動物解剖学	2				2									
	身近な植物の科学	2				2									
	遺伝繁殖学	2					2								
	生態学	2					2								
	動物検体検査学	2					2								
	遊び論	2					2								
	動物行動学Ⅱ	2						2							
	基礎化学Ⅰ	2							2						
	基礎化学Ⅱ	2							2						
	実験動物学	1							1						
	産業動物と展示動物の基礎	1							1						
	動物愛護・適正飼養関連法規	1							1						
	集団と進化の生物学	2							2						
	アニマルサイエンスコース専門科目	動物園水族館基礎論	2	◎	2										
		比較動物観学	2				2								
		動物保健衛生学	2				2								
		動物疾病学	2				2								
ペット産業論		2					2								
水族館学		2						2							
動物園動物飼育展示論Ⅰ		2						2							
イヌの行動と心理		2							2						
動物園学		2							2						
動物園動物飼育展示論Ⅱ		2							2						
作業犬育成論		2							2						
野生動物コース専門科目		陸生哺乳類学	2	◎	2										
		水生動物学	2				2								
	環境教育概論	2				2									
	野生鳥類学	2				2									
	地域環境計画論	2					2								
	水生哺乳類学	2					2								
	野生動物救護学	2					2								
	保全動物学	2						2							
	景観デザイン論	2						2							
	両棲・爬虫類学	2							2						
アニマルセラピーコース専門科目	アニマルセラピー実践論	2				2									
	社会福祉概論	2				2									
	動物福祉論	2				2									
	HAIと比較認知科学	2				2									
	ペット飼育の心理学	2					2								
	馬介在介入	2						2							
	臨床心理学	2						2							
	応用動物行動学	2							2						
	動物生活環境学	1								1					
	動物介在療法PDCA	1									1				

区分	授業科目	単 位 数	必 ・ 選	毎 週 授 業 時 間 数								備 考		
				1年次		2年次		3年次		4年次				
				1	2	3	4	5	6	7	8			
専 門 科 目	アニマルサイエンス・トピックス	2	◎	2										※専門科目は、必修科目27単位を含めて76単位以上修得すること。
	伴侶動物学	2	◎	2										
	生物の科学	2	◎	2										
	人と動物の関係学	2	◎	2										
	動物行動学 I	2			2									
	動物病原微生物学	2			2									
	動物基礎栄養学	2			2									
	生化学	2			2									
	アニマルトレーニング基礎論	2			2									
	アニマルセラピー概論	2			2									
	動物生理学 I	2				2								
	動物解剖学	2				2								
	身近な植物の科学	2				2								
	遺伝繁殖学	2					2							
	生態学	2					2							
	動物検体検査学	2					2							
	遊び論	2					2							
	動物行動学 II	2						2						
	基礎化学 I	2							2					
	基礎化学 II	2							2					
	実験動物学	1							1					
	集団と進化の生物学	2							2					
	動物園水族館基礎論	2		◎										
	比較動物観学	2				2								
	ペット産業論	2					2							
	水族館学	2							2					
	動物園動物飼育展示論 I	2							2					
	イヌの行動と心理	2								2				
	動物園学	2								2				
	動物園動物飼育展示論 II	2								2				
	作業犬育成論	2								2				
	陸生哺乳類学	2		◎										
	水生動物学	2				2								
	環境教育概論	2					2							
	野生鳥類学	2					2							
	地域環境計画論	2						2						
	水生哺乳類学	2						2						
	保全動物学	2							2					
	景観デザイン論	2							2					
	野生動物救護学	2					2							
両棲・爬虫類学	2								2					
アニマルセラピー実践論	2					2								
社会福祉概論	2						2							
動物福祉論	2						2							
HAIと比較認知科学	2						2							
ペット飼育の心理学	2							2						
馬介在介入	2								2					
臨床心理学	2								2					
応用動物行動学	2									2				
動物生活環境学	1									1				
動物介在療法PDCA	1									1				

区分	授業科目	単 位 数	必 ・ 選	毎 週 授 業 時 間 数								備 考								
				1年次		2年次		3年次		4年次										
				1	2	3	4	5	6	7	8									
動物看護科学コース 専門科目	動物看護学概論	2		2																
	動物薬理学	2				2														
	動物病理学	2				2														
	動物保健衛生学	2				2														
	動物疾病学	2				2														
	動物内科看護学	2					2													
	動物外科看護学	2					2													
	動物臨床看護学総論	2					2													
	適正飼養指導論	1							1											
	産業動物と展示動物の基礎	1							1											
	動物愛護・適正飼養関連法規	1							1											
	動物看護関連法規	1							1											
	動物臨床看護学各論Ⅰ	2								2										
	動物臨床看護学各論Ⅱ	2									2									
	動物臨床看護学各論Ⅲ	2									2									
動物医療コミュニケーション	2									2										
実習(コース共通) 専門科目	飼育実習	1		1																
	科学研究基礎実習Ⅰ	3	◎			6														
	科学研究基礎実習Ⅱ	1	◎			2														
	動物科学基礎実習Ⅰ	4	◎			8														
	動物科学基礎実習Ⅱ	1	◎			2														
	フィールド実習Ⅰ	2							4											
	フィールド実習Ⅱ	2							4											
	海外実習	2								*										
	特別実習Ⅰ	2				○														
	特別実習Ⅱ	2					○													
	特別実習Ⅲ	2							○											
	特別実習Ⅳ	2								○										
	特別実習Ⅴ	8																		☆
	特別実習Ⅵ	8																		☆
	化学実験	1									1									
生物学実験	1				1															
動物看護実習	動物形態機能学実習	1	◎4					2												
	動物看護基礎実習	1	◎4					2												
	動物内科看護学実習	2	◎4					4												
	動物外科看護学実習	1	◎4							2										
	動物臨床看護学実習	1	◎4							2										
	動物臨床検査学実習	1	◎4							2										
	動物愛護・適正飼養実習	1	◎4							2										
	動物看護総合実習	2	◎4																	
	動物看護飼育管理実習	2								4										
その他	アニマルサイエンス研究Ⅰ	2						2												
	アニマルサイエンス研究Ⅱ	2								2										
	論文講読Ⅰ	1											1							
	論文講読Ⅱ	1													1					
	卒業研究	8	◎											4	4					
計	195		15	12	29	44	47	33	5	5										

※フィールド実習は春期休業中に実施する。

※海外実習(*印)は夏季休業中に実施するが、前期期間中に事前学習・後期期間中に事後学習を実施する。

※特別実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ(○印)は、休業期間、休日等を利用して合計60時間以上行う。

※卒業研究については、教員の指導により特別実習Ⅴ、Ⅵ(☆印)をもってこれに替えることができる。

動物看護科学コース(◎4)の学生はすべて必修

※卒業に必要な修得単位数は、合計124単位以上

別表 生命環境学部 アニマルサイエンス学科(動物看護福祉コース) 専門科目

◎は必修

区分	授業科目	単位数	必・選	毎週授業時間数								備考		
				1年次		2年次		3年次		4年次				
				1	2	3	4	5	6	7	8			
専門基礎科目	アニマルサイエンス・トピックス	2	◎	2										※専門科目は、必修科目24単位を含めて76単位以上修得すること。
	愛玩動物学	2	◎	2										
	生化学	2	◎	2										
	生物の科学	2	◎	2										
	生命倫理・動物福祉学	2			2									
	動物栄養学Ⅰ	2			2									
	動物病原微生物学	2			2									
	動物行動学Ⅰ	2				2								
	動物生理学Ⅰ	2			2									
	動物解剖組織学	2	◎	2										
	産業動物と展示動物の基礎	2	◎	2										
	動物介在教育学	2				2								
	人と動物の関係学	2				2								
	実験動物学	2				2								
	生態学	2				2								
	身近な植物の科学	2				2								
	遺伝繁殖学	2						2						
	基礎化学Ⅰ	2								2				
	基礎化学Ⅱ	2								2				
	集団と進化の生物学	2								2				
ペット飼育の心理学	2								2					
専門科目	動物看護学概論	2	◎	2										
	動物感染症学	2				2								
	動物看護関連法規	1				1								
	動物臨床検査学	2				2								
	動物臨床栄養学	2				2								
	動物栄養学Ⅱ	1						1						
	公衆衛生学	2							2					
	動物臨床看護学総論	2				2								
	動物薬理学	2				2								
	動物病理学	2				2								
	動物内科看護学	2					2							
	動物外科看護学	2					2							
	臨床動物行動学	1								1				
	動物医療コミュニケーション	2						2						
	動物リハビリテーション学	2								2				
	動物ケア実践	2								2				
	動物臨床看護学各論Ⅰ	2						2						
	動物臨床看護学各論Ⅱ	2						2						
	動物臨床看護学各論Ⅲ	2						2						
	動物福祉専門科目	動物福祉活動論	2						2					
動物国際事情		1			1									
動物福祉関連法規		1				1								
動物生活環境学		1						1						
ペット関連産業概論		2				2								
動物福祉の評価と実践		2						2						
産業動物の管理と福祉		2							2					
動物産業経営論		1						1						
適正飼養指導論		2					2							
産業動物汎論		2								2				
動物育種学	1								1					

区分	授業科目	単 位 数	必 ・ 選	毎週授業時間数								備考		
				1年次		2年次		3年次		4年次				
				1	2	3	4	5	6	7	8			
共通科目（基礎分野）	人間	哲学A	2		2								※共通科目は、必修科目8単位を含め16単位以上を修得すること。	
		哲学B	2			2								
		倫理学B	2	◎		2								
		心理学A	2		2									
		心理学B	2			2								
	社会	歴史学B	2			2								
		日本国憲法	2			2								
		社会学	2			2								
	文化	文化史A	2		2									
		文学A	2		2									
	自然	数学 I	2		2									
		物理学 I	2		2									
		化学 I	2		2									
		生物学 I	2		2									
	語学	英語 I	1		2									※語学は、1単位以上修得すること。
		英語 II	1			2								
		教養英語A	1		2									
		教養英語B	1			2								
		中国語 I	1		2									
		韓国語 I	1		2									
	保健 体育	健康と生活	2		2									
		健康体育A	1		2									
		健康体育B	1			2								
	サイ ン ス エ タ	情報 I	1	◎	2									
		情報 II	1	◎		2								
		統計学	2			2								
	ゼ ミ	基礎ゼミ I	2	◎	3	1								
基礎ゼミ II		1	◎			1	1							
基礎ゼミ III		1	◎					1	1					
	計	46		33	23	1	1	1	1	0	0			

区分	授業科目	単位数	必・選	毎週授業時間数								備考			
				1年次		2年次		3年次		4年次					
				1	2	3	4	5	6	7	8				
専門基礎科目（専門基礎分野）	人体の構造と機能Ⅰ	2	◎	4											※専門基礎科目・専門科目は、必修科目104単位を含めて108単位以上を修得すること。
	人体の構造と機能Ⅰ実習	1	◎	3											
	人体の構造と機能Ⅱ	2	◎		4										
	人体の構造と機能Ⅱ実習	1	◎		3										
	人体の構造と機能Ⅲ	2	◎			4									
	人体の構造と機能Ⅲ実習	1	◎			3									
	運動生理学	2				2									
	運動学Ⅰ	2	◎	2	2										
	運動学Ⅱ	2	◎			2	2								
	人間発達学	2	◎		2										
	疾病・障害の成り立ち及び回復過程の促進	医学概論	2	◎	2										
	病理学	1	◎		1										
	臨床心理学	1	◎		1										
	内部障害と臨床医学Ⅰ	1	◎			2									
	内部障害と臨床医学Ⅱ	1	◎				2								
	骨関節障害と臨床医学Ⅰ	1	◎			2									
	骨関節障害と臨床医学Ⅱ	1	◎				2								
	神経・筋系障害と臨床医学Ⅰ	1	◎			2									
	神経・筋系障害と臨床医学Ⅱ	1	◎				2								
	精神障害と臨床医学	1	◎			2									
	小児の障害と臨床医学	1	◎				1								
	老年期障害と臨床医学	1	◎				1								
	スポーツ障害と臨床医学	1					1								
	救急医学実践論	1	◎				1								
	テーとリハビリの	リハビリテーション概論	2	◎	2										
	多職種連携論	1	◎				1								
	保健医療福祉論	1	◎	1											
	公衆衛生学	1					1								
	実践活用	リハビリテーション工学	1				1								
	リハビリテーション医療英語	1						1							
	カウンセリング実践論	1							1						
	QOL・ターミナルケア論	1							1						
	小計		41		14	13	19	15	3	0	0	0	0	0	

区分	授業科目	単位数	必・選	毎週授業時間数								備考		
				1年次		2年次		3年次		4年次				
				1	2	3	4	5	6	7	8			
基礎理学療法学	理学療法概論	1	◎	1										※専門基礎科目・専門科目は、必修科目104単位を含めて108単位以上を修得すること。
	基礎理学療法学	2	◎	2										
	基礎理学療法学実習	1	◎		3									
	理学療法研究法	2	◎				2							
理学療法管理学	理学療法教育・管理学	2	◎					2						
	理学療法評価学	臨床動作分析	2	◎					2					
理学療法評価学		2	◎			2								
理学療法評価学実習Ⅰ		1	◎			3								
理学療法評価学実習Ⅱ		1	◎				3							
理学療法治療学	運動療法学	2	◎			2								
	運動療法学実習	1	◎				3							
	物理療法学Ⅰ	1	◎		1									
	物理療法学Ⅱ	2	◎			2								
	義肢装具学Ⅰ	2	◎					2						
	義肢装具学Ⅱ	1	◎						1					
	日常生活活動学Ⅰ	1	◎			1								
	日常生活活動学Ⅱ	1					1							
	スポーツ障害の理学療法	1						1						
	運動器障害系理学療法Ⅰ	1	◎				2							
	運動器障害系理学療法Ⅱ	1	◎					2						
	神経障害系理学療法Ⅰ	1	◎				2							
	神経障害系理学療法Ⅱ	1	◎					2						
	内部障害系理学療法Ⅰ	1	◎				2							
	内部障害系理学療法Ⅱ	1	◎					2						
	小児理学療法学	1	◎					1						
	疾患別理学療法演習Ⅰ	1	◎					2						
	疾患別理学療法演習Ⅱ	1	◎						2					
	疾患別理学療法演習Ⅲ	1	◎							2				
	プロフェッショナルスキルⅠ	1	◎	1	1									
	プロフェッショナルスキルⅡ	1	◎			1	1							
	プロフェッショナルスキルⅢ	1	◎						2					
	プロフェッショナルスキルⅣ	1	◎								2			
地域理学療法学	地域理学療法学	2	◎						2					
	生活環境学	1	◎					1						
	介護予防学	1						1						
応用理学療法学	徒手理学療法	1							1					
	臨床触診技術	1				1								
	リスク管理実践	1						1						
	福祉用具論	1							1					
	予防理学療法	1						1						
	国際医療活動	1						1						
	運動解析学演習	1						1						
臨床実習	臨床実習Ⅰ	1	◎		3									
	臨床実習Ⅱ	2	◎			6								
	臨床実習Ⅲ	8	◎						24					
	臨床実習Ⅳ	10	◎							30				
	臨床実習Ⅴ	1	◎								3			
学際的研究科目	支援技術と医療福祉	1						1						
	アニマルセラピー概論	2			2									
	HAIと比較認知科学	2				2								
	理学療法と栄養	1							1					
	教育学Ⅰ	2			2									
	教育学Ⅱ	2				2								

区分	授業科目	単 位 数	必 ・ 選	毎週授業時間数								備考		
				1年次		2年次		3年次		4年次				
				1	2	3	4	5	6	7	8			
学 際 的 研 究 科 目	リハビリテーション特論Ⅰ	1	◎	2										
	リハビリテーション特論Ⅱ	1	◎		2									
	リハビリテーション特論Ⅲ	1	◎			2								
	リハビリテーション特論Ⅳ	1	◎				2							
	リハビリテーション特論Ⅴ	1	◎					2						
	リハビリテーション特論Ⅵ	1	◎						2					
	リハビリテーション特論Ⅶ	1	◎								2			
	リハビリテーション特論Ⅷ	1	◎										2	
	卒業研究	2										3	3	
小計	93		6	14	15	27	25	38	40	5	※卒業に必要な修得単位数は、合計124単位以上。			
計	##		20	27	34	42	28	38	40	5				

区分	授業科目	単位数	必・選	毎週授業時間数								備考		
				1年次		2年次		3年次		4年次				
				1	2	3	4	5	6	7	8			
専門基礎科目（専門基礎分野） 人体の構造と機能及び心身の発達 疾病・障害の成り立ち及び回復過程の促進 ハビリテーションの理念 保健医療福祉とリハビリテーション 実践活用	人体の構造と機能Ⅰ	2	◎	4										※専門基礎科目・専門科目は、必修科目100単位を含めて105単位以上を修得すること。
	人体の構造と機能Ⅰ実習	1	◎	3										
	人体の構造と機能Ⅱ	2	◎		4									
	人体の構造と機能Ⅱ実習	1	◎		3									
	人体の構造と機能Ⅲ	2	◎			4								
	人体の構造と機能Ⅲ実習	1	◎			3								
	基礎医学応用	1					1							
	運動学	2	◎		2									
	運動学実習	1	◎			3								
	人間発達学	2	◎		2									
	医学概論	2	◎	2										
	臨床心理学	1	◎		1									
	内部障害と臨床医学Ⅰ	1	◎			2								
	内部障害と臨床医学Ⅱ	1	◎				2							
	骨関節障害と臨床医学Ⅰ	1	◎				2							
	骨関節障害と臨床医学Ⅱ	1	◎					2						
	神経・筋系障害と臨床医学Ⅰ	1	◎					2						
	神経・筋系障害と臨床医学Ⅱ	1	◎						2					
	精神障害と臨床医学	1	◎							2				
	小児の障害と臨床医学	1	◎						1					
	スポーツ障害と臨床医学	1								1				
	老年期障害と臨床医学	1	◎								1			
	救急医学実践論	1	◎									1		
	病理学	1	◎			1								
	多職種連携論	1	◎						1					
	リハビリテーション概論	2	◎	2										
	保健医療福祉論	1	◎	1										
	公衆衛生学	1							1					
	リハビリテーション工学	1								1				
	カウンセリング実践論	1									1			
	QOL・ターミナルケア論	1										1		
	リハビリテーション医療英語	1											1	
	小計		39		12	13	18	14	3	0	0	0		

区分	授業科目	単 位 数	必 ・ 選	毎週授業時間数								備考								
				1年次		2年次		3年次		4年次										
				1	2	3	4	5	6	7	8									
学 科 的 研 究	教育学Ⅰ	2			2															
	教育学Ⅱ	2					2													
	国際医療活動	1							1											
	卒業研究	2											3	3						
	小計	86		8	14	11	19	31	38	30	9									
計	125		20	27	29	33	34	38	30	9										

※卒業に必要な修得単位数は、合計124単位以上

区分	授業科目	単位数	必・選	毎週授業時間数								備考		
				1年次		2年次		3年次		4年次				
				1	2	3	4	5	6	7	8			
共通科目(基礎分野)	人間	哲学A	2		2								※共通科目は、必修科目12単位を含め14単位以上を修得すること。	
		哲学B	2			2								
		倫理学B	2	◎		2								
		心理学A	2		2									
		心理学B	2			2								
	社会	歴史学A	2		2									
		歴史学B	2			2								
		法学	2		2									
		日本国憲法	2			2								
		経済学	2		2									
	文化	社会学	2			2								
		文化史A	2		2									
		文学B	2			2								
	自然	文学A	2				2							
		数学 I	2		2									
		物理学 I	2		2									
		化学 I	2		2									
	生物学 I	生物学 I	2		2									
		英語 I	1		2									※語学は、1単位以上修得すること。
		英語 II	1			2								
		教養英語A	1		2									
	教養英語B	1			2									
	保健体育	健康と生活	2		2									
		健康体育A	1		2									
		健康体育B	1			2								
	サイエンス	情報 I	1	◎	2									
		情報 II	1	◎		2								
		統計学	2			2								
	キャリア	キャリアデザイン I	2			2								
		実践日本語会話法	2			2								
		時事問題解説	2				2							
	ゼミ	フレッシュセミナー I	2	◎	2	2								
フレッシュセミナー II		2	◎			2	2							
アドバンスセミナー I		2	◎					2	2					
アドバンスセミナー II		2	◎							2	2			
	計	62		32	30	6	2	2	2	2	2			

区分	授業科目	単 位 数	必 ・ 選	毎週授業時間数								備考		
				1年次		2年次		3年次		4年次				
				1	2	3	4	5	6	7	8			
専門基礎科目（専門基礎分野）	人体の理解	解剖学Ⅰ	2	◎	2									※専門科目(専門基礎科目・専門科目)は、必修科目106単位以上を修得すること。
		解剖学Ⅱ	2	◎		2								
		解剖学Ⅲ	2	◎			2							
		解剖学Ⅳ	2	◎				2						
		生理学Ⅰ	2	◎	2									
		生理学Ⅱ	2	◎		2								
		生理学Ⅲ	2	◎			2							
		生理学Ⅳ	2	◎				2						
		運動学Ⅰ	1	◎			2							
		運動学Ⅱ	1	◎				2						
	疾病・傷害の理解	外科学	2	◎					2					
		病理学	1	◎				2						
		人体の生理学的特性と変化	1	◎				2						
		一般臨床医学Ⅰ	2	◎					2					
		一般臨床医学Ⅱ	2	◎						2				
		整形外科学基礎	1	◎			2							
		整形外科学臨床	1	◎				2						
		スポーツ障害と臨床医学	1					1						
		高齢者保健学	2							2				
		リハビリテーション各論	2	◎					2					
	実践活用	臨床医学診断法	2	◎							2			
		公衆衛生学	2	◎			2							
		柔道整復の適応	2	◎					2					
		社会保障制度	1	◎							2			
		ヒトの運動と呼吸の生理	2					2						
		救急医療	1	◎						2				
		スポーツトレーナー入門	2			2								
		職業倫理及び関係法規	2	◎							2			
		柔道実技	2	◎	2	2								
		地域保健スポーツ医療概論	2							2				
徒手療法	2							2						
小計	53			6	8	10	15	8	10	6	0			

区分	授業科目	単位数	必・選	毎週授業時間数								備考		
				1年次		2年次		3年次		4年次				
				1	2	3	4	5	6	7	8			
専門科目(専門分野)	基礎柔道整復総論Ⅰ	2	◎	2										※専門科目(専門基礎科目・専門科目)は、必修科目106単位以上を修得すること。
	基礎柔道整復総論Ⅱ	2	◎	2										
	基礎柔道整復総論Ⅲ	2	◎	2										
	基礎柔道整復総論Ⅳ	2	◎		2									
	基礎柔道整復総論Ⅴ	2	◎			2								
	臨床柔道整復治療学	2	◎									2		
	臨床柔道整復各論Ⅰ	1	◎			2								
	臨床柔道整復各論Ⅱ	1	◎			2								
	臨床柔道整復各論Ⅲ	1	◎			2								
	臨床柔道整復各論Ⅳ	1	◎		2									
	臨床柔道整復各論Ⅴ	1	◎					2						
	臨床柔道整復各論Ⅵ	1	◎					2						
	臨床柔道整復各論Ⅶ	1	◎		2									
	臨床柔道整復各論Ⅷ	1	◎					2						
	臨床柔道整復各論Ⅸ	1	◎					2						
	臨床柔道整復各論Ⅹ	1	◎					2						
	柔道整復演習Ⅰ	1	◎					2						
	柔道整復演習Ⅱ	1	◎						2					
	柔道整復演習Ⅲ	1	◎								2			
	柔道整復演習Ⅳ	1	◎					2						
	柔道整復演習Ⅴ	1	◎						2					
	柔道整復演習Ⅵ	1	◎							2				
	柔道整復演習Ⅶ	1	◎								2			
	柔道整復演習Ⅷ	1	◎									2		
	柔道整復演習Ⅸ	1	◎									2		
	柔道整復総合演習Ⅰ	2	◎									2	2	
	柔道整復総合演習Ⅱ	2	◎									2	2	
	基礎整復技術実習Ⅰ	2	◎	2	2									
	基礎整復技術実習Ⅱ	2	◎		4									
	基礎整復技術実習Ⅲ	2	◎		4									
	臨床整復技術実習Ⅰ	2	◎				4							
	臨床整復技術実習Ⅱ	2	◎				4							
	臨床整復技術実習Ⅲ	2	◎			4								
臨床整復技術実習Ⅳ	2	◎						4						
臨床整復技術実習Ⅴ	2	◎						4						
臨床整復技術実習Ⅵ	2	◎			4									
臨床整復技術実習Ⅶ	2	◎						4						
臨床整復技術実習Ⅷ	2	◎					4							
臨床整復総合演習Ⅰ	1	◎					2							
臨床整復総合演習Ⅱ	1	◎						2						
臨床整復総合演習Ⅲ	1	◎								2				
臨床実習Ⅰ	1	◎		3										
臨床実習Ⅱ	1	◎			3									
臨床実習Ⅲ	1	◎						3						
臨床実習Ⅳ	1	◎								3				
柔道セラピー研究法	1							2						
卒業研究	4										4	4		
小計	69			8	19	16	11	20	23	22	11			
計	122			14	27	26	26	28	33	28	11			
													※卒業に必要な修得単位数は、合計124単位以上	

区分	授業科目	単 位 数	必 ・ 選	毎週授業時間数								備考		
				1年次		2年次		3年次		4年次				
				1	2	3	4	5	6	7	8			
共通科目(基礎分野)	人間	倫理学B	2	◎		2								共通科目(基礎分野)は、必修科目10単位を含めて18単位以上修得すること。
		心理学A	2		2									
		心理学B	2			2								
		哲学A	2		2									
		哲学B	2			2								
	社会	歴史学A	2		2									
		歴史学B	2			2								
		法学	2		2									
		日本国憲法	2			2								
		経済学	2		2									
	文化	社会学	2			2								
		文学A	2		2									
		文学B	2			2								
	自然	文化史A	2		2									
		数学 I	2		2									
		物理学 I	2		2									
		化学 I	2		2									
	生物学 I	生物学 I	2		2									
		英語 I	1		2									
		英語 II	1			2								
		教養英語A	1		2									
	語学	教養英語B	1			2								
		健康体育A	1		2									
	保健体育	健康体育B	1			2								
		健康と生活	2		2									
		情報 I	1	◎	2									
	データサイエンス	情報 II	1	◎		2								
		統計学	2			2								
		キャリアデザイン I	2			2								
	キャリア	実践日本語会話法	2			2								
時事問題解説		2				2								
基礎ゼミ I		2	◎	2										
ゼミ	基礎ゼミ II	1	◎			1								
	基礎ゼミ III	1	◎				1							
	基礎ゼミ IV	1	◎					1						
	基礎ゼミ V	1	◎						1					
	計	60		34	28	3	1	1	1	0	0			

区分	授業科目	単位数	必・選	毎週授業時間数								備考		
				1年次		2年次		3年次		4年次				
				1	2	3	4	5	6	7	8			
専門基礎科目	人体の理解	身体構造学Ⅰ	2	◎	2									※専門基礎科目・専門科目は、必修科目106単位以上を修得すること。
		身体構造学Ⅱ	2	◎		2								
		身体構造学実習	1	◎		3								
		身体機能学Ⅰ	2	◎	2									
		身体機能学Ⅱ	2	◎		2								
		身体機能学実習	1	◎			3							
		運動学Ⅰ	2	◎	2									
		運動学Ⅱ	2	◎		2								
		運動生理学	2		2									
		運動学実習	1	◎			3							
	人間発達学	2	◎	2										
	疾病・障害の理解	病理学	1	◎			1							
		病態運動学	1				1							
		内科学	2	◎			2							
		臨床心理学	1	◎		1								
		薬理学概論	1	◎				1						
		整形外科学	2	◎			2							
		神経内科学	2	◎			2							
		精神医学	1	◎		1								
		小児科学	1	◎			1							
		スポーツ医学	2						2					
	リハビリテーション医学	1	◎		1									
	公衆衛生学	1	◎				1							
	リハビリテーションの理解	リハビリテーション概論	1	◎	1									
		地域包括ケアシステム論	2	◎					2					
		チーム医療実践論	1	◎				1						
	学際的領域	教育学	2							2				
		動物リハビリテーション	2							2				
		バイオメカニクス	1							1				
		栄養学	1							1				
救急医療学		1		1										
臨床検査学概論		1					1							
小計		47		12	12	15	4	4	6	0	0			

区分	授業科目	単 位 数	必 ・ 選	毎週授業時間数								備考		
				1年次		2年次		3年次		4年次				
				1	2	3	4	5	6	7	8			
専門科目	基礎理学療法学	1	◎	1										※専門基礎科目・専門科目は、必修科目106単位以上を修得すること。
	基礎理学療法学	2	◎	2										
	医療統計学	1				1								
	理学療法研究法	1	◎				1							
	理学療法教育・管理学	2	◎					2						
	理学療法管理学	2	◎					2						
	理学療法評価学	1	◎							1				
	理学療法評価学	2	◎		2									
	理学療法評価学実習Ⅰ	1	◎			3								
	理学療法評価学実習Ⅱ	1	◎				3							
	運動療法学総論	2	◎			2								
	運動療法学実習	1	◎				3							
	物理療法学・実習	1	◎					3						
	補装具学	2	◎					2						
	補装具学演習	2	◎							2				
	日常生活活動学	2	◎		2									
	日常生活活動学実習	1	◎				3							
	スポーツ障害理学療法学	1								1				
	運動器障害理学療法学Ⅰ	2	◎				2							
	運動器障害理学療法学Ⅱ	2	◎					2						
	神経障害理学療法学Ⅰ	2	◎				2							
	神経障害理学療法学Ⅱ	2	◎					2						
	内部障害理学療法Ⅰ	2	◎				2							
	内部障害理学療法Ⅱ	2	◎					2						
	高齢者理学療法学	1								1				
	小児理学療法学	2	◎							2				
	プロフェッショナルスキルⅠ	1	◎						2					
	プロフェッショナルスキルⅡ	1	◎							3				
	プロフェッショナルスキルⅢ	1	◎							3				
	クリニカルリーズニング	1										1		
	地域理学療法学	2	◎						2					
	生活環境学	1	◎							1				
	障害予防特論	1	◎							1				
	応用理学療法学	1							1					
	応用理学療法学	1							1					
	応用理学療法学	1										1		
	臨床実習	1	◎	3										
	臨床実習Ⅱ	1	◎			3								
	臨床実習Ⅲ	6	◎							18				
	臨床実習Ⅳ	12	◎								36			
臨床実習Ⅴ	1	◎									3			
その他	理学療法ゼミ	4	◎							6	6	※卒業に必要な修得単位数は、合計124単位以上		
その他	卒業研究	2	◎							3	3			
	小計	79		6	4	6	19	21	33	45	14			
	計	126		18	16	21	23	25	39	45	14			

区分	授業科目	単 位 数	必 ・ 選	毎週授業時間数								備考	
				1年次		2年次		3年次		4年次			
				1	2	3	4	5	6	7	8		
共通科目（基礎分野）	人間	倫理学A	2		2								※共通科目は必修科目14単位を含めて14単位以上修得すること。
		倫理学B	2	◎		2							
		心理学A	2		2								
		心理学B	2			2							
		哲学A	2		2								
		哲学B	2			2							
	社会	歴史学A	2		2								
		歴史学B	2			2							
		法学	2		2								
		日本国憲法	2			2							
		経済学	2		2								
		社会学	2			2							
	文化	文学A	2		2								
		文学B	2			2							
		文化史A	2		2								
	自然	数学I	2		2								
		物理学I	2		2								
		化学I	2		2								
		生物学I	2		2								
	語学	英語I	1	◎	2								
		英語II	1	◎		2							
		中国語I	1		2								
		韓国語I	1		2								
	保健体育	健康体育A	1		2								
		健康体育B	1			2							
		健康と生活	2		2								
	データサイエンス	情報I	1	◎	2								
		情報II	1	◎		2							
		統計学	2			2							
	キャリア	キャリアデザイン I	2			2							
		実践日本語会話法	2			2							
	ゼミ	アドバンスセミナー I	2	◎	2	2							
アドバンスセミナー II		2	◎			2	2						
アドバンスセミナー III		2	◎					2	2				
アドバンスセミナー IV		2	◎							2	2		
	計	62		38	28	2	2	2	2	2	2		

区分	授業科目	単位数	必・選	毎週授業時間数								備考			
				1年次		2年次		3年次		4年次					
				1	2	3	4	5	6	7	8				
専門基礎科目（専門基礎分野）	人体の理解	解剖学Ⅰ	2	◎	2									※専門科目(専門基礎科目・専門科目)は、必修科目102単位以上修得すること。	
		解剖学Ⅱ	2	◎		2									
		解剖学Ⅲ	2	◎			2								
		解剖学Ⅳ	2	◎				2							
		生理学Ⅰ	2	◎	2										
		生理学Ⅱ	2	◎		2									
		生理学Ⅲ	2	◎			2								
		生理学Ⅳ	2	◎				2							
		運動学と行動	2	◎			2								
	疾病・傷害の理解	外科学	2	◎				2							
		臨床心理学	2			2									
		スポーツ医学概論	2						2						
		社会保障制度	1	◎						1					
		衛生学	2	◎						2					
		公衆衛生学	2	◎							2				
		薬の知識	2					2							
		整形外科学Ⅰ	2	◎				2							
		整形外科学Ⅱ	2	◎					2						
		リハビリテーションⅠ	2	◎					2						
		リハビリテーションⅡ	2	◎						2					
		疾病の科学(病理各論・総論)	2	◎						2					
		一般臨床医学Ⅰ	2	◎			2								
	一般臨床医学Ⅱ	2	◎				2								
	実践活用	医学史	2		2										
		統合医療概論	2							2					
		介護概論	2			2									
		スポーツトレーニング入門	2		2										
		柔道実技Ⅰ	1	◎		2									
		柔道実技Ⅱ	1	◎			2								
		職業倫理及び関係法規	2	◎						2					
		柔道整復術の適応	2	◎							2				
		画像診断学	1									1			
		救急医療	2					2							
		地域保健スポーツ医療概論と演習	2					2							
		アロマセラピーⅠ	2				2								
		アロマセラピーⅡ	2					2							
		後療法	2				2								
		計	70			8	10	14	20	15	4	1	0		

区分	授業科目	単 位 数	必 ・ 選	毎週授業時間数								備考		
				1年次		2年次		3年次		4年次				
				1	2	3	4	5	6	7	8			
専門科目（専門分野）	基礎整復学Ⅰ	2	◎	2									※専門科目(専門基礎科目・専門科目)は、必修科目102単位以上修得すること。	
	基礎整復学Ⅱ	2	◎	2										
	基礎整復学Ⅲ	2	◎		2									
	基礎整復学Ⅳ	2	◎		2									
	基礎整復学Ⅴ	2	◎			2								
	基礎整復学Ⅵ	2	◎						2					
	臨床柔道整復学	臨床整復学Ⅰ	1	◎		2								
		臨床整復学Ⅱ	1	◎			2							
		臨床整復学Ⅲ	1	◎				2						
		臨床整復学Ⅳ	1	◎			2							
		臨床整復学Ⅴ	1	◎			2							
		臨床整復学Ⅵ	2	◎				2						
		臨床整復学Ⅶ	2	◎					2					
		臨床整復学Ⅷ	2	◎								2		
		応用整復学Ⅰ	1	◎					2					
		応用整復学Ⅱ	1	◎					2					
		応用整復学Ⅲ	1	◎						2				
		応用整復学Ⅳ	1	◎						2				
		応用整復学Ⅴ	1	◎							2			
		応用整復学Ⅵ	1	◎								2		
		基礎整復学演習Ⅰ	1				2							
		基礎整復学演習Ⅱ	1					2						
		基礎整復学演習Ⅲ	1						2					
	基礎整復学演習Ⅳ	1							2					
	柔道整復実技	柔道整復学実習Ⅰ	2	◎	4									
		柔道整復学実習Ⅱ	2	◎							4			
		臨床整復学実習Ⅰ	2	◎			4							
		臨床整復学実習Ⅱ	2	◎				4						
		臨床整復学実習Ⅲ	2	◎					4					
		臨床整復学実習Ⅳ	2	◎				4						
		臨床整復学実習Ⅴ	2	◎						4				
		臨床整復学実習Ⅵ	2	◎					4					
		臨床整復学実習Ⅶ	2	◎						4				
臨床整復学実習Ⅷ		2	◎							4				
柔道整復研究法		2								2				
応用柔道整復学演習Ⅰ		1	◎									2		
応用柔道整復学演習Ⅱ		1	◎									2		
総合柔道整復学演習Ⅰ		1	◎								1	1		
総合柔道整復学演習Ⅱ		1	◎								1	1		
臨床実習Ⅰ		3	◎	集中講義										
臨床実習Ⅱ	1	◎								集中講義				
卒業研究法	4									4	4			
小計	67		8	6	14	14	16	22	16	10				
計	137		16	16	28	34	31	26	17	10				

※卒業に必要な修得単位数は、合計124単位以上

区分	授業科目	配当年次	配当時期	単位数	1 単 位 時 間	必 修	選 択	備 考	
共通科目(基礎分野)	人間	哲学A	1	前	2	15		○	保健師課程受講者必修 【看護師課程】 必修科目13単位を含めて20単位以上修得すること。 【保健師課程】 必修科目15単位を含めて20単位以上修得すること。
		哲学B	1	後	2	15		○	
		倫理学B	1	後	2	15	◎		
		心理学A	1	前	2	15	◎		
		科学史	1	後	2	15		○	
	社会	社会学	1	後	2	15		○	
		日本国憲法	1	後	2	15		○	
		文学A	1	前	2	15		○	
	文化	美術と対話	1	後	2	15		○	
		音楽と表現	1	後	2	15		○	
		生物学 I	1	前	2	15		○	
	自然	化学 I	1	前	2	15		○	
		数学 I	1	前	2	15		○	
		物理学 I	1	前	2	15		○	
		英語 I	1	前	1	30	◎		
	語学	英語 II	1	後	1	30	◎		
		教養英語A	1	前	1	30	◎		
		教養英語B	1	後	1	30		○	
		中国語 I	1	前	1	30		○	
		中国語 II	1	後	1	30		○	
		韓国語 I	1	前	1	30		○	
		韓国語 II	1	後	1	30		○	
		保健体育	健康体育A	1	前	1	30		
	健康体育B		1	後	1	30		○	
	健康と生活		1	前	2	15		○	
	データサイエンス	情報 I	1	前	1	30	◎		
		情報 II	1	後	1	30	◎		
		統計学	1	後	2	15	◎		
	キャリア	教育学	1	前	2	15		○	
		教育方法	1	後	2	15		○	
		実践日本語会話法	1	後	2	15		○	
	ゼミ	基礎ゼミ	1	前	2	15	◎		
	計			52					

区分	授業科目	配当年次	配当時期	単位数	1単位時間	必修	選択	備考	
専門科目(専門分野)	看護の基本	看護学概論	1	前	2	15	◎		【看護師課程】 ※専門科目(専門分野)は、必修科目71単位を含めて78単位以上修得すること。 【保健師課程】 専門科目(専門分野)は、必修71単位および保健師課程科目13単位を含めた合計84単位以上修得すること。
		看護理論	3	前	1	15	◎		
		基礎看護技術Ⅰ(共通基盤技術)	1	前	1	30	◎		
		基礎看護技術Ⅱ(日常生活援助技術)	1	後	1	30	◎		
		基礎看護技術Ⅲ(診療の補助技術)	2	前	2	30	◎		
		基礎看護技術Ⅳ(看護過程)	2	前	2	15	◎		
		ヘルスアセスメント	2	後	2	15	◎		
		成人看護学概論	1	後	1	15	◎		
		老年看護学概論	2	前	1	15	◎		
		小児看護学概論	2	前	1	15	◎		
		母性看護学概論	2	前	1	15	◎		
		精神看護学概論	2	前	1	15	◎		
		地域生活支援論	1	後	1	15	◎		
		公衆衛生看護学概論	1	後	1	15	◎		
		在宅看護学概論	2	前	1	15	◎		
	看護倫理	3	前	1	15	◎			
	看護援助の方法	成人看護援助論Ⅰ-1(慢性期)	2	前	1	30	◎		保健師課程受講者のみ 保健師課程受講者のみ 保健師課程受講者のみ 保健師課程受講者のみ
		成人看護援助論Ⅰ-2(慢性期看護過程)	2	後	1	15	◎		
		成人看護援助論Ⅱ-1(急性期・周術期)	2	前	1	30	◎		
		成人看護援助論Ⅱ-2(周術期看護過程)	3	前	1	15	◎		
		成人看護援助論Ⅲ(終末期)	3	前	1	15	◎		
		老年看護援助論Ⅰ(日常生活ケア)	2	後	1	15	◎		
		老年看護援助論Ⅱ-1(医療的ケア)	3	前	1	30	◎		
		老年看護援助論Ⅱ-2(看護過程)	3	前	1	15	◎		
		小児看護援助論Ⅰ(成長発達・日常生活ケア)	2	前	1	15	◎		
		小児看護援助論Ⅱ-1(病児・家族の看護)	2	後	1	15	◎		
		小児看護援助論Ⅱ-2(看護過程・技術)	3	前	1	15	◎		
		母性看護援助論Ⅰ(周産期の基礎)	2	後	2	15	◎		
		母性看護援助論Ⅱ(周産期の応用)	3	前	1	15	◎		
		精神看護援助論Ⅰ(ケアの方法論)	2	後	2	15	◎		
		精神看護援助論Ⅱ(ケアの技術・演習)	3	前	1	15	◎		
		公衆衛生看護方法論Ⅰ-1(成人・老年・産業)	2	前	1	15	◎		
		公衆衛生看護方法論Ⅰ-2(母子・精神・難病)	2	後	1	15	◎		
公衆衛生看護方法論Ⅱ(保健指導、健康教育)		3	前	1	15		○		
公衆衛生看護方法論Ⅲ(地域診断、健康危機管理)	3	前	2	15		○			
公衆衛生看護学演習Ⅰ(地域のアセスメント)	4	前	2	15		○			
公衆衛生看護学演習Ⅱ(健診と家庭訪問)	4	前	2	15		○			
在宅看護援助論Ⅰ(日常生活ケア)	2	後	1	15	◎				
在宅看護援助論Ⅱ(医療的ケア)	3	前	2	15	◎				

区分	授業科目	単 位 数	必 ・ 選	毎週授業時間数								備考		
				1年次		2年次		3年次		4年次				
				1	2	3	4	5	6	7	8			
共通科目	人間	倫理学B	2	◎		2								※共通科目は、必修科目10単位を含めて10単位以上修得すること。
		心理学A	2		2									
		心理学B	2			2								
		哲学A	2		2									
		哲学B	2			2								
	社会	歴史学A	2		2									
		歴史学B	2			2								
		法学	2				2							
		日本国憲法	2			2								
		経済学	2		2									
	文化	社会学	2			2								
		文学A	2					2						
		文学B	2			2								
	自然	文化史A	2		2									
		数学 I	2		2									
		物理学 I	2		2									
		化学 I	2		2									
	語学	生物学 I	2		2									
		英語 I	1	◎	2									
		英語 II	1	◎		2								
		教養英語A	1		2									
	保健体育	教養英語B	1			2								
		健康体育A	1		2									
		健康体育B	1			2								
	データサイエンス	健康と生活	2		2									
		情報 I	1	◎	2									
		情報 II	1	◎		2								
	キャリア	統計学	2			2								
		キャリアデザイン I	2			2								
		キャリアデザイン II	2				2							
実践日本語会話		2			2									
ゼミ	時事問題解説	2				2								
	基礎ゼミ I	2	◎	2										
	基礎ゼミ II	2	◎		2									
計		60		30	30	6	0	2	0	0	0	0		

区分	授業科目	単 位 数	必 ・ 選	毎週授業時間数								備考		
				1年次		2年次		3年次		4年次				
				1	2	3	4	5	6	7	8			
専門基礎科目	福祉専門演習	1	◎	2									※専門基礎科目・専門科目は、必修科目24単位を含めて24単位以上を修得すること。 ※多文化共生海外実習(*印)は夏季・春季の期間に実施する。	
	危機管理と福祉	2							2					
	生活環境論	2			2									
	多文化共生と福祉Ⅰ	2	◎		2									
	多文化共生と福祉Ⅱ	2				2								
	多文化共生海外実習	1					*							
	心理学	2	◎	2										
	発達心理学	2		2										
	臨床心理学	2									2			
	リハビリテーション論	2					2							
	介護予防学	2			2									
	チーム医療福祉実践論	1	◎							1				
	日本の社会福祉史	2			2									
	医療管理	2		2										
	医療関係法規Ⅰ	2	◎		2									
	医療関係法規Ⅱ	2			2									
	医療情報概論	2	◎			2								
	医療情報各論	2				2								
	医療情報処理	2					2							
	医療情報セキュリティ	2					2							
	診療報酬概論Ⅰ	2							2					
	診療報酬概論Ⅱ	2							2					
	診療報酬概論Ⅲ	2								2				
	福祉科学セミナーⅠ	2	◎			2	2							
	福祉科学セミナーⅡ	2	◎						2	2				
	福祉科学セミナーⅢ	2	◎								2	2		
	実践活用	医療ソーシャルワーク実習指導	1									2		
		医療ソーシャルワーク実習	2									6		
		動物人間関係論	1								1			
		福祉ロボット	2								2			
		音楽と表現	2			2								
		手話	1			2								
		レクリエーション活動援助法	1				2							
アダプテッドスポーツ		2					2							
小計	61		8	16	10	10	6	10	12	2				

区分	授業科目	単 位 数	必 ・ 選	毎週授業時間数								備考		
				1年次		2年次		3年次		4年次				
				1	2	3	4	5	6	7	8			
専門科目	医学概論	2	◎	2									※専門基礎科目・専門科目は、必修科目24単位を含めて24単位以上を修得すること。	
	社会福祉概論Ⅰ	2	◎	2										
	社会福祉概論Ⅱ	2	◎		2									
	社会福祉調査	2						2						
	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ	2				2								
	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ	2					2							
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	2				2								
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	2					2							
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ	2					2							
	ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ	2						2						
	地域福祉論Ⅰ	2					2							
	地域福祉論Ⅱ	2						2						
	福祉サービスの組織と経営	2						2						
	社会保障論Ⅰ	2				2								
	社会保障論Ⅱ	2					2							
	高齢者福祉論	2	◎		2									
	障害者福祉論	2				2								
	児童・家庭福祉論	2				2								
	公的扶助論	2						2						
	医療福祉論	2						2						
	権利擁護を支える法制度	2						2						
	司法福祉論	2							2					
	ソーシャルワーク演習Ⅰ	1			2									
	ソーシャルワーク演習Ⅱ	1				2								
	ソーシャルワーク演習Ⅲ	1					2							
	ソーシャルワーク演習Ⅳ	1						2						
	ソーシャルワーク演習Ⅴ	1							2					
	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	1					2							
	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	1						2						
	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	1							2					
	ソーシャルワーク実習	5							4	4	4	4		
	精神保健福祉	精神保健Ⅰ	2		2									
		精神保健Ⅱ	2			2								
		精神医学Ⅰ	2				2							
		精神医学Ⅱ	2					2						
		精神保健福祉の原理Ⅰ	2					2						
精神保健福祉の原理Ⅱ		2						2						
ソーシャルワークの理論と方法(専門)A		2				2								
ソーシャルワークの理論と方法(専門)B		2					2							
精神障害リハビリテーション論		2						2						
精神保健福祉制度論		2				2								
ソーシャルワーク演習(専門)A		1					2							
ソーシャルワーク演習(専門)B		1						2						
ソーシャルワーク演習(専門)C		1							2					
ソーシャルワーク実習指導A		1					2							
ソーシャルワーク実習指導B		1						2						
ソーシャルワーク実習指導C		1							2					
ソーシャルワーク実習A		2					6							
ソーシャルワーク実習B		2						3	3					

区分	授業科目	単 位 数	必 ・ 選	毎週授業時間数								備考			
				1年次		2年次		3年次		4年次					
				1	2	3	4	5	6	7	8				
共通科目	人間	哲学A	2		2									※教養は、8単位以上修得すること。	
		哲学B	2			2									
		倫理学B	2			2									
		心理学A	2		2										
		心理学B	2			2									
	社会	歴史学A	2		2										
		歴史学B	2			2									
		法学	2		2										
		日本国憲法	2			2									
		経済学	2		2										
	文化	社会学	2			2									
		文学A	2						2						
		文学B	2			2									
		文化史A	2		2										
	自然	文化史B	2			2									
		数学 I	2		2										
		物理学 I	2		2										
		化学 I	2		2										
	語学	生物学 I	2		2										
		英語 I	1		2										※語学は、2単位以上修得すること。
		英語 II	1			2									
		教養英語A	1		2										
	教養英語B	1			2										
	保健体育	健康体育A	1		2										
		健康体育B	1			2									
		健康と生活	2		2										
	データサイエンス	情報 I	1	◎	2										
情報 II		1	◎		2										
キャリア	キャリアデザイン I	2			2										
	時事問題解説	2				2									
ゼミ	基礎ゼミ	2	◎	2											
計		54		32	26	2	0	2	0	0	0	0			

別表

教育人間科学部 こども学科 小学校・幼稚園教諭コース 専門科目(1)

◎は必修

区分	授業科目	単 位 数	必 ・ 選	毎週授業時間数								備考		
				1年次		2年次		3年次		4年次				
				1	2	3	4	5	6	7	8			
専門 基礎 科目	教育原理	2	◎	2									専門科目は、必修科目30単位を含めて90単位以上修得すること。	
	保育原理	2		2										
	教育心理学	2	◎		2									
	文章構成法	2	◎						2					
	教育史	2								2				
	発達心理学	2							2					
	教育社会学	2	◎		2									
	教育制度論	2							2					
	幼児理解の理論と方法	2			2									
	教育方法論(情報通信技術の活用を含む)	2	◎				2							
	教職概論	2	◎	2										
	教育課程論	2	◎			2								
	教育相談論	2	◎					2						
	生徒・進路指導論	2	◎					2						
	道德教育の理論と実践	2	◎						2					
	特別支援教育論	2					2							
	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	2							2					
	専門 科目	児童文学	2		2									
		動物介在教育学	2				2							
		国語	2				2							
社会科		2				2								
算数		2				2								
理科		2						2						
生活科		2						2						
家庭科		2						2						
英語		2							2					
初等教科教育法(国語)		2				2								
初等教科教育法(社会科)		2				2								
初等教科教育法(算数)		2				2								
初等教科教育法(理科)		2						2						
初等教科教育法(生活科)		2						2						
初等教科教育法(家庭科)		2						2						
初等教科教育法(音楽)		2					2							
初等教科教育法(図画工作)		2					2							
初等教科教育法(体育)		2					2							
初等教科教育法(英語)		2							2					
こども 専門 科目		子どもと健康 I	1					1						
	子どもと健康 II	1					1							
	子どもと人間関係 I	1		1										
	子どもと人間関係 II	1		1										
	子どもと環境 I	1				1								
	子どもと環境 II	1				1								
	子どもと言葉 I	1					1							
	子どもと言葉 II	1					1							
	計	80		10	6	18	14	16	14	2	0			

区分	授業科目	単 位 数	必 ・ 選	毎週授業時間数								備考	
				1年次		2年次		3年次		4年次			
				1	2	3	4	5	6	7	8		
専門科目	動物・ロボット介在教育演習	1		2									専門科目は、必修科目30単位を含めて90単位以上修得すること。
	こども文化教育演習	1		2									
	子どもと音楽表現ⅠA	1			2								
	子どもと音楽表現ⅠB	1				2							
	子どもと音楽表現ⅡA	1					2						
	子どもと音楽表現ⅡB	1						2					
	子どもと造形表現Ⅰ	1		2									
	子どもと造形表現Ⅱ	1				2							
	子どもと身体表現	1				2							
	保育内容総論	2			2								
	保育の指導法(環境)	2					2						
	保育の指導法(表現)	2							2				
	保育の指導法(人間関係)	2			2								
	保育の指導法(健康)	2						2					
	保育の指導法(言葉)	2						2					
	音楽Ⅰ	1		2									
	音楽Ⅱ	1				2							
	図画工作Ⅰ	1			2								
	図画工作Ⅱ	1					2						
	体育Ⅰ	1			2								
	体育Ⅱ	1						2					
	こども教育体験演習	1			2								
	保育・教職実践演習(幼・小)	2										2	
	実習科目	教育実習事前事後指導	1					1	1				
		教育実習(幼・小)	4						8				
	その他	保育教職セミナーⅠ	2		2								
		保育教職セミナーⅡ	2			2							
		保育教職セミナーⅢ	2				2						
		保育教職セミナーⅣ	2					2					
		教職アドバンスセミナーⅠ	2						2				
教職アドバンスセミナーⅡ		2							2				
論文講読Ⅰ		1								1			
論文講読Ⅱ		1									1		
卒業研究		8								4	4		
	小計	57		10	14	10	8	11	13	5	7		
	計	137		20	20	28	22	27	27	7	7		

※卒業に必要な修得単位数は、合計124単位以上

区分	授業科目	単位数	必・選	毎週授業時間数								備考		
				1年次		2年次		3年次		4年次				
				1	2	3	4	5	6	7	8			
専門科目	教育原理	2	◎	2									専門科目は、必修科目30単位を含めて90単位以上修得すること。	
	保育原理	2		2										
	保育の心理学	2				2								
	社会的養護 I	2		2										
	教育心理学	2	◎	2										
	社会福祉	2			2									
	子ども家庭福祉	2			2									
	乳児保育 I	2			2									
	文章構成法	2	◎						2					
	教育史	2								2				
	発達心理学	2							2					
	教育社会学	2	◎	2										
	教育制度論	2							2					
	保育者論	2		2										
	幼児理解の理論と方法	2	◎	2										
	教育方法論(情報通信技術の活用を含む)	2	◎			2								
	教職概論	2	◎	2										
	教育課程論	2	◎		2									
	保育の計画と評価	2				2								
	子ども家庭支援論	2				2								
	子ども家庭支援の心理学	2			2									
	教育相談論	2	◎				2							
	特別支援教育論	2				2								
	子どもの保健	2					2							
	こども専門科目	児童文学	2		2									
		動物介在教育学	2			2								
		子どもと健康 I	1				1							
		子どもと健康 II	1				1							
		子どもと人間関係 I	1		1									
子どもと人間関係 II		1		1										
子どもと環境 I		1			1									
子どもと環境 II		1			1									
子どもと言葉 I		1				1								
子どもと言葉 II	1				1									
計	60		10	10	14	14	4	6	2	0				

区分	授業科目	単 位 数	必 ・ 選	毎週授業時間数								備考		
				1年次		2年次		3年次		4年次				
				1	2	3	4	5	6	7	8			
専門科目	動物・ロボット介在教育演習	1		2									専門科目は、必修科目30単位を含めて90単位以上修得すること。	
	こども文化教育演習	1		2										
	子どもの理解と援助	1						2						
	子どもと音楽表現ⅠA	1			2									
	子どもと音楽表現ⅠB	1				2								
	子どもと音楽表現ⅡA	1					2							
	子どもと音楽表現ⅡB	1						2						
	子どもと造形表現Ⅰ	1		2										
	子どもと造形表現Ⅱ	1				2								
	子どもと身体表現	1				2								
	保育内容総論	2	◎		2									
	保育の指導法(環境)	2	◎				2							
	保育の指導法(表現)	2	◎							2				
	保育の指導法(人間関係)	2	◎		2									
	保育の指導法(健康)	2	◎						2					
	保育の指導法(言葉)	2	◎						2					
	子育て支援	1				2								
	子どもの食と栄養	2				4								
	乳児保育Ⅱ	1					2							
	社会的養護Ⅱ	1							2					
	障害児保育	2							2					
	子どもの健康と安全	1								2				
	保育実習指導Ⅰ(保育所)	1					1	1						
	保育実習指導Ⅰ(施設)	1					1	1						
	保育実習指導Ⅱ(保育所)	1						1	1					
	保育実習指導Ⅲ(施設)	1						1	1					
	こども教育体験演習	1				2								
	保育・教職実践演習(幼・小)	2										2		
	実習科目	保育実習Ⅰ(保育所)	2				4							
		保育実習Ⅰ(施設)	2				4							
		保育実習Ⅱ(保育所)	2					4						
		保育実習Ⅲ(施設)	2					4						
		教育実習事前事後指導	1						1	1				
教育実習(幼・小)		4							8					
その他	保育教職セミナーⅠ	2		2										
	保育教職セミナーⅡ	2			2									
	保育教職セミナーⅢ	2				2								
	保育教職セミナーⅣ	2					2							
	教職アドバンスセミナーⅠ	2						2						
	教職アドバンスセミナーⅡ	2							2					
	論文講読Ⅰ	1									1			
	論文講読Ⅱ	1										1		
	卒業研究	8									4	4		
小計	72		8	10	14	18	27	17	5	7				
計	132		18	20	28	32	31	23	7	7				

※卒業に必要な修得単位数は、合計124単位以上

区分	授業科目	単 位 数	必 ・ 選	毎週授業時間数								備考			
				1年次		2年次		3年次		4年次					
				1	2	3	4	5	6	7	8				
共通科目	人間	哲学A	2		2									※教養は、必修2単位を含めて8単位以上修得すること。	
		哲学B	2			2									
		心理学A(心理学概論)	2		2										
		心理学B	2			2									
		倫理学B	2			2									
	社会	歴史学A	2		2										
		日本国憲法	2	◎		2									
	文化	文化史A	2		2										
		文学A	2						2						
	自然	化学I	2		2										
		数学I	2		2										
		生物学I	2		2										
		物理学I	2		2										
	語学	英語 I	1	◎	2									※語学は、必修1単位を含めて3単位以上修得すること。	
		英語 II	1			2									
		教養英語A	1		2										
		教養英語B	1			2									
	保健体育	健康と生活	2		2										
		健康体育A	1		2										
		健康体育B	1			2									
	データサイエンス	情報 I	1	◎	2										
		情報 II	1	◎		2									
	キャリア	キャリアデザイン I	2			2									
		キャリアデザイン II	2				2								
		キャリアデザイン III	1						1						
	ゼミ	基礎ゼミ	2	◎	2										
保育教職セミナー		2	◎		2										
計		45		28	20	2	0	2	1	0	0				

別表

教育人間科学部 幼児保育学科 専門科目(1)

◎は必修

区分	授業科目	単 位 数	必 ・ 選	毎週授業時間数								備考		
				1年次		2年次		3年次		4年次				
				1	2	3	4	5	6	7	8			
専門 科目	専門 基礎 科目	教育原理(幼)	2	◎	2									※専門科目は、必修24単位を含めて90単位以上修得すること。
		保育原理	2	◎	2									
		発達心理学(幼)	2	◎	2									
		保育の心理学	2				2							
		教育・学校心理学	2	◎		2								
		保育者論	2	◎		2								
		幼児理解の理論と方法	2	◎		2								
		教職概論(幼)	2	◎			2							
		教育方法論(幼)	2	◎				2						
		子ども家庭福祉	2			2								
		社会福祉	2							2				
		社会的養護 I	2				2							
		教育史(幼)	2							2				
		教育制度論(幼)	2	◎						2				
		教育経営論(幼)	2							2				
小計		30		6	8	6	2	0	8	0	0			

区分	授業科目	単 位 数	必 ・ 選	毎週授業時間数								備考	
				1年次		2年次		3年次		4年次			
				1	2	3	4	5	6	7	8		
専門科目 幼児保育専門科目	子ども文化教育演習	1		2									※専門科目は、必修科目24単位を含めて90単位以上修得すること。
	幼児の音楽表現実践演習Ⅰ	1				2							
	幼児の音楽表現実践演習Ⅱ	1					2						
	総合表現演習	1							2				
	子どもと造形	2				2							
	幼児と健康	2				2							
	幼児と人間関係	2				2							
	幼児と環境	2				2							
	幼児と言葉	2				2							
	幼児と表現Ⅰ	2			2								
	幼児と表現Ⅱ	2				2							
	子どもの理解と援助	1		2									
	保育内容(健康)	2					2						
	保育内容(人間関係)	2					2						
	保育内容(環境)	2					2						
	保育内容(言葉)	2					2						
	保育内容(表現)	2					2						
	教育課程論(幼)	2	◎						2				
	子どもの食と栄養	2				2	2						
	保育内容総論Ⅰ	1				2							
	保育内容総論Ⅱ	2	◎				2						
	保育内容総論Ⅲ	2						2					
	保育の計画と評価	2						2					
	乳児保育Ⅰ	2				2							
	乳児保育Ⅱ	1					2						
	特別支援教育概論Ⅰ(障害児保育を含む)	1				2							
	特別支援教育概論Ⅱ(障害児保育を含む)	1					2						
	教育相談の理論と方法	2	◎					2					
	こどもと文化	2						2					
	動物介在教育学	2						2					
	学校動物飼育技術	2						2					
	子育て支援	1						2					
	こどもと食育	2						2					
	動物とこどもの生活	2							2				
	子どもの保健	2							2				
	子ども家庭支援論	2							2				
	子ども家庭支援の心理学	2					2						
	動物介在教育学演習	1							2				
	食育演習	2							4				
	社会的養護Ⅱ	1					2						
動物心理学	2								2				
多文化保育論	2								2				
子どもの健康と安全	1								2				
公認心理師の職責	2								2				
臨床心理学概論	2		2										
心理学研究法	2						2						
心理学統計法	2							2					
心理学実験	1							2					
知覚・認知心理学	2							2					

区分	授業科目	単 位 数	必 ・ 選	毎週授業時間数								備考	
				1年次		2年次		3年次		4年次			
				1	2	3	4	5	6	7	8		
共通科目	人間	倫理学B	2		2								※教養は、8単位以上修得すること。 ※語学は、3単位以上修得すること。
		心理学A	2		2								
		心理学B	2		2								
		哲学A	2		2								
		哲学B	2		2								
		宗教学A	2		2								
		宗教学B	2		2								
		科学史	2		2								
	社会	歴史学A	2		2								
		歴史学B	2		2								
		日本国憲法	2	◎	2								
		社会学	2		2								
	文化	文学A	2		2								
		文化史A	2		2								
		美学・芸術学	2				2						
	自然	数学Ⅰ	2		2								
		数学Ⅱ	2		2								
		物理学Ⅰ	2		2								
		物理学Ⅱ	2		2								
		化学Ⅰ	2		2								
		化学Ⅱ	2		2								
		生物学Ⅰ	2		2								
		生物学Ⅱ	2		2								
	語学	英語Ⅰ	1		2								
		英語Ⅱ	1		2								
		教養英語A	1		2								
		教養英語B	1		2								
		教養英語C	1		2								
	保健体育	健康体育A	1		2								
		健康体育B	1		2								
		健康と生活	2		2								
	データサイエンス	情報Ⅰ	1	◎	2								
		情報Ⅱ	1	◎	2								
		統計学	2		2								
	キャリア	キャリアデザインⅠ	2		2								
		キャリアデザインⅡ	2			2							
キャリアデザインⅢ		1					1						
セミナー	教職セミナーⅠ	2	◎	2									
	教職セミナーⅡ	2	◎	2									
	教職セミナーⅢ	2	◎		2								
	教職セミナーⅣ	2	◎			2							
	基礎ゼミ	2	◎	2									
	計	74		34	40	4	4	0	1	0	0		

区分	授業科目	単位数	必・選	毎週授業時間数								備考	
				1年次		2年次		3年次		4年次			
				1	2	3	4	5	6	7	8		
専門科目	教育学基礎科目	2	6 単位 以上 必修	教職概論(小・中・高)		2							※専門科目は、必修科目42単位を含めて70単位以上修得すること。
	教育原理(小・中・高)	2		2									
	教育史(小・中・高)	2						2					
	教育心理学(小・中・高)	2		2									
	教育社会学(小・中・高)	2				2							
	教育制度論(小・中・高)	2					2						
	発達心理学(小・中・高)	2				2							
	学習心理学	2					2						
	指導法関連科目	2	10 単位 以上 必修	初等教科教育法(国語)			2						
	初等教科教育法(社会)	2				2							
	初等教科教育法(算数)	2				2							
	初等教科教育法(理科)	2					2						
	初等教科教育法(生活)	2				2							
	初等教科教育法(音楽)	2					2						
	初等教科教育法(図画工作)	2					2						
	初等教科教育法(家庭)	2					2						
	初等教科教育法(体育)	2					2						
	初等教科教育法(英語)	2					2						
	教科・基礎技能科目	2	8 単位 以上 必修	国語(小)			2						
	社会	2				2							
	算数(小)	2				2							
	理科	2				2							
	生活(小)	2		2									
	音楽基礎	1		2									
	造形 I	1			2								
	家庭	2				2							
	体育 I (小)	1			2								
	英語	2			2								
	国語演習	1		◎1	2								
	社会演習	1		◎2	2								
	算数演習	1		◎1	2								
	理科演習	1		◎2	2								
	器楽	1			2								
声楽	1				2								
体育 II (小)	1					2							
板書法演習	1				2								
科学基礎	2		2										

○1どちらか
○2どちらか

別表 教育人間科学部 学校教育学科(中高理科コース、中高保健体育コース) 共通科目

◎は必修

区分	授業科目	単 位 数	必 ・ 選	毎週授業時間数								備考		
				1年次		2年次		3年次		4年次				
				1	2	3	4	5	6	7	8			
共通科目	人間	倫理学B	2		2								※教養は、8単位以上修得すること。	
		心理学A	2		2									
		心理学B	2		2									
		哲学A	2		2									
		哲学B	2		2									
		宗教学A	2		2									
		宗教学B	2		2									
		科学史	2		2									
	社会	歴史学A	2		2									
		歴史学B	2		2									
		日本国憲法	2	◎	2									
		社会学	2		2									
	文化	文学A	2		2									
		文化史A	2		2									
		美学・芸術学	2		2									
	自然	数学Ⅰ	2		2									
		数学Ⅱ	2		2									
		物理学Ⅰ	2		2									
		物理学Ⅱ	2		2									
		化学Ⅰ	2		2									
		化学Ⅱ	2		2									
		生物学Ⅰ	2		2									
		生物学Ⅱ	2		2									
	語学	英語Ⅰ	1		2									※語学は、3単位以上修得すること。
		英語Ⅱ	1		2									
		教養英語A	1		2									
		教養英語B	1		2									
		教養英語C	1		2									
	保健体育	健康体育A	1		2									
		健康体育B	1		2									
		健康と生活	2		2									
	データサイエンス	情報Ⅰ	1	◎	2									
		情報Ⅱ	1	◎	2									
		統計学	2		2									
	キャリア	キャリアデザインⅠ	2		2									
		キャリアデザインⅡ	2		2									
キャリアデザインⅢ		1					1							
セミナー	教職セミナーⅠ	2	◎	2										
	教職セミナーⅡ	2	◎	2										
	教職セミナーⅢ	2	◎		2									
	教職セミナーⅣ	2	◎			2								
	基礎ゼミ	2	◎	2										
	計	74		34	42	4	2	0	1	0	0			

区分	授業科目	単 位 数	必 ・ 選	毎週授業時間数								備考		
				1年次		2年次		3年次		4年次				
				1	2	3	4	5	6	7	8			
専門科目	教育学基礎科目	教職概論(小・中・高)	2	◎			2							※専門科目は、必修科目33単位を含めて70単位以上修得すること。
		教育原理(小・中・高)	2	◎	2									
		教育史(小・中・高)	2							2				
		教育心理学(小・中・高)	2	◎	2									
		発達心理学(小・中・高)	2	◎		2								
		教育社会学(小・中・高)	2	◎			2							
		教育制度論(小・中・高)	2	◎					2					
		学習心理学	2						2					
	指導法関連科目	理科教育法Ⅰ	2	◎			2							
		理科教育法Ⅱ	2	◎				2						
		理科教育法Ⅲ	2						2					
		理科教育法Ⅳ	2							2				
	教科・基礎技能科目	科学基礎	2			2								
		基礎理科実験	1	◎			2							
		物理学総論Ⅰ	2	◎			2							
		物理学総論Ⅱ	2					2						
		物理学実験	1	◎						2				
		化学総論Ⅰ	2	◎			2							
		化学総論Ⅱ	2					2						
		化学実験	1	◎				2						
		生物学総論Ⅰ	2	◎			2							
		生物学総論Ⅱ	2					2						
		生物学実験	1	◎					2					
		地学総論Ⅰ	2	◎			2							
		地学総論Ⅱ	2					2						
		地学実験	1	◎					2					
	板書法演習	1						2						
	教職応用科目	教育課程論(小・中・高)	2	◎			2							
		教育方法論(情報通信技術の活用を含む)(小・中・高)	2	◎				2						
		道德教育の理論と実践(小・中)	2						2					
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法(小・中・高)	2								2			
		特別支援教育(小・中・高)	2				2							
		生徒・進路指導論(小・中・高)	2								2			
教育相談(小・中・高)		2						2						
学習診断評価		2				2								
教育統計学		2					2							
教育実践学総論		2								2				
教育現場におけるICT活用		1				2								
言語学入門		2						2						
異文化間教育		2							2					

別表 教育人間科学部 学校教育学科(中高保健体育コース) 専門科目

◎は必修

区分	授業科目	単 位 数	必 ・ 選	毎週授業時間数								備考								
				1年次		2年次		3年次		4年次										
				1	2	3	4	5	6	7	8									
専 門 科 目	武道教育論	2	◎		2															
	武道教育演習	1							2											
	運動指導論	2					2													
	運動指導演習1	1							2											
	運動指導演習2	1							2											
	運動指導演習3	1									2									
	トレーニング論	2				2														
	地域健康づくり指導者論	2							2											
	レクリエーション論	2							2											
	アダプテッドスポーツ論	2					2													
	スポーツ医学	2									2									
	体育科教育演習	1									2									
	トレーニング論演習	1									2									
	レクリエーション論演習	1									2									
	測定と評価	2									2									
	健康・スポーツ科学研究法Ⅱ	2									2									
	運動心理学	2					2													
	健康・スポーツ科学研究法Ⅰ	2								2										
	武道実習	1																		2
	教 育 実 習	教育実習事前事後指導(中・高)	1									2								
教育実習Ⅰ(中・高)		2																		4
教育実習Ⅱ(中・高)		2																		4
教職実践演習(小・中・高)		2																		2
そ の 他	卒業研究Ⅰ	4																		8
	卒業研究Ⅱ	4																		8
	計	118		8	10	22	24	30	24	24	24	10								

※卒業に必要な修得単位数は合計124単位以上。

区分	授業科目	単 位 数	必 ・ 選	毎週授業時間数								備考	
				1年次		2年次		3年次		4年次			
				1	2	3	4	5	6	7	8		
共通科目	人間	倫理学B	2		2								※教養は、8単位以上修得すること。 ※語学は、3単位以上修得すること。
		心理学A	2		2								
		心理学B	2		2								
		哲学A	2		2								
		哲学B	2		2								
		宗教学A	2		2								
		宗教学B	2		2								
		科学史	2		2								
	社会	歴史学A	2		2								
		歴史学B	2		2								
		日本国憲法	2	◎	2								
		社会学	2		2								
	文化	文学A	2		2								
		文化史A	2		2								
		美学・芸術学	2		2								
	自然	数学Ⅰ	2		2								
		数学Ⅱ	2		2								
		物理学Ⅰ	2		2								
		物理学Ⅱ	2		2								
		化学Ⅰ	2		2								
		化学Ⅱ	2		2								
		生物学Ⅰ	2		2								
		生物学Ⅱ	2		2								
	語学	英語Ⅰ	1		2								
		英語Ⅱ	1		2								
		教養英語A	1		2								
		教養英語B	1		2								
		教養英語C	1		2								
		中国語Ⅰ	1		2								
		中国語Ⅱ	1		2								
		韓国語Ⅰ	1		2								
		韓国語Ⅱ	1		2								
	保健体育	健康体育A	1		2								
		健康体育B	1		2								
		健康と生活	2		2								
	データサイエンス	情報Ⅰ	1	◎	2								
情報Ⅱ		1	◎	2									
統計学		2		2									
キャリア	キャリアデザインⅠ	2		2									
	キャリアデザインⅡ	2			2								
	キャリアデザインⅢ	1					1						
セミナー	教職セミナーⅠ	2	◎	2									
	教職セミナーⅡ	2	◎	2									
	教職セミナーⅢ	2	◎		2								
	教職セミナーⅣ	2	◎			2							
	基礎ゼミ	2	◎	2									
	計	78		38	46	4	2	0	1	0	0		

区分	授業科目	単 位 数	必 ・ 選	毎週授業時間数								備考			
				1年次		2年次		3年次		4年次					
				1	2	3	4	5	6	7	8				
専門科目	教育学基礎科目	教職概論(小・中・高)	2	◎			2							※専門科目は、必修科目32単位を含めて70単位以上修得すること。	
		教育原理(小・中・高)	2	◎	2										
		教育史(小・中・高)	2							2					
		教育心理学(小・中・高)	2	◎	2										
		発達心理学(小・中・高)	2	◎		2									
		教育社会学(小・中・高)	2	◎			2								
		教育制度論(小・中・高)	2	◎					2						
		学習心理学	2						2						
	指導法関連科目		英語科教育法Ⅰ	2	◎			2							
			英語科教育法Ⅱ	2	◎				2						
			英語科教育法Ⅲ	2						2					
			英語科教育法Ⅳ	2							2				
	教科・基礎技能科目		Listening ComprehensionⅠ	1	◎	2									
			Listening ComprehensionⅡ	1			2								
			Speaking WorkshopⅠ	1	◎	2									
			Speaking WorkshopⅡ	1			2								
			Reading ComprehensionⅠ	1	◎	2									
			Reading ComprehensionⅡ	1			2								
			Writing WorkshopⅠ	1	◎	2									
			Writing WorkshopⅡ	1			2								
			Integrated English CommunicationⅠ	1				2							
			Integrated English CommunicationⅡ	1					2						
			Integrated English CommunicationⅢ	1						2					
			Integrated English CommunicationⅣ	1							2				
			English Pronunciation Workshop	1	◎				2						
			English GrammarⅠ	1	◎	2									
			English GrammarⅡ	1			2								
			Intercultural CommunicationⅠ	2				2							
			Intercultural CommunicationⅡ	2					2						
			Classroom English	2	◎		2								
			英語教育の中の英語学総論	2				2							
			英語音声学	2				2							
		英語教育とイギリス文学総論	2				2								
		英語教育とアメリカ文学総論	2				2								
		英語圏文化論	2	◎				2							
	教職応用科目		教育課程論(小・中・高)	2	◎			2							
		教育方法論(情報通信技術の活用を含む)(小・中・高)	2	◎				2							
		道德教育の理論と実践(小・中)	2							2					
		特別活動及び総合的な学習の時間の指導法(小・中・高)	2								2				
		特別支援教育(小・中・高)	2				2								
		生徒・進路指導論(小・中・高)	2								2				
		教育相談(小・中・高)	2						2						
		学習診断評価	2				2								
		教育統計学	2					2							
		教育実践学総論	2								2				
		教育現場におけるICT活用	1				2								
		言語学入門	2						2						
	異文化間教育	2								2					

別表

教育人間科学部 学校教育学科(中高英語コース) 専門科目

◎は必修

区分	授業科目	単 位 数	必 ・ 選	毎週授業時間数								備考		
				1年次		2年次		3年次		4年次				
				1	2	3	4	5	6	7	8			
専門科目	第二言語習得論	2	◎					2						
	言語・文化・教育学研究法	2						2						
	英語教育の中の英語学特論	2								2				
	英語教育の中の英米文学・文化	2								2				
	Academic Writing I	2			2									
	Academic Writing II	2				2								
	論文講読	2								2				
	School Internship I	2						2						
	School Internship II	2								2				
	Overseas Study I	2		2										
	Overseas Study II	2			2									
	教育実習													
	教育実習事前事後指導(中・高)	1								2				
	教育実習 I (中・高)	2										4		
	教育実習 II (中・高)	2										4		
	教職実践演習(小・中・高)	2											2	
	その他													
	卒業研究 I	4										8		
	卒業研究 II	4										8		
計		117		16	16	26	18	18	20	22	10			

※卒業に必要な修得単位数は、合計124単位以上